愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科
2019年度学生生活アンケート結果

愛知学院大学学生委員会および学生部学生課は平成元年に初回，その後３年もしくは４年ごとに「学生生活アンケート」を実施している．このアンケート調査は「本学での学生生活の現状を把握し，今後の学生生活をより充実したものにするために，本学としてどのようなことをしなければならないかを知るために」実施されている．

愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科においても，完成年度を迎えた平成 20 年度，第１回の「学生アンケート」，初回から５年経った平成 25 年度に第２回、平成 28 年度に第３回のアンケートを実施し，今回第４回のアンケートとして 2019 年度７月に行った。なお、2019 年度より専攻科を追加しており、全学年のデータは専攻科を含む．

設問事項は平成 25 年に愛知学院大学学生委員会および学生部学生課によって行われた「学生生活アンケート」に準じ平成 27 年度の短大部棟の完成ならびに時代背景を考慮して、選択肢を一部変更している．

［問１］あなたの現在の学年をお答えください．

１．１年
２．２年
３．３年
４．専攻科

アンケート実施時の在籍者数は１年生 101 名，２年生 105 名，３年生 103 名，専攻科生７名である．回答が得られた学生数は１年生 100 名（回答率 99.0%），２年生 106 名（同 100.9%），３年生 102 名（同 99.0%），専攻科 7 名（同 100.0%）であり，誤って２年生と誤答した者がいるが，短期大学部歯科衛生学科および各学年のほぼ全体の意向を反映している．

なお，設問によっては無回答がみられたが，それらについては無視し，統計処理を行っていない．

１．生活の充実度について

［問２］あなたの学生生活は充実していると思いますか．

１．とても充実していると思う
２．かなり充実していると思う
３．まあまあといったところだと思う
４．あまり充実していないと思う
５．全く充実していないと思う
６．わからない

この設問では，学生生活の充実度について回答を求めた．

愛知学院大学学生委員会および学生部学生課による「学生生活アンケート」では，選択肢の「とても充実していると思う」に 3.50，「かなり充実していると思う」に 3.25，「まあまあといったところだと思う」に 3.00，「あまり充実していないと思う」に 2.75，「全く充実していないと思う」に 2.50 のポイントを与えて，平均値を算出し，学生生活の充実度を比較している．本報告もそれらの値を用いて検討した．

全体としては，平均値は 3.15 である．学年別にみると，１年生 3.13，２年生 3.14，３年生 3.18，専攻科 3.15 であり，前回の値，全体 3.09，学年別では順に 3.07，3.11，3.09 に比べ増加した．学年別にみると，前回と同様に学年が上がると充実感が増加している．

問２表　全学年の選択肢別割合（%）

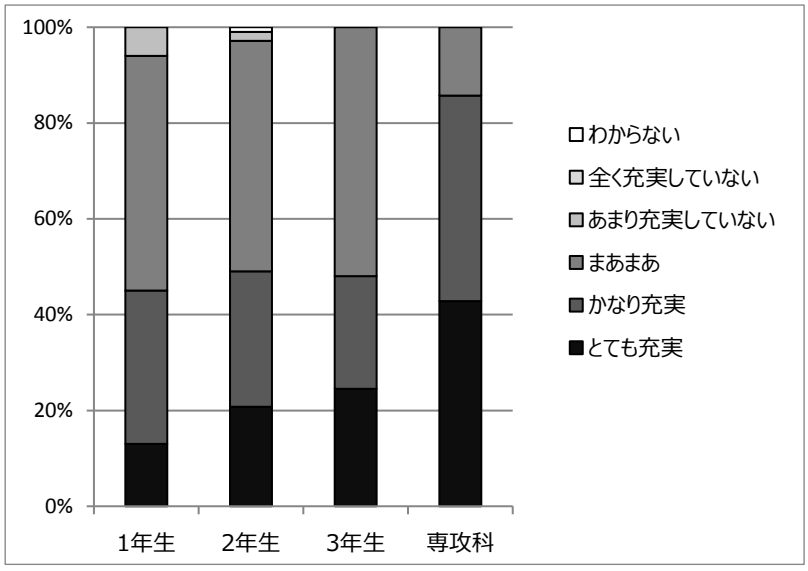
	とても充実	かなり充実	まあまあ	あまり	全く	わからない	合計
前　回	11.22	24.36	58.33	4.49	1.28	0.32	100
今　回	20.00	28.25	48.89	2.54	0.00	0.32	100
H25 年度愛知学院大学	12.09	18.32	53.56	11.07	2.96	1.27	99.27

選択肢別割合を問２表に示す．本学は H25 年度の愛知学院大学と比較して充実度が高い。全体としては，「まあまあといったところだと思う」が５割弱を占める．そこで，積極的意見である「充実している」（「とても充実していると思う」＋「かなり充実していると思う」）割合と「充実していない」（「あまり充実していないと思う」＋「全く充実していないと思う」）割合を比較すると，「充実している」割合 48.3%であり、前回の 35.6%と比較して 10%以上増加している。一方，

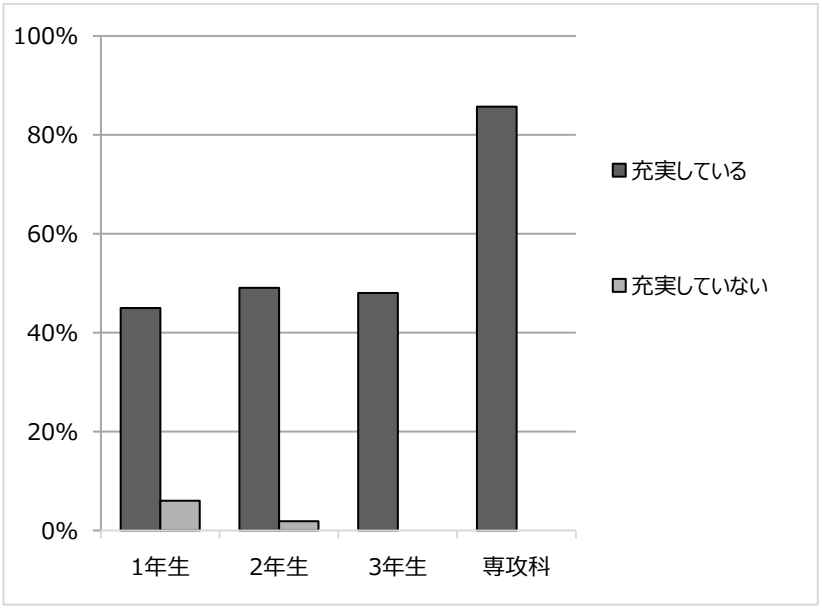
「充実していない」割合は前回 5.7%，今回 2.5%と約半数に減少し，「充実している」が「充実していない」の約 20 倍となっている．なお参考として愛知学院大学では平成 29 年度は設問を変更し「充実している」，「充実していない」，「どちらともいえない」の３択となっており，「充実している」60.4%，「充実していない」9.2%でありその比は約７倍である。

前回と比較して，とりわけ「とても充実している」割合が増加し，「充実していない」が減少していることから全体のポイントを引き上げている。

次に，学年別に選択肢ごとの割合を問２-a 図に示し，充実感を比較した．「まあまあといったところだと思う」が１年生（49.0%），２年生（48.1%），３年生（52.0%），専攻科（14.3%）と専攻科を除き各学年ともに半数以上を占める．そこで，積極的意見である「充実している」割合と「充実していない」割合を学年別に比較した（問２-b 図）．「充実している」学生は１年生（45.0%），２年生（49.1%），３年生（48.0%），専攻科（85.7%）と専攻科は多く，歯科衛生学科は各学年間にあまり差がなく，「充実していない」学生は１年生（6.0%）で２年生（1.9%）より多い．また，「充実している」学生と「充実していない」学生との割合の差は，１年生 39.0%，２年生 47.2%（３年生と専攻科は充実していない者が０%であるため除く）である．この差は，前回（１年生 30.6%，２年生 30.1%，３年生 28.8%）より大きく，充実度が増している．また，この差から考慮すると学年が上がると充実度が増加している．



［問２-a 図］学年別充実度の比較（%）



［問２-b 図］学年別充実度の比較（%）

２．住所・住居について

［問３］現在はどこに住んでいますか.

１．名古屋市
２．名古屋市以外の愛知県（以下，愛知県）
３．三重県
４．岐阜県
５．静岡県
６．その他

問３表　全学年の選択肢別割合（%）

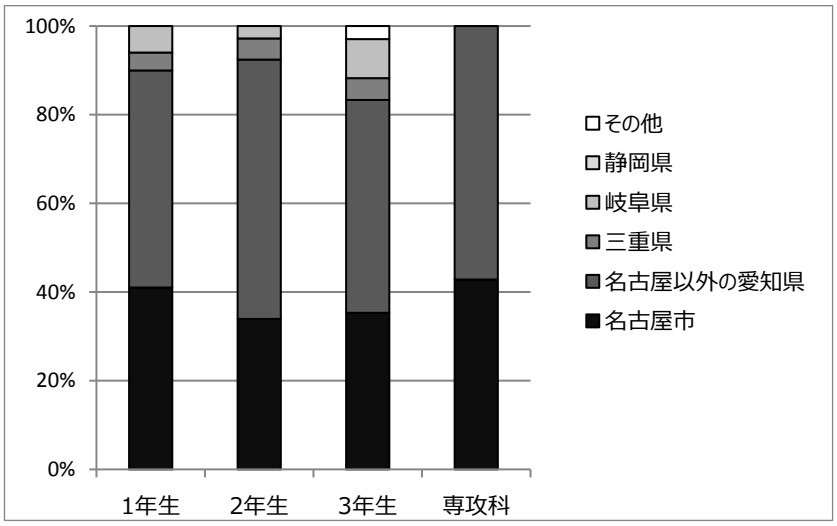
	名古屋市	愛知県	三重県	岐阜県	静岡県	その他	合計
前 回	33.65	50.47	4.36	8.41	0.31	0.31	100
今 回	36.83	52.06	4.44	5.71	0.00	0.95	100
H29 年度愛知学院大学	32.52	53.07	5.50	8.11	（その他	0.80）	100
H29 年度愛知学院大学楠元キャンパス	62.56	23.68	4.35	8.21	（その他	1.21）	100

この設問では，どこに住んでいるかについて回答を求めた.

全体としては,「愛知県」に住む学生が半数を占め，次いで「名古屋市」,「岐阜県」,「三重県」の順である.

前回と比較すると,名古屋市内および愛知県,三重県に住んでいる学生が増加し,岐阜県に住んでいる学生が減少した.

学年別に見ると，２年生と３年生の傾向はほぼ同一であるが，１年生についてみると，他学年にくらべ「名古屋市」に住む学生が多く,「愛知県」に住む学生が逆に少ない．２年生は「岐阜県」に住む学生が少ない．キャンパスが３箇所である愛知学院大学と比較して大きな違いは見られないものの楠元キャンパスの学生と比較すると名古屋市が多く愛知県が少ない。



［問３図］　現在の住所

［問４］現在の住居形態をお答えください.

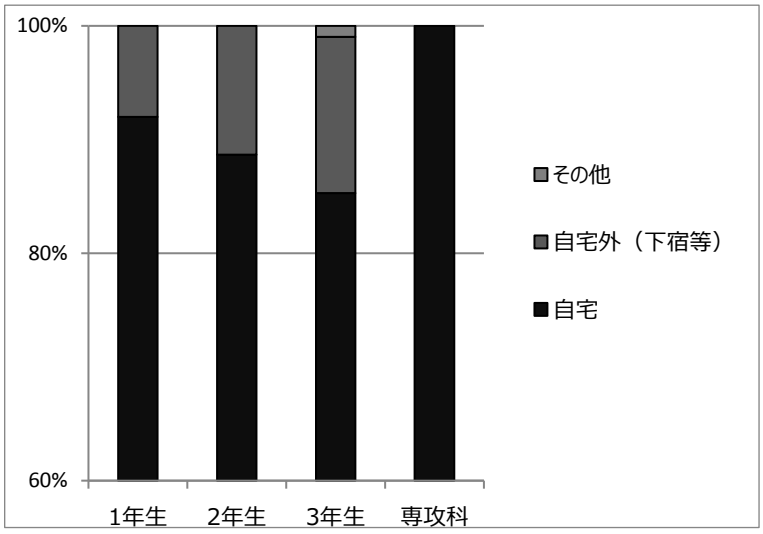
１．自宅
２．自宅外
３．その他

問４表　全学年の選択肢別割合（%）

	自　宅	自宅外	その他	合計
前 回	87.18	12.18	0.64	100
今 回	88.89	10.79	0.32	100
H29 年度愛知学院大学	71.38	28.62	0.00	100
H29 年度愛知学院大学楠元キャンパス	60.87	39.13	0.00	100

この設問は，学生の住居形態について，「自宅」，「自宅外」，「その他」の３つの選択肢で回答を求めた．全体としては，「自宅」が圧倒的に多い．前回と比較すると，「自宅」の学生がわずかに増加し，その分「自宅外」がわずかに減少した．

学年別では専攻科を除き学年が上がるにつれて「自宅」が減少し，「自宅外」が増加した．愛知学院大学，および愛知学院大学楠元キャンパスと比較すると「自宅」が多く「自宅外」が少ない．



［問４図］　現在の住居形態

［問５］今の下宿・アパート・マンションなどを紹介してくれたのは誰ですか.

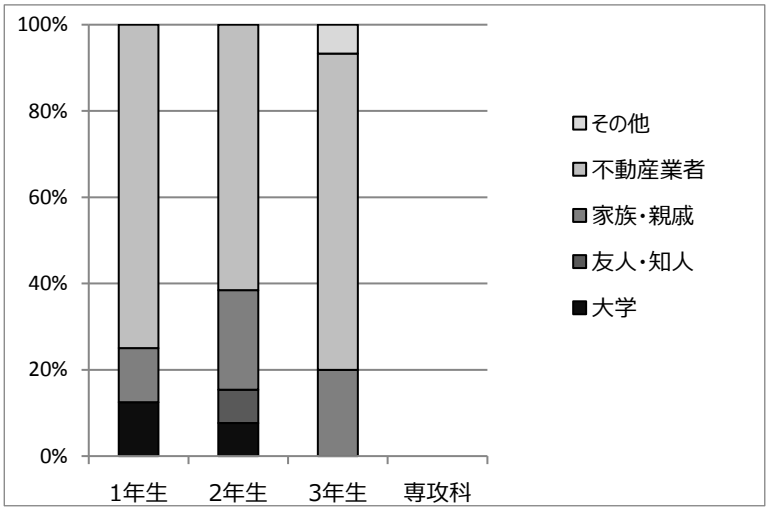
１．大学
２．友人・知人
３．家族・親戚
４．不動産業者
５．その他

［問５］から［問７］までは，「自宅外」通学者に対する設問である．対象者は１年生８名，２年生 13 名，３年生 15 名，専攻科０名，全学年 36 名である．

問５表　全学年の選択肢別割合（%）

	大学	知人・友人	家族・親戚	不動産業者	その他	合計
前 回	5.00	5.00	15.00	75.00	0.00	100
今 回	5.56	2.78	19.44	69.44	2.78	100

この設問では，誰に住居を紹介してもらったかについて回答を求めた．全体としては「不動産業者」の紹介による学生が約 70%を占め，次いで「家族・親戚」であり，「大学」の紹介は２名のみである．前回と比較すると，「不動産業者」の紹介による学生が減少し，「家族・親戚」の紹介が増加した．　学年別にみると，「不動産業者」の紹介による学生が１年生８名中６名（75.0%），２年生 13 名中８名（61.5%），３年生 15 名中 11 名（73.3%）である．



［問５図］　下宿などの紹介者

［問６］今住んでいる部屋（バス・トイレを除く）の広さの合計をお答えください.

１．4.5 畳以下
２．10 畳以下
３．10 畳を超える.

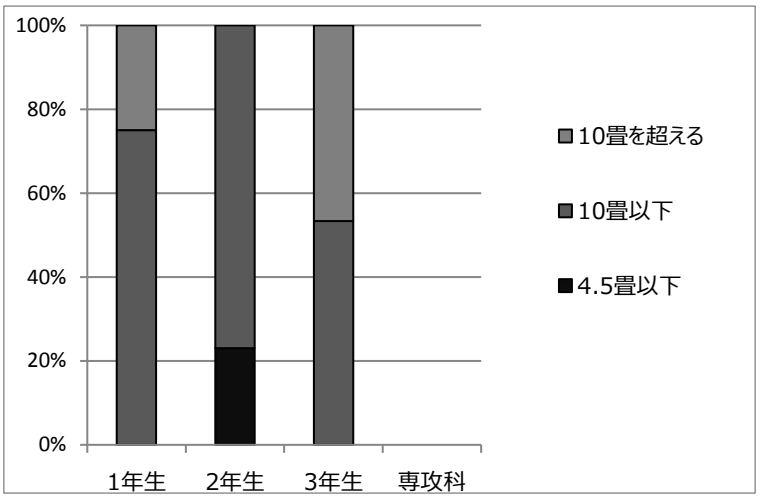
問６表　全学年の選択肢別割合（%）

	4.5 畳以下	10 畳以下	10 畳を超える	合計
前 回	2.50	82.50	15.00	100
今 回	8.33	66.67	25.00	100

この設問では，住んでいる部屋の広さについて回答を求めた.

全体としては，「10 畳以下」の部屋に住む学生が約 70%を占め，次いで「10 畳を超える」部屋であり，「4.5 畳以下」は少ない．前回と比較すると，「10 畳以下」に住んでいる学生が多く．前回は１名が「4.5 畳以下」の部屋に住んでいたが，今回は３名であった．また，「10 畳を超える」広い部屋に住んでいる学生は，前回より増加した.

学年別にみると，「10 畳を超える」広い部屋に住む学生は，１年生（25.0 %），２年生（0%），３年生（46.7%）であった．一方，「4.5 畳以下」の部屋に住む学生３名は２年生であった.



［問６図］　部屋の広さ

［問７］家賃（共益費，水道，光熱費を含み，食費は除く）はおおよそいくらですか.

１．無料
２．40,000 円未満
３．40,000～50,000 円未満
４．50,000～60,000 円未満
５．60,000 円以上

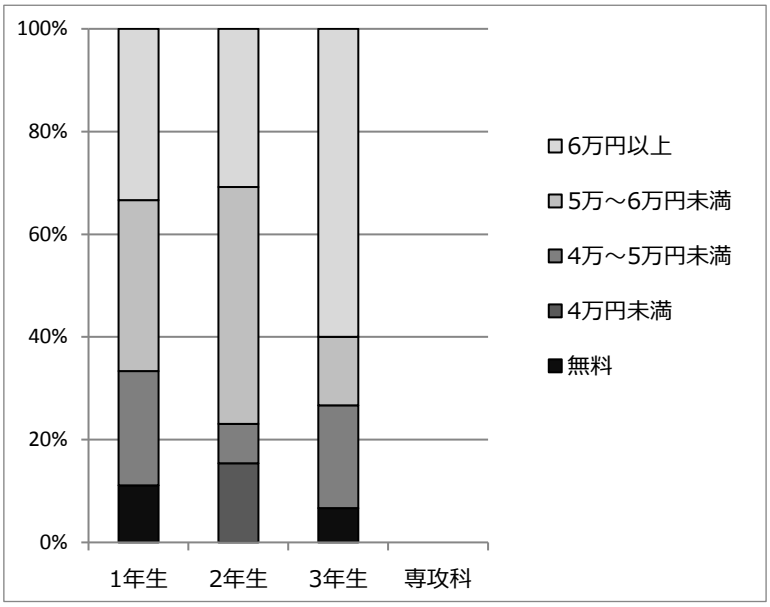
問７表　全学年の選択肢別割合（%）

	無　料	４万円未満	４～５万円未満	５～６万円未満	６万円以上	合計
前 回	5.00	10.00	22.50	32.50	30.00	100
今 回	5.41	5.41	16.22	29.73	43.24	100

この設問では，住んでいる住居の家賃について回答を求めた.

全体としては，家賃が「６万円以上」の学生が最も多く，次いで「５～６万円未満」,「４～５万円未満」,「４万円未満」の順である.「無料」の学生は２名で親族の住居に寄宿している可能性がある．前回と比較して家賃が上昇している傾向がみられる.

学年別にみると，３年生では「６万円以上」が最も多く 69.2%であり，１年生（33.3%）および２年生（30.8%）より明らかに多い．一方，「４万円未満」は１・３年生にはいないが，２年生は 15.4%であった.



［問７図］　家賃（共益費，水道・光熱費を含み，食費を除く）

３．通学・就寝・起床時間について

［問８］から［問 13］までは，通学，就寝・起床時間に関する設問である．

［問８］現在，主として利用している通学方法を次の中から選んで下さい．

１．地下鉄本山駅から徒歩
２．地下鉄覚王山駅から徒歩
３．自宅（下宿）からバイクで通学
４．自宅（下宿）から自動車で通学
５．自宅（下宿）から自転車で通学
６．自宅（下宿）から徒歩で通学
７．その他

問８表　全学年の選択肢別割合（%）

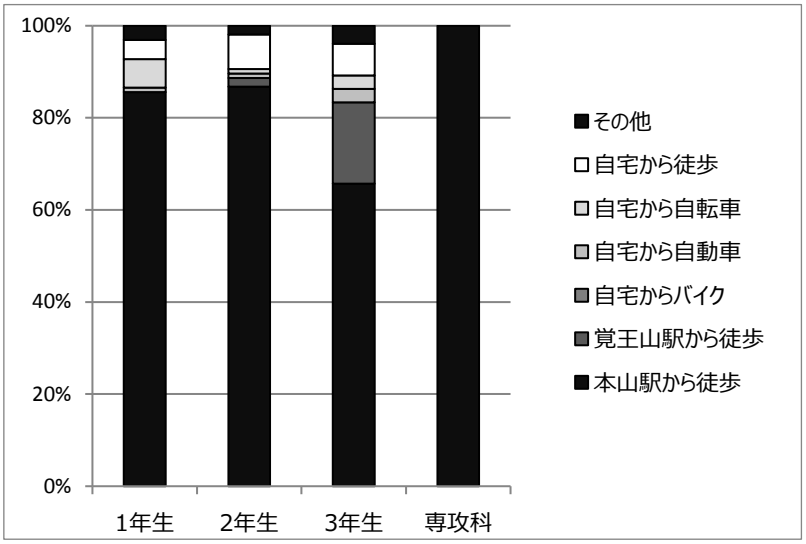
	本山駅から徒歩	覚王山駅から徒歩	自宅（下宿）からバイク	自宅（下宿）から自動車	自宅（下宿）から自転車	自宅（下宿）から徒歩	その他	合計
前 回	66.23	19.81	0.00	0.97	4.87	5.84	2.27	100
今 回	79.81	6.41	0.00	1.60	3.21	6.09	2.88	100

この設問では，キャンパスまでの通学方法について回答を求めた．

全体としては，「地下鉄本山駅から徒歩」が最も多い通学方法であり，次いで「地下鉄覚王山駅から徒歩」である．「自転車」や「徒歩」で通学する学生は少なく，「バイク」，「自動車」で通学する学生はいずれも１%以下である．

前回と比較すると，「地下鉄本山駅から徒歩」が増加し「地下鉄覚王山駅から徒歩」の学生が減少した．しかし，公共交通機関の地下鉄を利用する学生の割合は，前回，今回とも 80%を超えてほぼ同一である．

学年別にみると，１，２年生で「地下鉄本山駅から徒歩」（それぞれ 83.0%，86.8%）が３年生（65.7%）より，３年生で「地下鉄覚王山駅から徒歩」（17.6%）が１，２年生（それぞれ 0%，1.9%）より明らかに多い．１，２年生は楠元キャンパスで授業・実習が行われるのに対して，３年生は主に末盛キャンパス（歯学部附属病院）で臨床実習が行われるためである．また，「自転車」通学は１年生（7.0%），２年生（18.9%），３年生（5.9%）と少ない．



［問８図］ 通学方法

［問９］月あたりの通学費用はどれくらいですか.

１．5,000 円未満
２．5,000～10,000 円未満
３．10,000～15,000 円未満
４．15,000～20,000 円未満
５．20,000 円以上

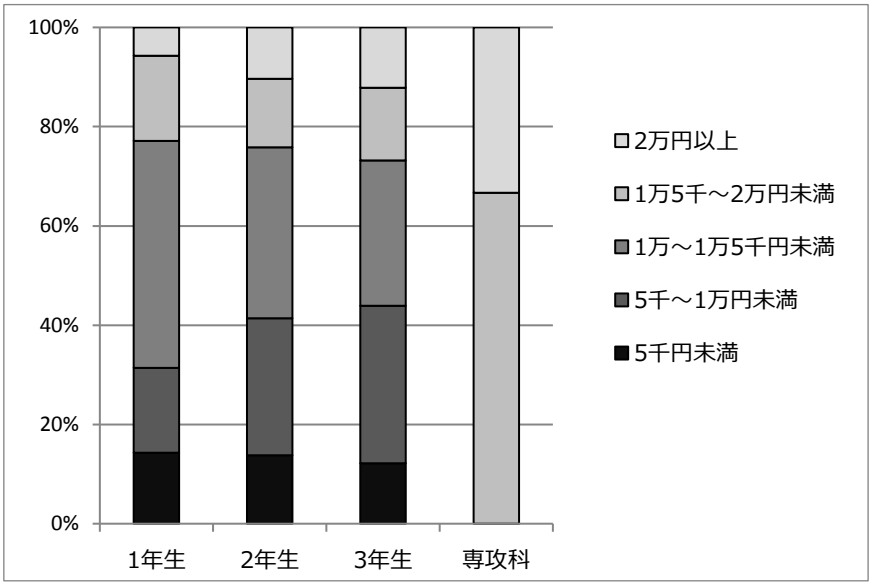
問９表　全学年の選択肢別割合（%）

	５千円未満	５千～１万円未満	１万～１万５千円未満	１万５千～２万円未満	２万円以上	合計
前 回	8.33	28.79	45.45	11.36	6.06	100
今 回	12.96	25.00	35.19	16.67	10.19	100

この設問では，学校までの１ヶ月あたりの通学費用はどれくらいかについて回答を求めた． ただし無回答の者（合計 207 名）を除いた者で集計した。

全体としては，通学費用が「10,000～15,000 円未満」の学生が最も多く，次いで「5,000～10,000 円未満」であり，両者で 60.19%を占め，「5,000 円未満」，「15,000～20,000 円未満」および「20,000 円以上」はやや少ない.

学年別にみると，学年が上がるにつれて「10,000～15,000 円未満」の学生が少なく「5,000～10,000 円未満」が多い。また、専攻科は無回答の者を除くとすべてが 15,000 円以上であった。



［問９図］ 月あたりの通学費用

［問 10］通学所要時間（片道）は平均どれくらいですか.

１．30 分未満
２．30 分～１時間未満
３．１時間～１時間 30 分未満
４．１時間 30 分～２時間未満
５．２時間～２時間 30 分未満
６．２時間 30 分～３時間未満
７．３時間以上

問 10 表　全学年の選択肢別割合（%）

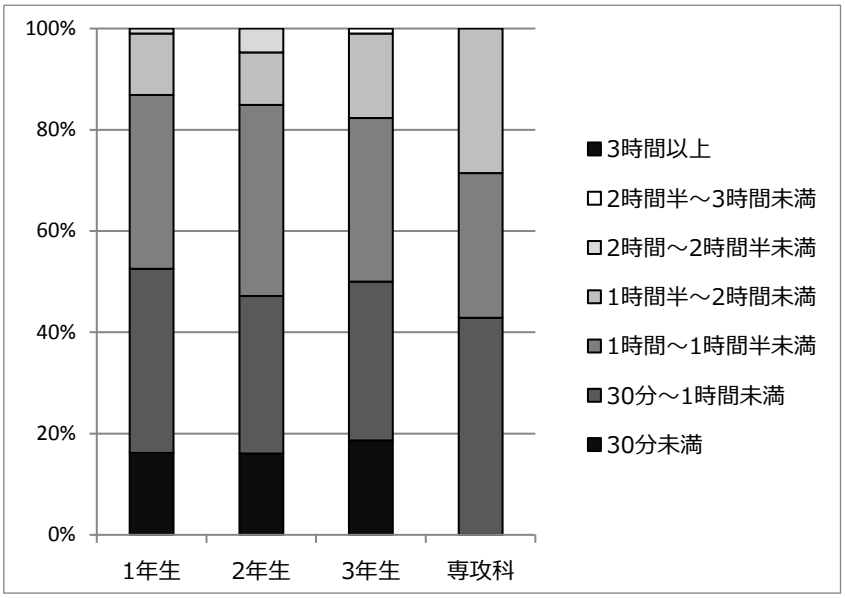
	30 分未満	30 分～１時間未満	１時間～１時間 30 分	１時間 30 分～	２時間～２時間 30 分	２時間 30 分～	３時間以上	合計
前 回	16.99	31.09	35.58	15.06	0.96	0.00	0.32	100
今 回	16.56	33.12	34.71	13.38	1.91	0.32	0.00	100

この設問では，片道の通学時間がどれくらいかについて回答を求めた.

全体としては，通学時間が「30 分～１時間未満」の学生と「１時間～１時間 30 分未満」の両者で 67.83%を占める.次いで「30 分未満」,「１時間 30 分～２時間未満」の順であり,「２時間～２時間 30 分未満」「２時間 30 分～３時間未満」「３時間以上」はいない.

前回と比較すると，各選択肢の差は，いずれも２%以下と小さく，大きな変化はみられない.

学年別にみると，２，３年生および専攻科は「１時間～１時間 30 分未満」が最も多く，１年生は「30 分～１時間未満」が最も多い。愛知学院大学では「１時間未満」が最も多く 49.13%であり，そのうち楠元キャンパスでは 70.77%である.



［問 10 図］ 通学所要時間（片道）

［問 11］通学について不都合を感じることはありますか.

この設問は，通学時に不都合を感じることを自由記入で回答を求めた.

１年生 12 名，２年生 21 名，３年生 29 名から回答があった.

通学に時間がかかることに不都合を感じている学生が多い. その理由として，通学距離だけでなく公共交通機関の乗り換えが多いこと，バスや電車の本数が少ないこと、定刻に遅延することなどがあげられた. 地下鉄本山駅あるいは覚王山駅からキャンパスまでは徒歩で 10 分足らずであるが，駅から遠いと回答した学生も多い. また、通学時間が通勤時間と重なるため，公共交通機関とくに地下鉄車内が混雑することを苦痛に思っている者が多い.

このように，通学についての不都合は，公共交通機関に関する事項が多いものの，通学の不都合を授業開始が早いためと大学に対する不満に結び付けている者も多い.

［問 12］あなたの普段の就寝時刻は，何時頃ですか.

１．午後 10 時より前
２．午後 10 時頃
３．午後 11 時頃
４．午前 0 時頃
５．午前 1 時頃
６．午前 2 時頃
７．午前 3 時頃
８．午前 4 時以降

問 12 表　全学年の選択肢別割合（%）

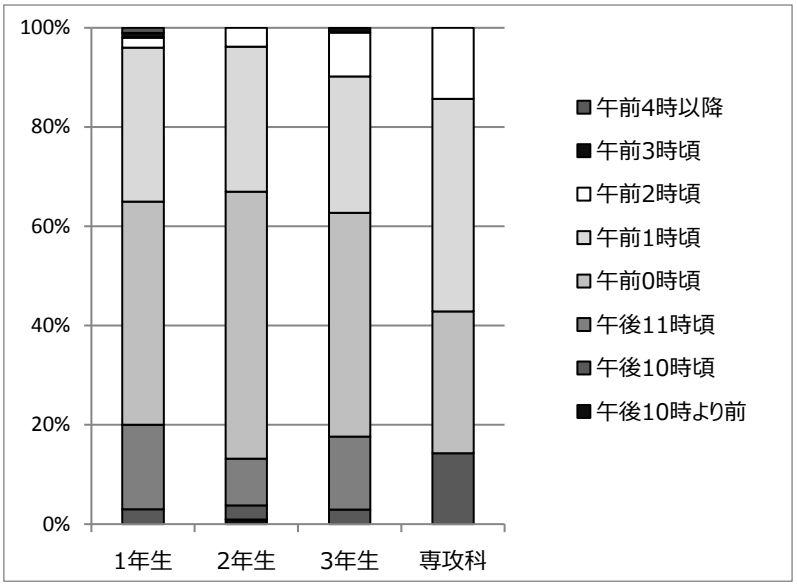
	午後 10 時より前	午後 10 時頃	午後 11 時頃	午前 0 時頃	午前 1 時頃	午前 2 時頃	午前 3 時頃	午前 4 時以降	合計
前 回	0.96	2.24	15.71	43.59	29.17	7.37	0.96	0.00	100
今 回	0.32	3.17	13.33	47.62	29.52	5.08	0.63	0.32	100

この設問では，普段の就寝時刻について回答を求めた.

全体としては，前回と同様に「午前 0 時頃」に就寝する学生が最も多く，次いで「午前 1 時頃」，「午後 11 時頃」の順である. したがって，「午後 11 時頃」から「午前 1 時頃」に就寝する学生が 90.47%を占め，「午後 11 時頃以前」および「午前 2 時以降」に就寝する学生はわずかである. とくに，「午前 10 時より前」，「午前 3 時頃」，「午前 4 時以降」に就寝する学生は 1 、 2 名である.

前回と比較すると「午前０時頃」就寝する学生が前回より増加し，その分「午後 11 時頃」が減少した．したがって，就寝時刻は前回より遅くなる傾向が示された．

学年別に比較すると，「午前０時頃」に就寝する学生が歯科衛生学科では最も多く，１年生（45.0%），２年生（53.8%），３年生（45.1%）である．一方，専攻科は，「午前１時頃」が最も多く 42.9%となっている．次に多い割合を示した就寝時刻は１年生，２年生，３年生では「午前１時頃」であり，専攻科は「午前０時頃」である．



［問 12 図］ 普段の就寝時刻

［問 13］普段の起床時刻は，何時頃ですか．

１．午前５時より前
２．午前５時頃
３．午前６時頃
４．午前７時頃
５．午前８時頃
６．午前８時以降

問 13 表　全学年の選択肢別割合（%）

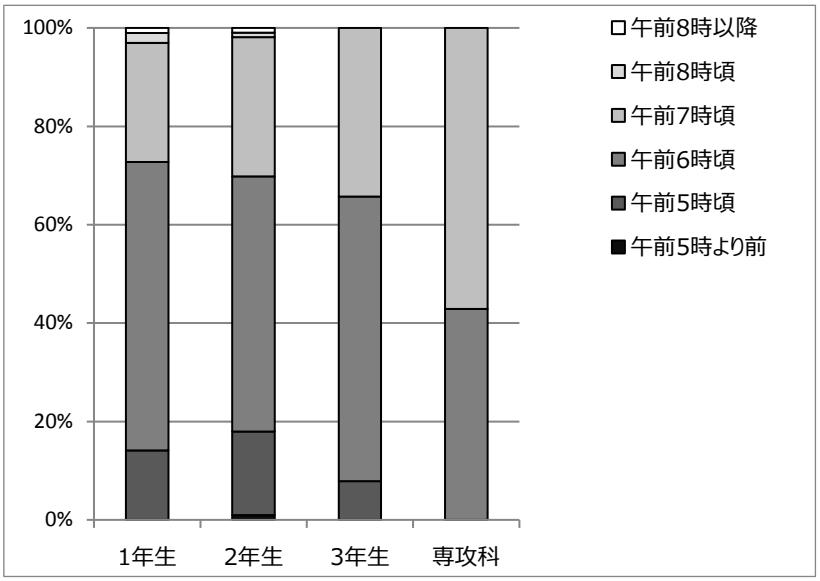
	午前５時より前	午前５時頃	午前６時頃	午前７時頃	午前８時頃	午前８時以降	合計
前 回	0.96	16.35	52.24	29.81	0.64	0.00	100
今 回	0.32	12.74	55.73	29.62	0.96	0.64	100

この設問では，普段の起床時刻について回答を求めた．

全体としては，「午前６時頃」起床する学生が５割を占め最も多く，次いで「午前７時頃」であり，この両者で８割以上を占める．それより早い「午前５時頃」起床する学生は少なく，「午前５時より前」はわずかである．これら早い時刻に起床する学生は通学所要時間が長い学生であろう．また，「午前８時頃」，「午前８時以降」に起床する学生はきわめて少ない．

前回と比較すると，「午前６時頃」起床する学生がわずかに増加し，その分「午前５時より前」と「午前５時頃」がわずかに増加したが，傾向に変化は見られない．

学年別にみると，高学年になるほど起床時刻が遅くなる傾向が認められる．



［問 13 図］ 普段の起床時刻

４．経済生活について

［問 14］から［問 21］までは，学生の経済生活（学費支払者，家庭からもらっている１ヶ月の小遣いの金額，アルバイトの経験の有無およびアルバイト経験者に対して，週あたりの日数，職種，時間帯，月当たりの平均収入，収入の使途）についての設問である．

［問 14］授業料などの学費は，だれが払っていますか．

１．全額家庭から払っている
２．半分以上は家庭から払っている
３．全額奨学金で払っている
４．半分以上は奨学金で払っている
５．全額自分のアルバイト代で払っている
６．半分以上は自分のアルバイト代で払っている
７．その他

問 14 表　全学年の選択肢別割合（%）

	全額家庭	半分以上家庭	全額奨学金	半分以上奨学金	全額アルバイト	半分以上アルバイト	その他	合計
前 回	70.51	5.13	8.01	14.74	0.32	0.32	0.96	100
今 回	78.03	5.41	7.01	7.96	0.64	0.64	0.32	100
愛知学院大学	70.24	9.06	6.86	11.68	0.19	0.76	1.14	100

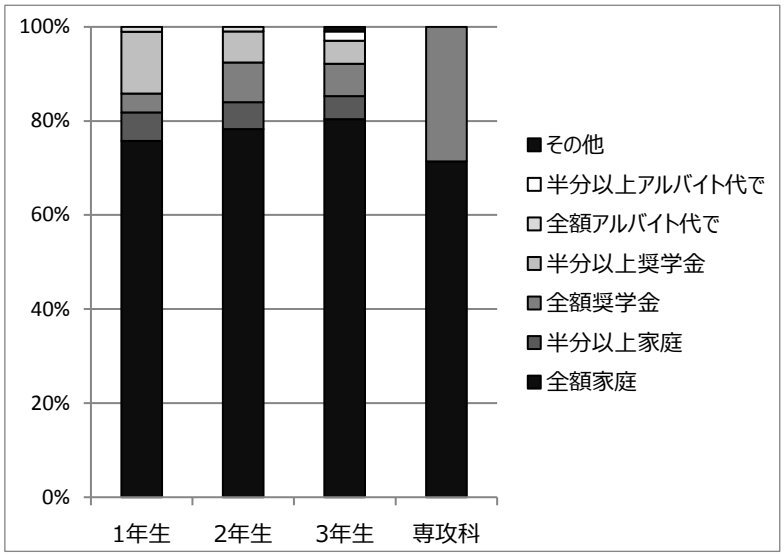
この設問では，学費の支払い者は誰かについて回答を求めた．

全体としては，「全額家庭から払っている」学生が約８割を占める．次いで，「半分以上は家庭から払っている」，「全額奨学金で払っている」，「半分以上は奨学金で払っている」の順である．

前回と比較すると，「奨学金」（「全額奨学金で払っている」＋「半分以上は奨学金で払っている」）で払っている学生の割合は前回の 22.8%から今回 15.0%に減少している．愛知学院大学と比較すると「全額家庭から払っている」学生がやや多く，「奨学金」（「全額奨学金で払っている」＋「半分以上は奨学金で払っている」）で払っている学生の割合がやや少ないものの，アルバイト代を学費に充てているものがやや多い．

学年別にみると，「全額家庭から払っている」学生は１年生（75.0%），２年生（78.3%），３年生（80.4%），専攻科（71.4%）と歯科衛生学科は学年が高くなるにしたがい漸増し，高学年ほど家庭への依存度が大きくなることを示している．しかし，その一方で，「半分以上は家庭から払っている」学生は，１，２年生（それぞれ 6.0%，5.7%）で３年生（4.9%）より多い．また，「全額あるいは半分以上奨学金」で支払っている学生の割合は，１年生（17.0%），２年生（15.1%），

３年生（11.8%），専攻科（28.6%）と専攻科が多くなっている．



［問 14 図］ 学費の支払者

［問 15］あなたが家庭からもらっている小遣いは，月あたりどれくらいですか．

１．もらっていない
２．10,000 円未満
３．10,000～20,000 円未満
４．20,000～30,000 円未満
５．30,000～40,000 円未満
６．40,000～50,000 円未満
７．50,000～60,000 円未満
８．60,000 円以上
９．特に金額は決まっていない

問 15 表　全学年の選択肢別割合（%）

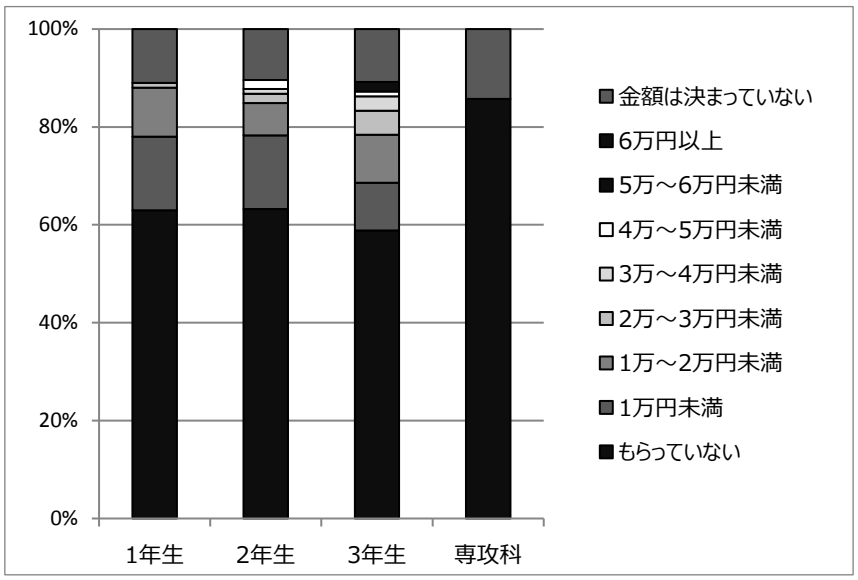
	もらっていない	１万円未満	１～２万円未満	２～３万円未満	３～４万円未満	４～５万円未満	５～６万円未満	６万円以上	決まっていない	合計
前 回	61.41	13.50	6.75	2.89	2.25	1.61	2.25	0.96	8.36	100
今 回	62.22	13.02	8.57	2.54	1.27	0.95	0.00	0.63	10.79	100
愛知学院大学	50.11	28.32（3 万円未満）			11.79（3－5 万円）		9.67（5 万円以上）		—	98.9

この設問では，家庭からもらう１ヶ月あたりの小遣いの額について回答を求めた．

全体としては，小遣いを「もらっていない」学生がほぼ６割を占め，もらっている学生より多い．もらっている学生も「10,000 円未満」，次いで「10,000～20,000 円未満」が多い．すなわち，８割以上の学生は小遣いを「もらってない」か，もらっていても「20,000 円未満」である．

前回と比較すると，小遣いを「20,000 円以上」もらっている学生が減少しており，定額でない学生も増加している．愛知学院大学と比較すると、家庭から小遣いをもらってない者が多く、もらっていても金額は少額である。

学年別にみると，「もらっていない」学生は１，２年生（63．0%、63.2%）で３年生（80.4%）、専攻科（71.4%）より少ない．



［問 15 図］小遣いの金額

［問 16］あなたはアルバイトの経験がありますか.

1．経験がある

2．経験がない

問 16 表　全学年の選択肢別割合（%）

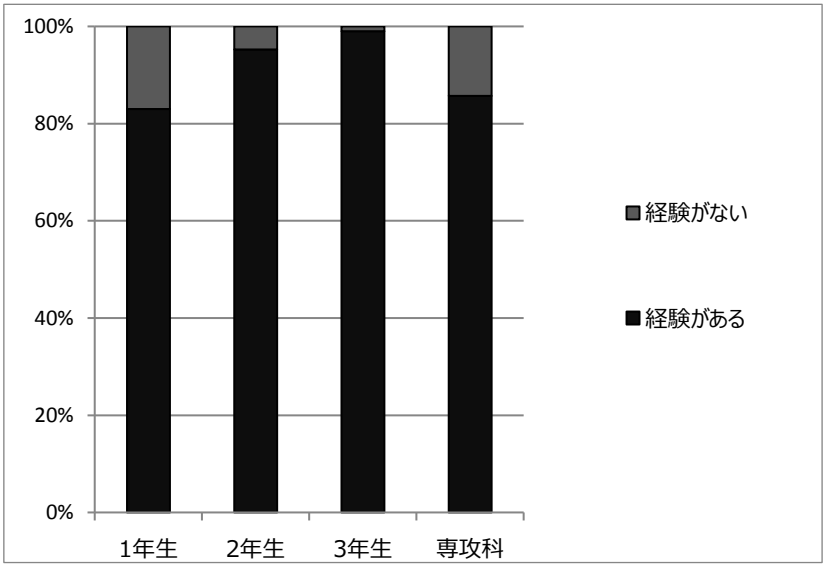
	経験がある	経験がない	合計
前 回	95.50	4.50	100
今 回	92.38	7.62	100
愛知学院大学	82.71	17.17	98.9

この設問では，アルバイト経験の有無について回答を求めた.

全体としては，アルバイトの「経験がある」学生がほとんどである.

前回と比較すると,「アルバイト経験がある」学生の割合はやや減少しているが、愛知学院大学の学生と比較すると 10%程度多い.

学年別にみると,「経験がある」学生は，２年生（95.3%）と３年生（99.0%）との間には大差はないが，１年生（83.0%）、専攻科（85.7%）は２，３年生よりやや少ない.



［問 16 図］ アルバイト経験

［問 17］そのアルバイトの週あたりの日数はどれくらいですか.

1．１日
2．２日
3．３日
4．４日
5．５日
6．６日
7．７日
8．特に日数は決まっていない

［問 17］から［問 21］は，アルバイト経験がある１年生 83 名、２年生 101 名、３年生 101 名、専攻科６名、全学年 291 名が対象である。

問 17 表　全学年の選択肢別割合（%）

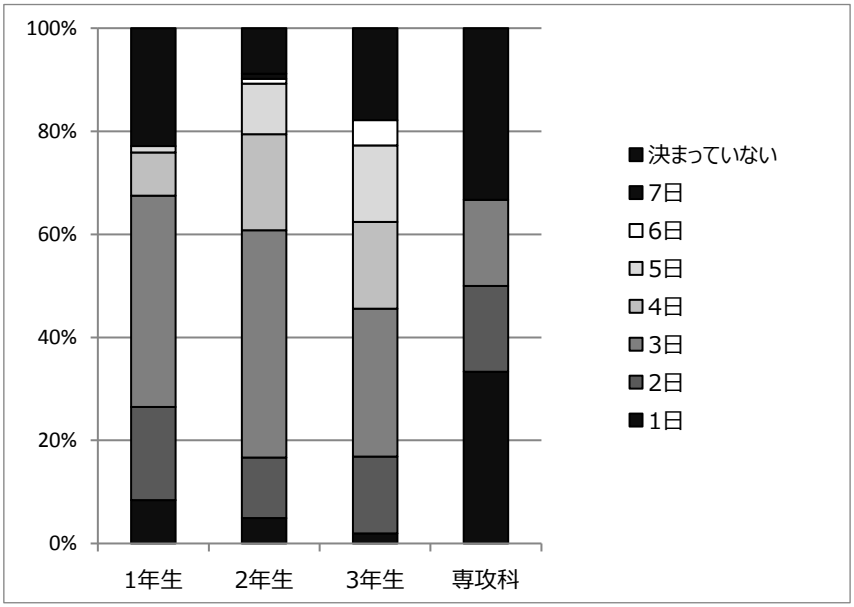
	１日	２日	３日	４日	５日	６日	７日	決まっていない	合計
前 回	7.80	20.34	34.58	15.93	5.42	1.02	1.02	13.90	100
今 回	5.48	14.73	37.33	14.73	8.90	2.05	0.34	16.44	100

この設問では，１週間あたりのアルバイト日数ついて回答を求めた.

全体としては，週「３日」アルバイト経験のある学生が最も多く，次いで，「２日」，「４日」の順であり，週「２日」から「４日」が 66.8%を占める.「７日」の学生は１名である. また，「特に日数は決まっていない」学生もいる.

前回と比較すると，「１日」「２日」「４日」の学生が減少し，「３日」「５日」の学生が増加しており日数は増加傾向にある.

学年別にみると、専攻科を除く歯科衛生学科では学年が上がるにつれて日数が増える傾向がある.



［問 17 図］ 週あたりのアルバイト日数

［問 18］そのアルバイトの職種はなんです（でした）か.（複数回答可）

1．歯科医院
2．家庭教師・塾の講師
3．事務員
4．軽作業（発送・梱包・検査・整理等）
5．労働（配達・運搬・荷造・引っ越し等）

６．特殊技能（コンピューター関係・翻訳・コピーライター等）
７．新聞配達
８．デパート店員（大規模スーパーを含む）
９．一般商店店員（小規模スーパー・コンビニを含む）
10．ガードマン
11．スポーツインストラクター
12．飲食店・喫茶店
13．パブ・スナック等の接客業
14．その他

問 18 表　全学年の選択肢別割合（%）

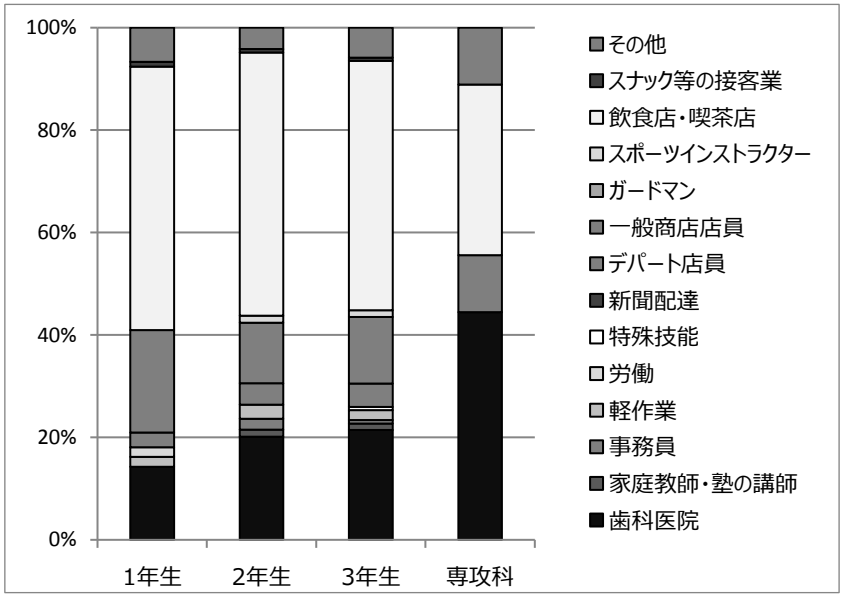
	歯科医院	家庭教師・塾講師	事務員	軽作業	労働	特殊技能	新聞配達
前 回	36.18	9.90	1.71	4.78	1.71	1.02	0.68
今 回	27.74	1.37	1.37	3.08	0.68	0.34	0.00
	デパート	一般商店	ガードマン	インストラクター	飲食店等	パブ等	その他
前 回	8.53	18.77	0.00	1.02	67.58	1.37	11.26
今 回	5.48	20.21	0.00	1.37	70.55	1.03	7.88

この設問では，アルバイトの職種は何かについて回答を求めた．複数回答が可能であり，のべ回答者数は１年生 223，２年生 263，３年生 258，専攻科 16 の合計 760 である．図は各学年における総回答者数に対する割合を示す．

全体としては，「飲食店・喫茶店」が職種の学生が最も多く，次いで，「歯科医院」，「一般商店店員（小規模スーパー・コンビニを含む）」の順である．他の職種は，「デパート店員（大規模スーパーを含む）」および「その他」を除けば５％以下である．「ガードマン」が職種の学生はいない．「その他」の職種は「アパレル」「洗い場」「映画館」「警備」「結婚式場のサービススタッフ」「工場（パン）」「ドラックストア」「パチンコ」「物品販売」「ブライダル業」「ホテルのパーティーの配膳」「ホテルのホール」「もぎりチケット等」などであった．

前回と比較すると，「歯科医院」が減少し，「飲食店・喫茶店」が増加した．

学年別にみると，いずれの学年も「飲食店・喫茶店」が職種の学生が最も多いが，その割合は１年生（54.0%），２年生（69.8%），３年生（73.5%），専攻科（42.9%）と専攻科を除き学年が進むと増加する．それに対して，「歯科医院」でアルバイトをする学生は，専門基礎科目を履修している１年生（15.0%），臨床科目を履修している２年生（27.4%），臨床実習を行っている３年生（32.4%）と学年が進むと増加し，歯科衛生士の資格を取得している専攻科は 57.1%となっている．



［問 18 図］ アルバイトの職種（総回答数に対する割合）

［問 19］そのアルバイトの主な時間帯はどれです（でした）か．（複数回答可）

1．午前 1 時～4 時
2．午前 4 時～7 時
3．午前 7 時～10 時
4．午前 10 時～午後 1 時
5．午後 1 時～4 時
6．午後 4 時～7 時
7．午後 7 時～10 時
8．午後 10 時～午前 1 時

問 19 表　全学年の選択肢別割合（%）

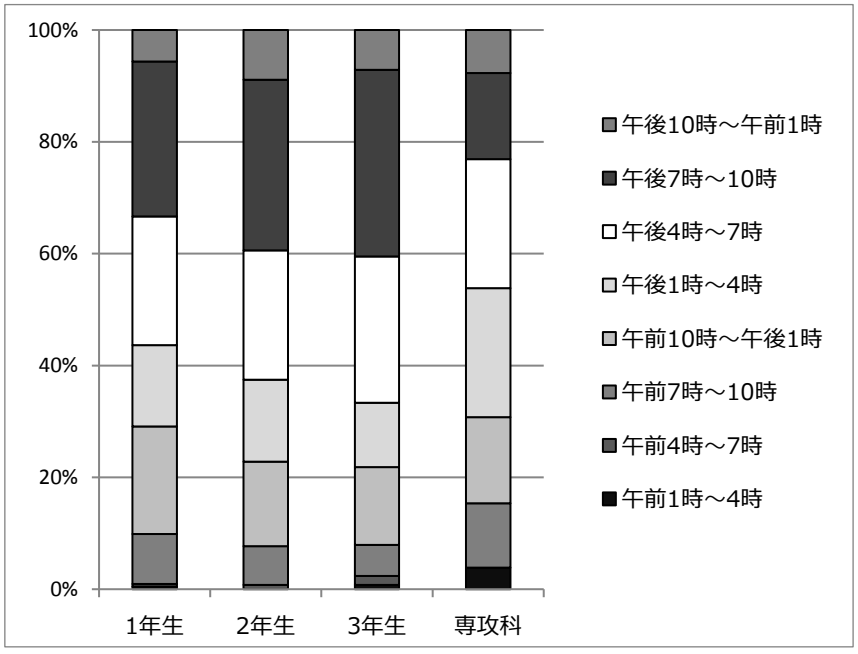
	午前 1 時～4 時	午前 4 時～7 時	午前 7 時～10 時	午前 10 時～午後 1 時	午後 1 時～4 時	午後 4 時～7 時	午後 7 時～10 時	午後 10 時～午前 1 時
前 回	0.68	2.38	23.81	50.00	45.58	67.69	78.23	20.41
今 回	1.37	2.40	18.49	40.75	35.62	61.99	77.40	18.84

この設問では，アルバイトの時間帯について回答を求めた．複数回答が可能であり，のべ回答者数は 1 年生 230，2 年生 263，3 年生 253，専攻科 27，合計 773 である．図は各学年における総回答者数に対する割合を示す．

全体としては，「午後 7 時～10 時」にアルバイト経験がある学生が最も多く，次いで，「午後 4 時～7 時」であり，他の時間帯は半数以下である．午前 1 時～午前 7 時までの時間帯にアルバイトを行うことは，本学科の授業開始時刻が週日午前 8 時 40 分であることから，困難であると思われるが，この時間帯にアルバイト経験がある学生が 3.5%いる．また，7 割以上の学生は授業終了後の午後 4 時～午後 10 時に行っているが，午前 8 時 40 分から午後 4 時 10 分の授業時間中にアルバイトを行った経験がある学生もかなりいる．しかし，ほとんどすべての学生の授業出席率が「90%～100%」である［問 40］ことから，これらの学生は，休暇，土・日曜日，祝日のこの時間帯にアルバイト経験があると思われる．

前回と比較すると，すべての時間帯の割合が前回と同程度である．

学年別にみると，学年が上がるにつれて午前中などの早い時間にアルバイトを行っている学生が減少している．また，専攻科は空いた授業時間を活用して午前 10 時～午後 7 時までアルバイトを行っている学生が多い．



［問 19 図］ アルバイトの時間帯（総回答数に対する割合）

［問 20］そのアルバイト収入は，平均すると月あたりおおよそいくらです（でした）か．

1．20,000 円未満
2．20,000～40,000 円未満
3．40,000～60,000 円未満

４．60,000～80,000 円未満
５．80,000～100,000 円未満
６．100,000～120,000 円未満
７．120,000～140,000 円未満
８．140,000～160,000 円未満
９．160,000 円以上

問 20 表　全学年の選択肢別割合（%）

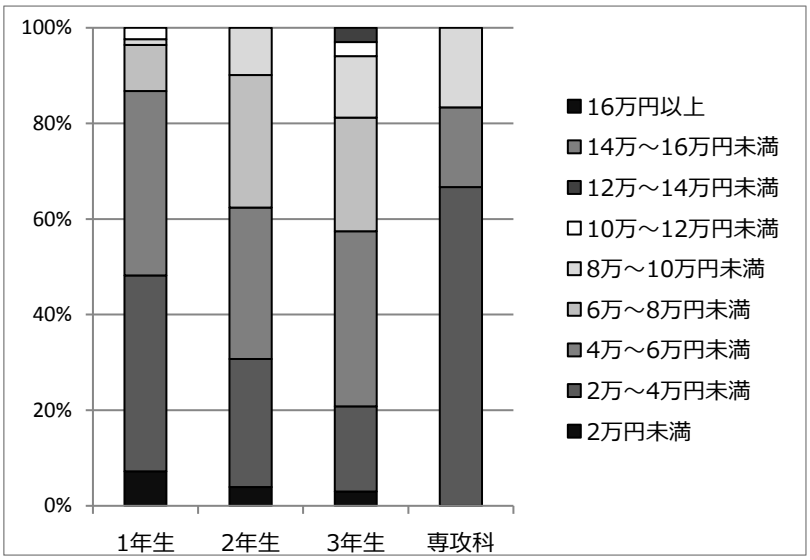
	2 万円未満	2～4 万円未満	4～6 万円未満	6～8 万円未満	8～10 万円未満	10～12 万円未満	12～14 万円未満	14～16 万円未満	16 万円以上	合計
前 回	5.42	31.19	37.97	16.95	6.10	0.68	1.02	0.00	0.68	100
今 回	4.47	28.52	35.05	20.62	8.59	1.72	1.03	0.00	0.00	100

この設問では，１ヶ月あたりのアルバイトの平均収入について回答を求めた．

全体としては，「40,000～60,000 円未満」の学生が最も多く，次いで「20,000～40,000 円未満」である．両者，すなわち，「20,000～60,000 円未満」の学生が 6 割強を占める．次いで「60,000～80,000 円未満」，「80,000～100,000 円未満」，「20,000 円未満」の順である．

前回と比較すると，「40,000 円未満」（「20,000 円未満」＋「20,000～40,000 円未満」）の割合が前回の 36.6%から今回 33.0%とやや減少した．また、「60,000 円以上」（「60,000～80,000 円未満円未満」＋「80,000～100,000 円未満」＋「100,000～120,000 円未満」＋「120,000～140,000 円未満」＋「14,000～160,000 円未満」＋「160,000 円以上）の割合は前回 25.4%に対し今回 32.0%とやや増加している．

学年別にみると，「20,000 円未満」の学生は１年生（6.0%），２年生（3.8%）３年生（2.9%），専攻科（0.0%）と学年が上がるにつれて低下している．一方で，「60,000 円以上」の学生は１年生（11.0%），２年生（35.8%）３年生（42.2%），専攻科（14.3%）と専攻科を除き学年が上がるにつれて増加している．



［問 20 図］ アルバイトの平均月収

［問 21］そのアルバイトの収入の使途の主なものは何です（でした）か．（３つまで選択可）

１．学費（授業料等）
２．勉学費（教科書・書籍・文具等）
３．通学交通費（定期代）・免許取得費・乗り物購入維持費（自動車・バイク等）
４．クラブ・サークル費
５．生活費（食住費）
６．通信費（携帯電話、スマートフォン等携帯通信機器使用料等）
７．家族の生計費

８．医療費・保険料
９．耐久消費財購入費（電化製品・家具等）
10．趣味・習いごと・芸術鑑賞
11．旅行・レジャー・観光費
12．被服・おしゃれ費
13．娯楽費（社交費・コンパ・パチンコ等）
14．嗜好品（酒・たばこ・コーヒー等）
15．貯金
16．その他

問 21 表　全学年の選択肢別割合（%）

	学費	勉学費	通学交通費等	クラブ・サークル費	生活費	通信費	家族の生計費	医療費・保険料
前 回	2.71	5.08	14.92	9.49	16.61	—	0.68	1.02
今 回	1.37	3.77	9.25	5.14	14.38	7.88	0.00	1.37
愛知学院大学	6.63	15.05	18.27	12.81	29.91	—	—	—

	耐久消費財購入費	趣味等	旅行・レジャー費等	被服・おしゃれ費	娯楽費	嗜好品	貯金	その他
前 回	0.00	31.86	50.51	75.59	13.90	3.05	37.29	1.02
今 回	0.00	44.86	52.74	75.34	6.16	3.08	27.05	0.00
愛知学院大学	—	58.98				—	36.73	2.16

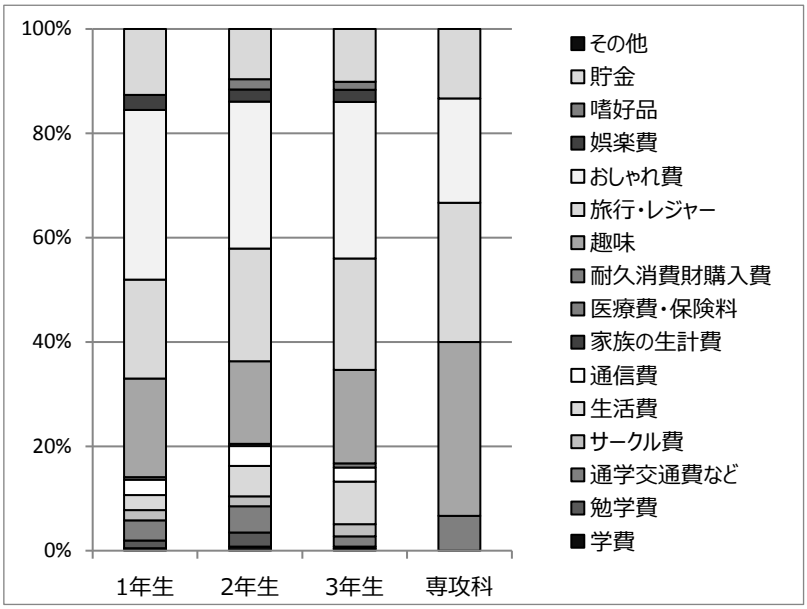
この設問は前回の設問から１項目「通信費（携帯電話、スマートフォン等携帯通信機器使用料等)」を増設した。

この設問では，アルバイト収入の主な使いみちについて回答を求めた．３つまで選択が可能であり，のべ回答者数は１年生 223，２年生 263，３年生 258，専攻科 16，合計 760 である．図は各学年における総回答者数に対する割合を示す．

全体としては，「被服・おしゃれ費」が使途の学生が圧倒的に多く，次いで，「旅行・レジャー・観光費」，「趣味・習いごと・芸術鑑賞」，「貯金」，「生活費（食住費)」，「通学交通費（定期代）・免許取得費・乗り物購入維持費（自動車・バイク等)」，「通信費（携帯電話、スマートフォン等携帯通信機器使用料等)」の順である．「その他」で記入があった．

前回と比較すると，前回同様「被服・おしゃれ費」が使途の学生が最も多く，次いで「「旅行・レジャー・観光費」でありその割合もほぼ同じである．一方，「趣味・習いごと・芸術鑑賞」が増加し．「貯金」が減少した．愛知学院大学の学生と比較すると，「学費」「勉学費」「通学交通費等」「生活費」に使用する者が少なく「趣味・被服・娯楽」に使用する割合が多い．

学年別にみると，最も多い使途が「被服・おしゃれ費」次いで「旅行・レジャー・観光費」であることはすべての学年に共通する．それに対して，「学費」，「勉学費」など学校にかかる費用は家庭から支払う割合が約８割（問 14）であることから，高学年ほどアルバイト収入を，学生生活を楽しむことに使う傾向が強いといえる．この傾向は前回も認められた．また専攻科は「趣味・習いごと・芸術鑑賞」が多く自分磨きのために使用していると考えられる．



［問 21 図］ アルバイト収入の使途（総回答数に対する割合）

５．食事について

［問 22］から［問 24］は食事に関する設問である．

［問 22］あなたは，朝食を食べますか．

１．かならず食べる
２．ときどき食べないことがある
３．食べないことが多い
４．ほとんど食べない

問 22 表　全学年の選択肢別割合（%）

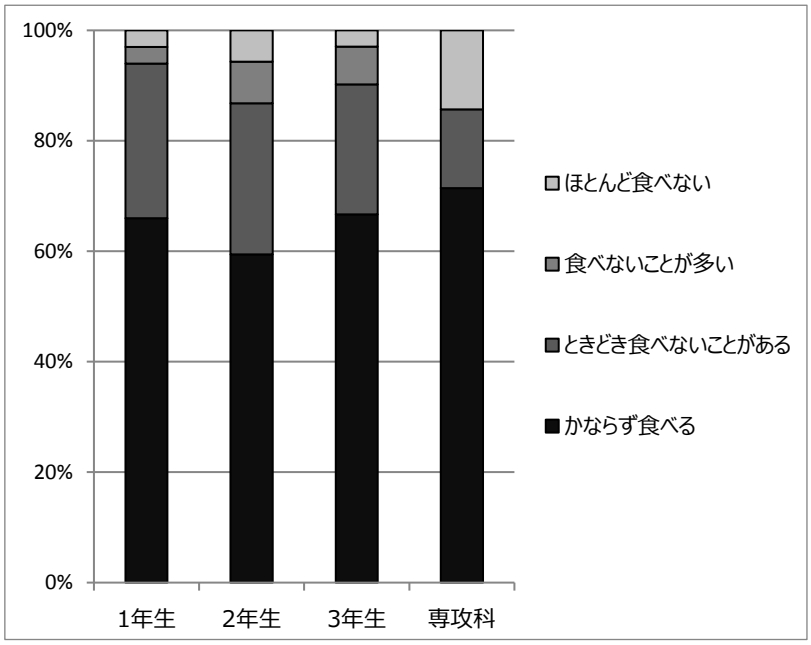
	かならず食べる	ときどき食べないことがある	食べないことが多い	ほとんど食べない	合計
前 回	70.51	20.83	3.85	4.81	100
今 回	64.13	26.03	5.71	4.13	100

この設問では，朝食を摂取するかについて回答を求めた．

全体としては，「かならず食べる」学生が最も多く，次いで，「ときどき食べないことがある」，「食べないことが多い」の順であり，「ほとんど食べない」学生は少ない．どちらかというと「朝食をとる」（「かならず食べる」＋「ときどき食べないことがある」）学生の割合は 90.2%であり，ほとんどの学生は規則正しく朝食をとっている．

前回と比較すると，「かならず食べる」学生が減少し，その分「ときどき食べないことがある」，「食べないことが多い」学生がやや増加した．そのため，どちらかというと「朝食をとる」学生の割合は，前回の 91.3%から 90.2%と今回わずかではあるが減少した．

学年別にみると，「必ず食べる」学生が最も多いことは全学年に共通であるが，その割合は３年生（66.7%）で最も多く，次いで１年生（66.0%）であり，２年生（58.5%）で最も少ない．また，どちらかというと「朝食をとる」学生の割合も１年生（94.0%）および３年生（90.2%）で２年生（86.8%）より多い．２年生で朝食摂取の規則性が乱れている傾向がある．



［問 22 図］ 朝食の摂取状況

［問 23］あなたは昼食を主にどこで食べますか.

1．自宅（下宿を含む）
2．講義室
3．短大棟２階マグネットラウンジ
4．薬学部１階学生ホール
5．歯学部基礎教育研究棟食堂
6．４号館食堂
7．歯学部附属病院食堂
8．学外の飲食店で食べる
9．屋外で食べる
10．ほとんど食べない
11．その他

問 23 表　全学年の選択肢別割合（%）　※前回より選択肢が変更となっている

		自宅	講義室	短大部棟２階マグネットラウンジ	薬学部１階ホール	歯学部基礎教育研究棟食堂	４号館食堂	附属病院食堂	学外の飲食店	屋外	ほとんど食べない	その他	合計
前回	1・2 年生	2.99	28.36	44.78	15.92	0.50	5.47	0.50	0.00	0.00	0.00	1.49	100
	3 年生	1.80	6.31	6.31	8.11	1.80	0.90	68.47	0.00	0.00	0.00	6.31	100
今回	1・2 年生	5.37	49.27	37.07	6.83	0.49	0.00	0.49	0.00	0.49	0.00	0.00	100
	3 年生・専攻科	2.75	20.18	20.18	3.67	0.00	2.75	44.04	0.00	0.00	0.00	6.42	100

＊：2014 年に短大部棟が完成し，２階にマグネットラウンジが新設され，４号館カフェテリアは，４号館食堂とした．また，附属病院では，食堂と控え室を統一した．

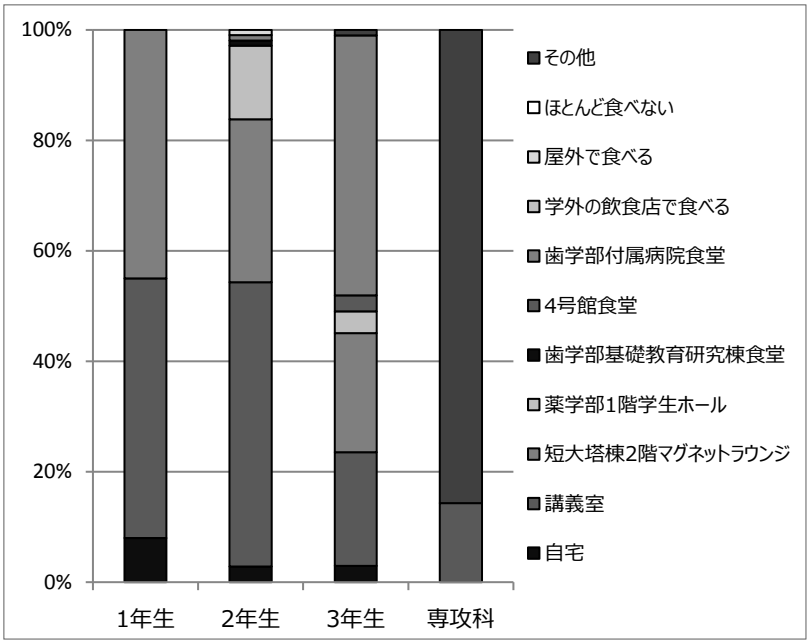
この設問では，昼食をどこでとるかについて回答を求めた．

全体としては，昼食を「ほとんど食べない」学生はいない．昼食に関しても規則正しい食生活をしている．また，「学外の飲食店で食べる」，「屋外で食べる」学生はいない．食事を提供する学内施設は，楠元キャンパスに歯学部基礎教育研究棟食堂，薬学部１階学生ホール，４号館食堂があり，末盛キャンパスには歯学部附属病院食堂がある．また，食事は提供されないが短大部棟にラウンジが新設され多くの学生が利用している．しかし，１，２年生において最も多いのは「講義室」であることから「自宅」以外の他の利用場所においては自宅からの弁当持参か，コンビニなどで購入した弁当を利用していると思われる．もちろん，食事を提供する施設においても弁当の利用はできる．

本学科は，１，２年生は楠元キャンパスで授業および基礎実習を，３年生・専攻科は主に歯学部附属病院で臨床実習を行っているため，昼食をとる場所は１，２年生と３年生および専攻科では異なる．１，２年生についてみると，「講義室」で昼食をとる学生が最も多く，次いで，「短大部棟２階マグネットラウンジ」，「薬学部１階学生ホール」の順であり，この３カ所で９割近くの学生が昼食をとっている．主に歯学部附属病院で臨床実習を行っている３年生についてみると，約４割が「歯学部附属病院食堂」であり，それ以外の施設では１割以下である．

前回と比較すると，新築された校舎に「短大部棟２階マグネットラウンジ」ができ，約４割の学生が利用している．前回と比較して「薬学部１階学生ホール」は半数近く減少した．また，４号館カフェテリアは食事を提供できるようになっているが，利用者は少なく，今回のアンケートではさらに減少した．３年生では歯学部附属病院の施設があまりないにもかかわらず．「歯学部附属病院食堂」が減少している．選択肢にはないがロッカールームで昼食をとっている可能性がある．また，「自宅（下宿を含む）」で昼食をとる学生は前回と比較すると全学年で減少していた．

１，２年生を比較すると，「講義室」を利用する学生は同程度であったが，「短大部棟２階マグネットラウンジ」を利用する学生では１年生（45.0%）は２年生（29.2%）よりかなり多いのに対し，「薬学部１階学生ホール」を利用する学生は，２年生（13.2%）で１年生（0.0%）でよりかなり多く，１年生と２年生はあまり交流がないものと推察される．一方専攻科は臨床実習している場合も，楠元キャンパスにいる場合も専攻科専用の控室で昼食をとっている可能性が高い．



［問 23 図］ 昼食の摂取場所

［問 24］学内の食堂・売店をどの程度利用しますか.

１．ほとんど利用しない
２．週１～２回程度利用する
３．週３～４回程度利用する
４．週５回以上利用する

問 24 表　全学年の選択肢別割合（%）

		ほとんど利用しない	週１～２回程度	週３～４回程度	週５回以上	合計
前 回	１・２年生	46.23	40.20	10.55	3.02	100
	３年生	56.76	27.03	13.51	2.70	100
今 回	１・２年生	63.59	29.61	5.83	0.97	100
	３年生・専攻科	59.63	28.44	10.09	1.83	100

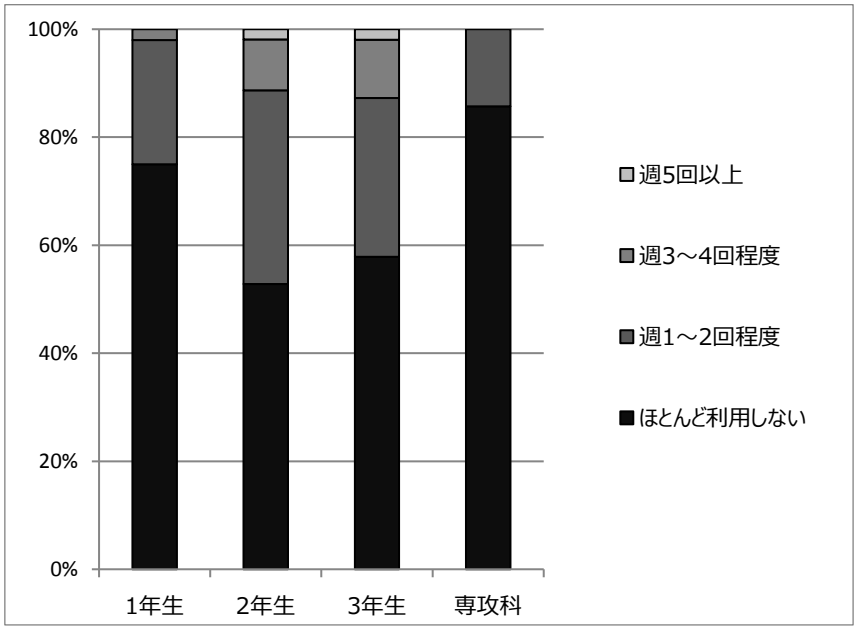
１，２年生が通学する楠元キャンパスには，４号館カフェテリア，薬学部１階学生ホールにコンビニが，３年生が主に通学する歯学部附属病院には食堂がある．これらの施設が提供するメニュー，商品の購入頻度についての設問である．

１，２年生全体では，「ほとんど利用しない」学生が最も多く，次いで「週１～２回程度利用する」，「週３～４回程度利用する」の順であり，「週５回以上利用する」学生は少ない．これは，多くの学生が昼食を持参していることや楠元キ

ャンパスの売店・食堂および附属病院の食堂は他学部の学生や教職員が利用しているため利用しづらい可能性がある．

前回と比較すると，１，２年生では「ほとんど利用しない」学生が明らかに増加し，「週３～４回程度利用する」学生が減少した．３年生ではほぼ前回と同じ傾向を示している．

学年別に比較すると,「利用頻度の低い」(「ほとんど利用しない」+「週１～２回程度利用する」)学生は，１年生(98.0%)，２年生（88.7%），３年生（87.3%），専攻科(100.0%)であった．



［問 24 図］ 学内の食堂・売店の利用頻度

６．交通違反・事故について

［問 25］,［問 26］は自分自身が運転する交通違反・事故の経験，事故の状況に関する設問である．自動車・バイクの免許を取得している１年生 100 名中 27 名（27.0%），２年生 106 名中 61 名（57.5%），３年生 102 名中 73 名（71.6%），専攻科 7 名中 4 名（57.1%），合計 315 名中 165 名（52.4%）が対象である．

［問 25］過去１年間について，あなたの運転中における交通違反・事故の経験についてお聞きします．

１．交通違反はしていないし，事故にも関わっていない
２．交通違反はしたが，事故には関わっていない
３．交通違反はしていないが，交通事故に関わった
４．交通違反をし，交通事故に関わった
５．免許はもっているが，運転はしていない

問 25 表　全学年の選択肢別割合（%）

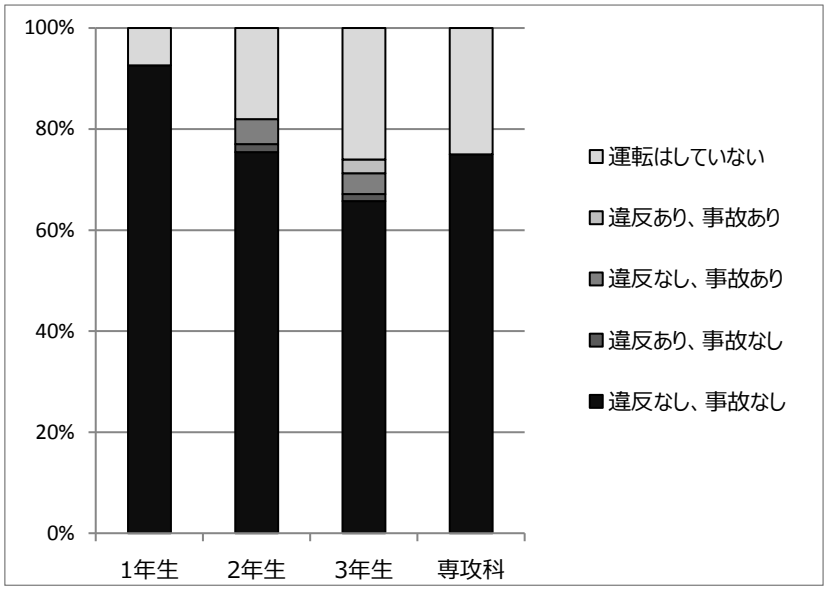
	違反はしていないし，事故にも関わっていない	違反はしたが，事故には関わっていない	違反はしていないが，事故に関わった	違反をし，事故に関わった	免許はもっているが，運転はしていない	合計
前 回	75.62	2.49	4.48	0.50	16.92	100
今 回	73.94	1.21	3.64	1.21	20.00	100

この設問では，自分自身が運転する交通違反・事故の経験について回答を求めた．

全体としては，「交通違反はしていないし，事故にも関わっていない」学生の割合が７割以上をしめ，ほとんどの学生は交通違反・事故の経験がなく，適切な運転をしている．次いで「免許はもっているが運転はしていない」,「交通違反はしていないが，交通事故に関わった」,「交通違反はしたが，事故には関わっていない」の順であり,「交通違反はしたが，事故には関わっていない」あるいは「交通違反をし，交通事故に関わった」学生は最も少ない．また，事故の有無にかかわらず「交通違反をした」(「交通違反はしたが，事故には関わっていない」＋「交通違反をし，交通事故に関わった」)学生の割合は 2.4%，交通違反の有無にかかわらず「事故にかかわった」(「交通違反はしていないが，交通事故に関わっ

た」＋「交通違反をし，交通事故に関わった」）学生の割合は 4.9％であり，「事故にかかわった」学生が「交通違反をした」学生より多い．前回と比較すると，この傾向に変化はみられない．

学年別にみると，いずれの学年も「交通違反はしていないし，事故にも関わっていない」学生が最も多いが，その割合は１年生 92.3％，２年生 75.4％，３年生 65.8％，専攻科 75.0%と専攻科を除き学年が進むにしたがい増加する．それにともない，交通違反の有無にかかわらず「事故にかかわった」学生も１年生（0.0％），２年生（4.9％），３年生（6.8％），専攻科(0.0％)と専攻科を除き学年が進むにしたがい増加する．運転免許保有率は２，３年生で６割を超えるが，１年生では３割と低い．さらに，１年生は運転経歴が短く，慎重に運転していることが想像される．また，「運転をしていない」学生が１年生（7.4％），高学年の２年生（18.0％）および３年生（26.0％）は学年が上がるにつれて増加している．



［問 25 図］ 交通違反・事故の経験

［問 26］その事故の状況についてお聞きします．

１．死亡した人がいた
２．死亡した人はいなかったが，入院した人がいた
３．死亡や入院をした人はいなかったが通院した人がいた
４．怪我をした人はいたが，通院するほどではなかった
５．だれも怪我をした人はいなかった

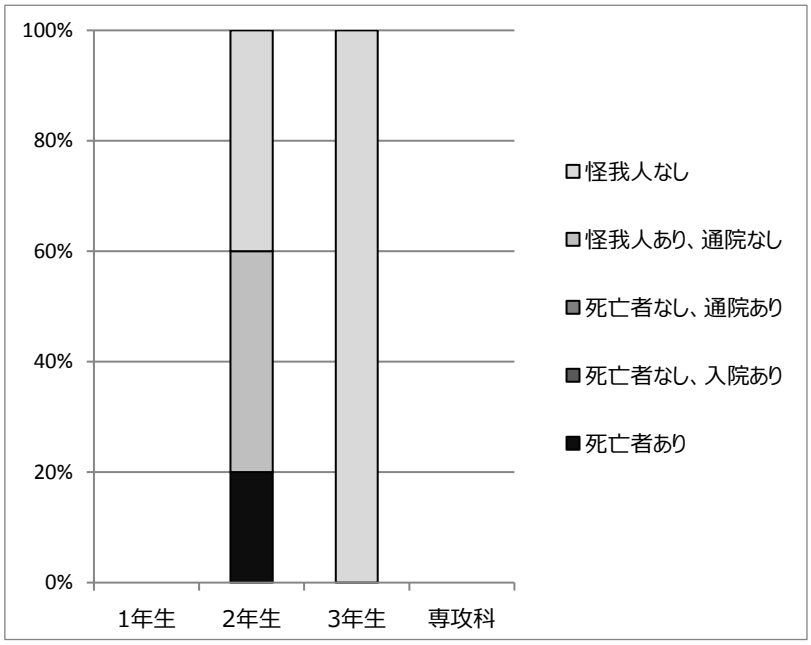
問 26 表　全学年の選択肢別割合（％）

	死亡した人がいた	怪我をして入院した人がいた	怪我をして通院した人がいた	通院するほどではなかった	だれも怪我をした人はいなかった	合計
前 回	0.00	0.00	10.00	10.00	80.00	100
今 回	10.00	0.00	0.00	20.00	70.00	100

この設問では［問 25］で交通違反の有無にかかわらず，「交通事故に関わった」と回答した２年生５名，３年生５名，合計 10 名が対象である．

事故の状況は，今回，前回ともに「怪我をした人はいたが，通院するほどではなかった」，「だれも怪我をした人はいなかった」が 90％であったが「死亡した人がいた」が 10%(1 名)おり，重大事故に直面することがあることを示している。

いずれにしても，交通事故の加害者になることはもちろん，被害者にもならないように，運転には十分注意し，交通安全を心がけなければならない．



［問 26 図］ 交通違反・事故の状況

7．携帯電話・インターネットについて

［問 27］から［問 29］は携帯電話・インターネットについての設問である．

［問 27］あなたは，携帯用通信機器をどのような情報末端機器として利用していますか．（複数回答可）

1．SNS（LINE、 Facebook、 Twitter、 Instagram 等）
2．動画共有サイト（Youtube、 Tik Tok、 ニコニコ動画 等）
3．カメラの代用（snow、snap chat 等）
4．メール
5．インターネットへのアクセス
6．時計の代用
7．エンターテーメント（ゲーム・音楽を聴く）
8．勉強（Study Plus 等）
9．画像を取り込んで利用する
10．通話のみ
11．もっていない

問 27 表　全学年の選択肢別割合（%）　※前回より選択肢が変更されている

	SNS	動画共有サイト	カメラの代用	メール	インターネットへのアクセス	時計の代用	エンターテーメント	勉強	画像の取り込み	通話のみ	もっていない
前 回	－	－	－	82.69	94.23	67.31	84.29	－	56.41	8.33	0.00
今 回	99.04	77.07	88.54	44.27	78.98	54.78	67.52	19.11	28.34	5.41	0.00

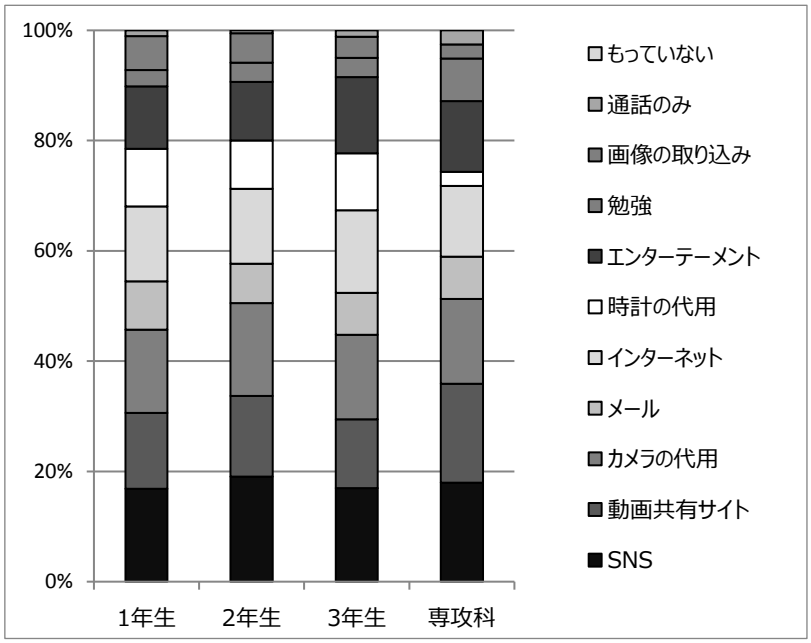
この設問では，携帯電話をどのような情報末端機器として利用しているかについて回答を求めた．選択肢は前回よりも「SNS（LINE、 Facebook、 Twitter、 Instagram 等)」,「動画共有サイト（Youtube、 Tik Tok、 ニコニコ動画 等)」,「カメラの代用（snow、snap chat 等)」,「勉強（Study Plus 等)」の項目を増設している。複数回答が可能であり，のべ回答者数は１年生 583，２年生 546，３年生 601，専攻科 39，合計で 1,769 である．図は各学年における総回答者数に対する割合を示す．

全体としては，携帯電話等を「もっていない」学生はいない．「通話のみ」が用途の学生が 5.41%いて，他の学生は通話以外にも携帯電話を利用している．通話以外の用途では，「SNS（LINE、 Facebook、 Twitter、 Instagram 等)」が最も多く，次いで「カメラの代用（snow、snap chat 等)」,「インターネットへのアクセス」,「動画共有サイト（Youtube、Tik Tok、 ニコニコ動画 等)」,「エンターテーメント（ゲーム・音楽を聴く)」,「時計の代用」「メール」の順で，多くの

学生は様々な機能を利用している．

短大からの連絡事項はメールで行っているが利用率が低くすべての学生に周知できていない可能性がある．

学年別にみると，全体の傾向とほぼ同一であり，一定の傾向はない．



［問 27 図］ 携帯電話の利用用途（総回答数に対する割合）

［問 28］下記の項目で，マナーとして携帯電話等の電源を切っておく（マナーモード等にもしない）べきだと思うものはどれですか．（複数回答可）

1．授業中の教室
2．試験中の教室
3．図書館・美術館・博物館・劇場・映画館
4．レストラン・食堂
5．自動車等の運転中
6．公共交通機関の中
7．病院
8．電子機器の近く
9．どのような場所や状況であろうと電源を切る必要はないと思う

問 28 表　全学年の選択肢別割合（%）

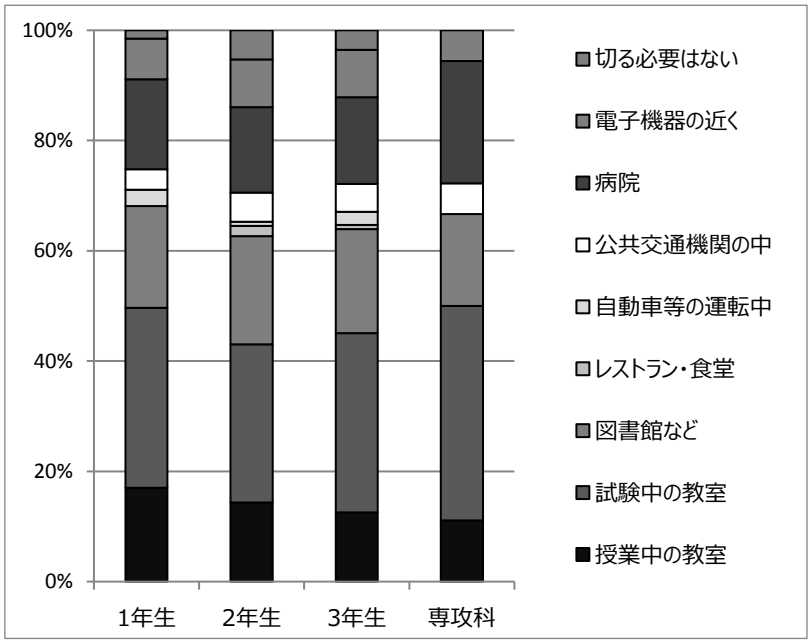
	授業中	試験中	図書館等	レストラン食堂	自動車の運転中	公共交通機関の中	病院	電子機器の近く	必要ない
前 回	29.03	85.16	53.23	2.26	6.45	13.23	53.55	32.90	5.16
今 回	37.82	81.41	49.04	2.24	5.13	12.18	41.35	21.15	8.65

この設問では，携帯電話等の電源を切っておくべきだと思う場所はどこかについて回答を求めた．複数回答が可能であり，のべ回答者数は 1 年生 271，2 年生 266，3 年生 256，専攻科 18，合計 811 である．図は各学年における総回答数に対する割合を示す．

全体としては，「試験中の教室」で電源を切っておくべきと思う学生が最も多く，8 割以上で，次いで「図書館・美術館・博物館・劇場・映画館」，「病院」，「授業中」の順であり，これらの 3 選択肢以外を回答した学生は 30%未満である．とくに，「レストラン・食堂」で電源を切っておくべきと思う学生はわずかである．これは，試験の開始前に携帯電話等の電源を切るように注意喚起するが，他の場面ではマナーモードにする場合が多いと考えられる．

前回と比較すると，すべての項目で電源を切っておくべきと思う学生が減少し，「どのような場所や状況であろうと電源を切る必要はないと思う」学生が増加している．携帯電話は消音モードやイヤホンを使用して利用することで周囲には騒音を発せず使用することが可能であり，また近年では公共の場で使用している者も多いことから電源を切ることがマナーとは考えにくくなっていると考えられる．

学年別にみると，全体の傾向とほぼ一致し，学年間に差はほとんどない．



［問 28 図］ 携帯電話の電源を切っておくべき場所（総回答数に対する割合）

［問 29］あなたはインターネットを利用して主にどのような情報を得ていますか.

1．勉学に関する情報
2．生活に関する情報
3．就職に関する情報
4．趣味に関する情報
5．その他の情報
6．利用しない

問 29 表　全学年の選択肢別割合（%）

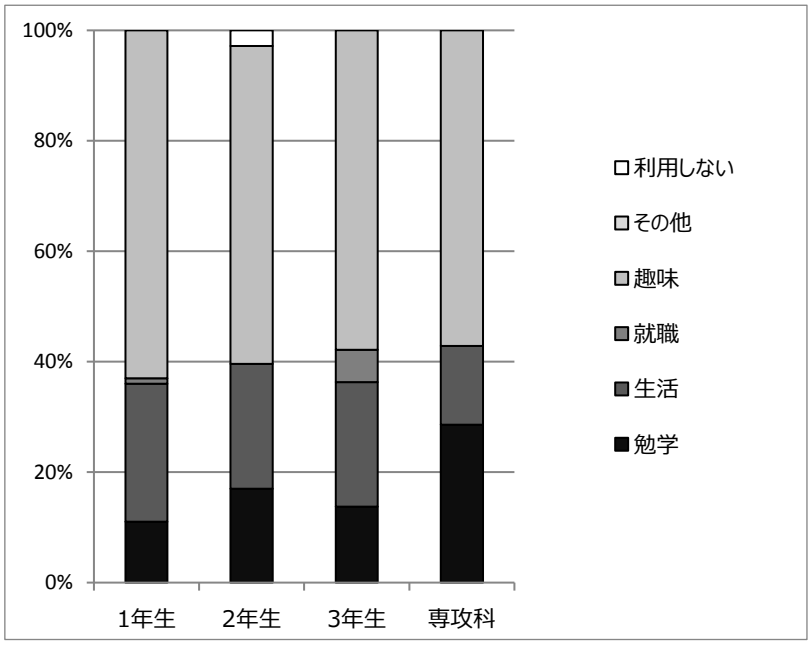
	勉学の情報	生活情報	就職情報	趣味の情報	その他の情報	利用しない	合計
前 回	7.69	17.31	3.21	70.19	0.32	1.28	100
今 回	14.29	23.17	2.22	59.37	0.00	0.95	100

この設問では，インターネットを利用し，主にどのような情報を得ているかについて回答を求めた.

全体としては，インターネットを「利用しない」学生は３名のみで，ほとんどすべての学生はインターネットを利用している．利用情報では，「趣味に関する情報」が６割を占め，他の選択肢を大きく上回る．「勉学に関する情報」を利用する学生は 15%以下で「生活に関する情報」よりかなり少ない.

前回と比較すると，「勉学に関する情報」を利用する学生が増加し，「利用しない」学生はやや減少した．「趣味に関する情報」が他の項目を大きく上回る点は同一であるが，その割合は減少している.

学年別にみると，「趣味に関する情報」とはほぼ学年間で同一である．しかし専攻科では「勉学に関する情報」が高いく「生活に関する情報」利用が少ない傾向があり，専攻科は「生活に関する情報」を利用する時間を専攻研究のために振り替えて積極的にインターネットを使用している可能性がある．なお，少数ではあるが「就職に関する情報」を得ている学生は，就職活動を控えた３年生で（5.9%）で１年生（1.0%）あるいは２年生（0.0%）より多いことは当然であろう.



［問 29 図］ インターネットを利用して得る情報

８．読書について

［問 30］あなたがよく読む本（雑誌を除く）はどのようなものですか．（２つまで選択が可）

１．教科書など，授業に関係するもの
２．それ以外の専門書
３．小説・エッセイ・ノンフィクションなどの一般的な読み物
４．マンガ・劇画など
５．その他
６．本はほとんど読まない

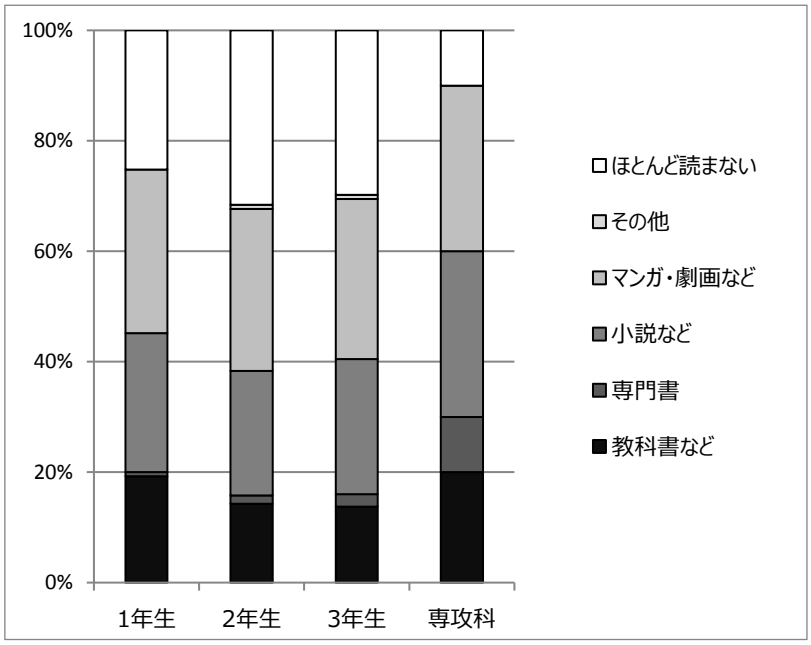
問 30 表　全学年の選択肢別割合（%）

	教科書等	専門書	小説等	マンガ・劇画	その他	読まない
前 回	18.33	2.25	33.12	35.69	1.61	39.87
今 回	20.63	2.22	31.43	38.10	0.63	36.83

この設問では，雑誌以外によく読む本のジャンルについて回答を求めた．２つまで選択が可能であり，のべ回答者数は１年生 135，２年生 133，３年生 131，専攻科 10，合計 409 である．図は各学年における総回答者数に対する割合を示す．

全体としては，ほぼ３分の１の学生は「本はほとんど読まない」．読む本では「マンガ・劇画など」が最も多く，次いで「小説・エッセイ・ノンフィクションなどの一般的な読み物」であり，「教科書など，授業に関係するもの」，とくに「それ以外の専門書」をよく読む学生は少ない．前回と比較すると「教科書など，授業に関係するもの」学生の割合が増加した．

学年別にみると，「本はほとんど読まない」学生は１年生（34.0%），２年生（44.5%），３年生（38.2%），専攻科(14.3%)と２年生に多い．それにともない，「小説・エッセイ・ノンフィクションなどの一般的な読み物」や「マンガ・劇画など」を読む学生は，いずれも１年生（それぞれ 34.0%，40.0%），２年生（29.4%，36.8%），３年生（31.4%，37.3%），専攻科（42.9%，42.9%）と専攻科が高く，その他は大きな差はなかった．３年生の「教科書など，授業に関係するもの」を読む学生の割合１年生 26.0%は，２年生 17.9%，３年生 17.6%より多く，慣れない授業に遅れないために再読することがあるのではないかと思われる．



［問 30 図］ よく読む本（雑誌を除く）（総回答数に対する割合）

［問 31］あなたはどんな新聞を読んでいますか（定期的に読んでいるものすべて）

1．一般紙（中日・毎日・朝日新聞等）
2．経済紙（日本経済・中部経済新聞等）
3．各種スポーツ新聞
4．その他の新聞
5．新聞はほとんど読まない

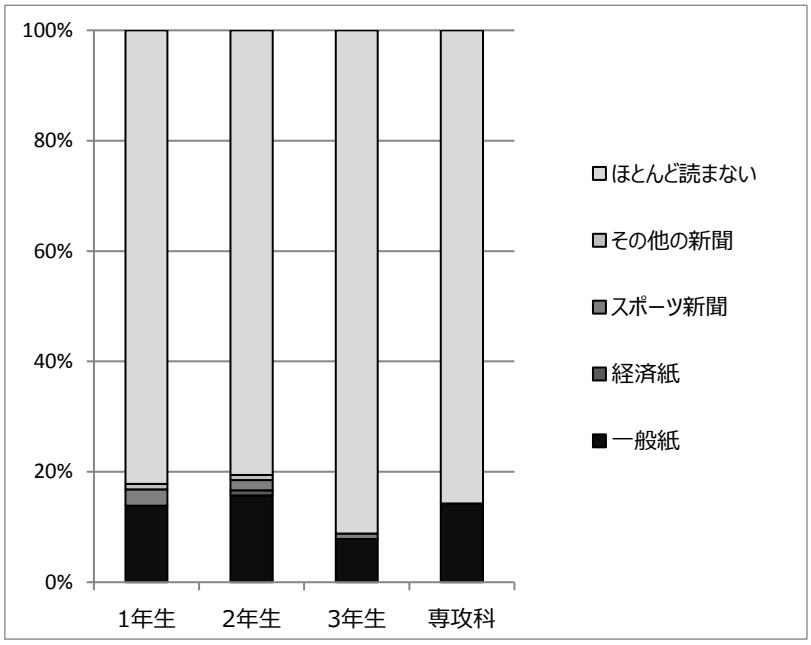
問 31 表　全学年の選択肢別割合（%）

	一般紙	経済紙	スポーツ新聞	その他	ほとんど読まない
前 回	18.65	0.32	0.96	0.00	81.35
今 回	12.74	0.32	1.91	0.64	85.67

この設問では，どんな系統の新聞を定期的に読んでいるかについて回答を求めた．複数回答が可能であり，のべ回答者数は１年生 101，２年生 108，３年生 103，専攻科７，合計 319 である．図は各学年における総回答者数に対する割合を示す．

全体としては．「新聞はほとんど読まない」学生が８割以上を占め，多くの学生が新聞を読んでいない．読んでいる新聞は「一般紙（中日・毎日・朝日新聞等)」が 15%以下である．前回と比較すると，「新聞はほとんど読まない」学生が増加し，活字離れが進んだ．

学年別にみると，「新聞はほとんど読まない」学生は，１年生（83.0%），２年生（82.1%），３年生（91.2%），専攻科(85.7%)と３年生に多い．雑誌を除く本を読まない学年間の差も同様であった．また，愛知学院大学では１週間あたりの読書時間として「読書をしない」学生が 41.0%であり，「30 分未満」が 27.1%である．短期大学部の学生は読書する者が少ない傾向がみられる．



［問 31 図］ 定期的に読む新聞（総回答数に対する割合）

［問 32］あなたはどんな雑誌を読んでいますか.（３つまで選択可）

１．総合・文芸雑誌
２．学術・専門雑誌
３．一般週刊・月刊誌
４．写真週刊・月刊誌
５．マンガ週刊・月刊誌
６．スポーツ・芸能・ファッション・趣味の雑誌
７．その他の雑誌
８．雑誌はほとんど読まない

問 32 表　全学年の選択肢別割合（%）

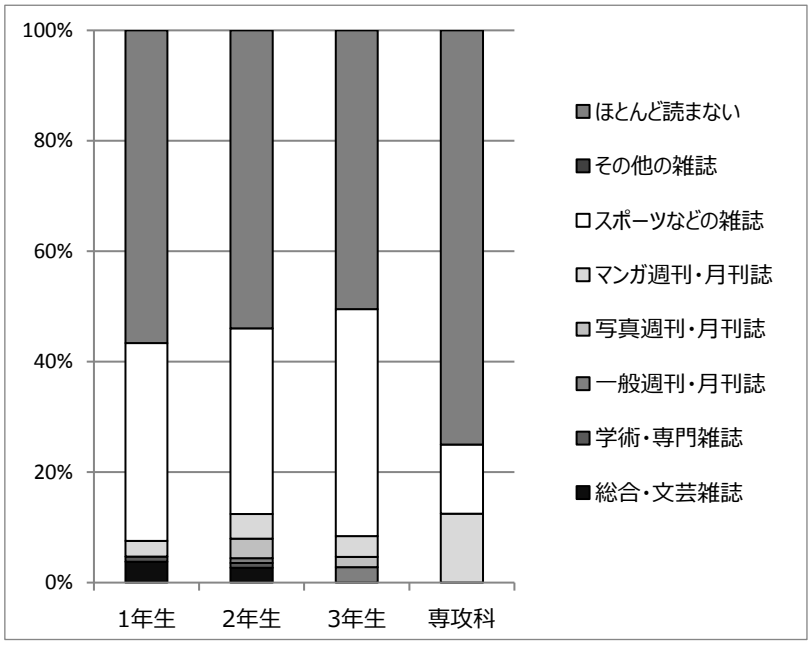
	総合・文芸雑誌	学術・専門雑誌	一般週刊・月刊誌	写真週刊月刊誌	マンガ週刊月刊誌	スポーツ等の雑誌	その他の雑誌	ほとんど読まない
前 回	2.56	1.28	2.24	1.60	6.09	52.24	0.64	40.71
今 回	2.23	0.64	1.27	1.91	4.14	38.54	0.00	57.64

この設問では，どんな系統の雑誌を読んでいるかについて回答を求めた．３つまで選択が可能であり，のべ回答者数は１年生 106，２年生 114，３年生 107，専攻科８，合計 335 である．図は各学年における総選択肢数に対する割合を示す．

全体としては，雑誌を除く本あるいは新聞をほとんど読まない学生の割合は，それぞれ 36.8%［問 30］，85.7%，［問 31］であったが，「雑誌はほとんど読まない」学生も 57.6%と半数を超えている．雑誌別では「スポーツ・芸能・ファッション・趣味の雑誌」が圧倒的に多く，他の雑誌を読んでいる学生は５%以下ある．

前回と比較すると，雑誌を除く本あるいは新聞でみられた傾向と同様に，「雑誌はほとんど読まない」学生が増加し，その分，「スポーツ・芸能・ファッション・趣味の雑誌」を読む学生が減少した．

学年別にみると．「雑誌はほとんど読まない」学生は，１年生（60.0%），２年生（57.5%），３年生（52.9%），専攻科（85.7%）と専攻科を除き学年が進むにしたがい減少する．読んでいる雑誌は，「スポーツ・芸能・ファッション・趣味の雑誌」を読む学生がほとんどである．



［問 32 図］ よく読む雑誌（総回答数に対する割合）

９．喫煙・薬物について

[問 33]あなたはタバコ（電子タバコ・加熱式タバコを含む）を吸いますか。

１．毎日 20 本（１箱）以上吸っている
２．毎日１から 19 本は吸っている
３．毎日ではないが吸うことがある
４．吸わない

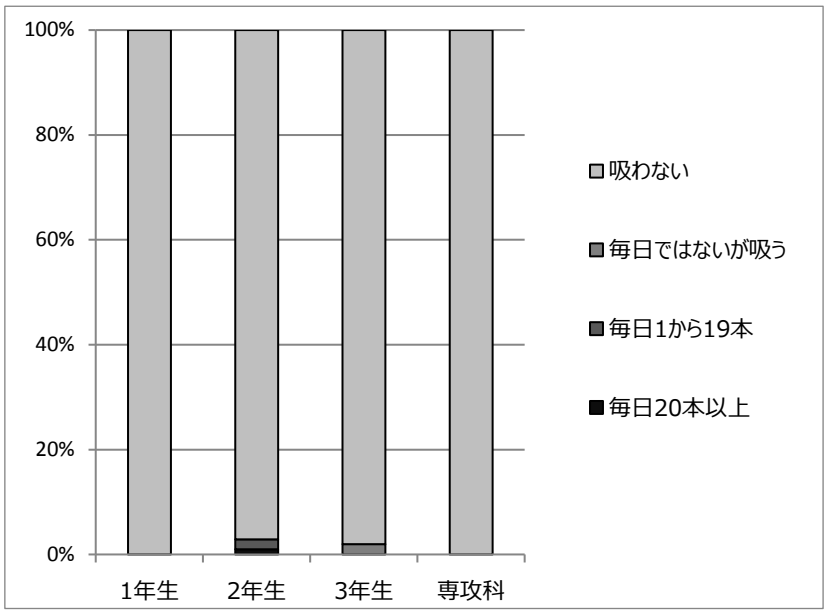
問 33 表　全学年の選択肢別割合（%）

	毎日 20 本以上	毎日１～19 本	毎日ではないが吸う	吸わない	合計
前 回	0.00	0.96	1.28	97.76	100
今 回	0.32	0.64	0.64	98.40	100
愛知学院大学	0.15	2.77	2.35	94.62	98.9

この設問は，前回新たに設けた設問であり，たばこを吸う量について回答を求めた．

全体としてみると，ほとんどの学生はたばこを「吸わない」．また愛知学院大学と比較すると吸っている者は少ない．

学年別に比較すると，１年生および専攻科は全員たばこを「吸わない」．２，３年生についてみると，煙草を習慣的に吸う（「毎日 20 本（１箱）以上吸っている）もしくは「毎日１～19 本吸う」）学生は２年生３名である．



［問 33 図］ タバコを吸う習慣

［問 34］大麻・覚醒剤などの薬物についてお答えください．（複数回答可）

1．使用したいと思わない
2．使用したいと思ったことがある
3．使用したことがある
4．友人，知人で使用した人を見た（または聞いた）ことがある
5．使用について誘われたことがある

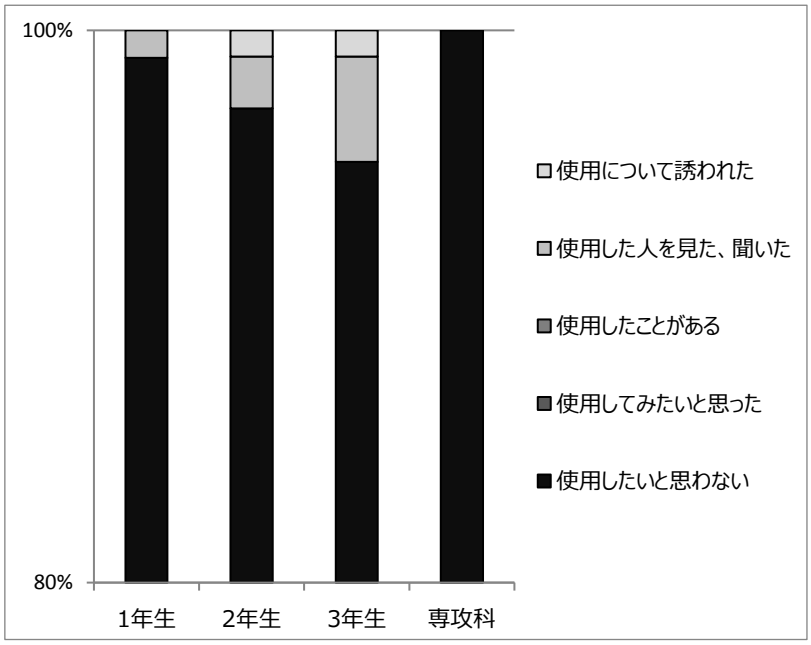
問 34 表　全学年の選択肢別割合（%）

	使用したいと思わない	使用したいと思ったことがある	使用したことがある	使用した人を見た（聞いた）	使用について誘われた
前 回	99.03	0.32	0.32	2.91	0.65
今 回	98.72	0.00	0.00	2.24	0.64
愛知学院大学	97.35	1.44	―	1.40	0.99

この設問は，大麻・覚醒剤などの薬物の使用についてどう思うかおよび経験の有無について回答を求めた．複数回答が可能であり，のべ回答者数は１年生 100，２年生 107，３年生 106，専攻科７，合計 320 である．図は各学年における総回答者数に対する割合を示す．

全体としてみると，ほとんどの学生は「使用したいと思わない」と回答しているが，７名の学生が「「友人，知人で使用した人を見た（または聞いた）ことがある」，２名の学生が「使用について誘われたことがある」と回答した．

学年別にみると，「使用したいと思わない」学生の割合が１年生（99.0%），２年生（97.2%），３年生（98.0%），専攻科（100.0%）とほぼ同一であるが，．学年があがるにつれて「友人，知人で使用した人を見た（または聞いた）ことがある」および「使用について誘われたことがある」学生が増加いる．



［問 34 図］ 大麻・覚醒剤などの薬物について（総回答数に対する割合）

10. 大学への満足度および要望

［問 35］から［問 38］は授業展開に対する満足度ついての設問である.

［問 35］歯科衛生学科の内容全体について満足していますか

1．満足している
2．ほぼ満足している
3．特に不満はない
4．少し不満がある
5．不満だ

問 35 表　全学年の選択肢別割合（%）

	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	15.76	33.12	38.59	11.25	1.29	100
今 回	25.80	40.45	27.71	5.73	0.32	100

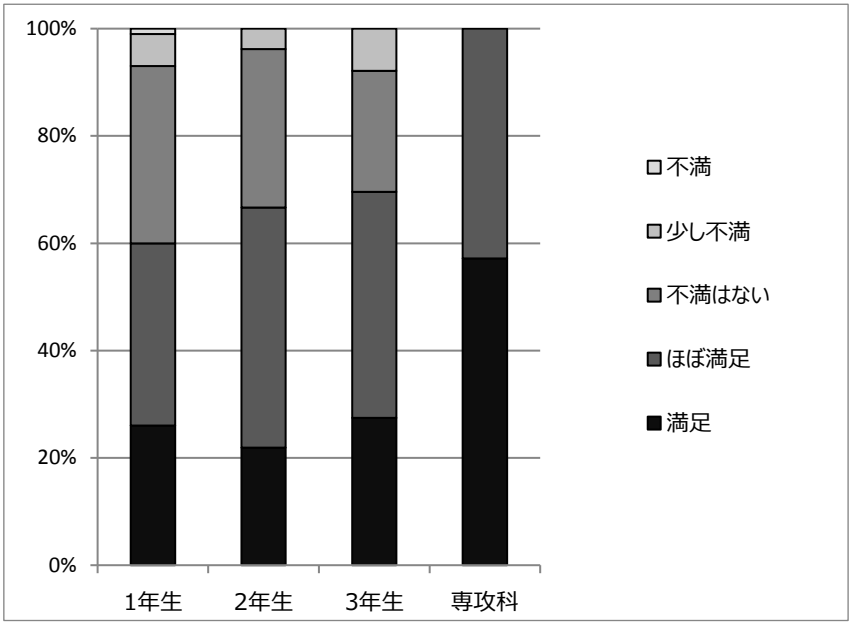
この設問では，歯科衛生学科の内容全体の満足度について回答を求めた.

全体としては,「ほぼ満足している」学生が最も多く，次いで,「特に不満はない」,「満足している」,「少し不満がある」の順であり,「不満だ」が最も少ない. 積極的意見である「満足」(「満足している」＋「ほぼ満足している」)（以下［問 38］まで同様）と,「不満」(「少し不満がある」＋「不満だ」)（以下［問 38］まで同様）の割合をみると,「満足」の割合 66.3%が「不満」の 6.1%より明らかに多い.

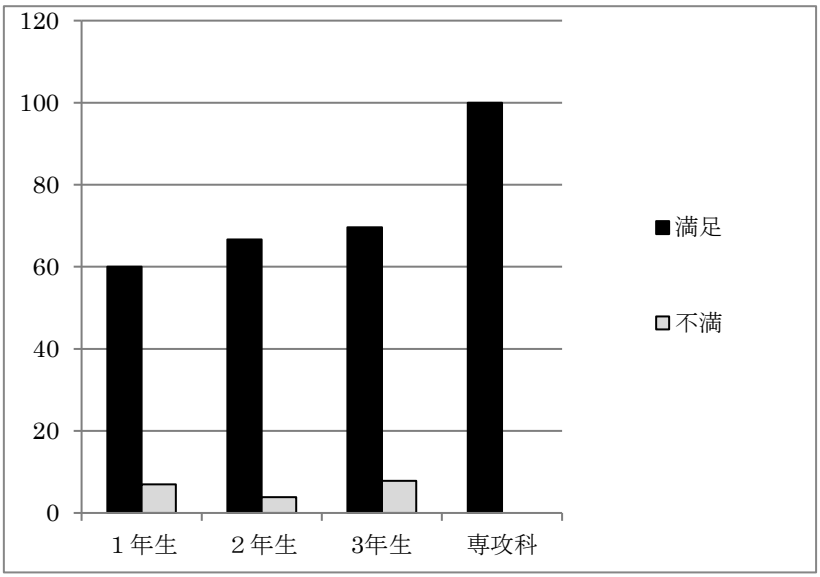
前回と比較すると,「満足している」および「ほぼ満足している」学生の割合が増加し,「とくに不満はない」,「不満だ」,「少し不満がある」学生の割合が減少している.「満足」と「不満」との差は，前回の 36.6%と今回 60.2%とかなり大きくなっている.

学年別にみると（図 35-a 図），すべての学年で「ほぼ満足」と回答する学生が最も多く，１年生（34.0%），２年生（44.3%），３年生（42.2%），専攻科（42.9%）となっており,「特に不満はない」と回答している学生が１年生(33.0%)，２年生（29.2%），３年生（22.5%）と学年が上がるにつれて減少している．これは１年生と比較して２，３年生は満足度が高くなっていることを示している.

積極的意見である「満足」(「満足」＋「ほぼ満足」) の割合 (図 35-b 図) は１年生 60.0%，２年生 66.7%，３年生 69.6%，専攻科 100.0%と学年が進むにしたがって増加し,「不満」(「少し不満」＋「不満だ」) の割合は１年生 7.0%，２年生 3.8%，３年生 7.8%，専攻科 0.0%と３年生が最も多い. したがって,「満足」と「不満」との差は，１年生 53.0%，２年生 62.9%，３年生 61.8%，専攻科 100.0%となり，いずれの学年においても満足度は高い.



［問 35-a 図］ 内容全体の満足度



［問 35-b 図］ 満足度の比較（%）

満足（満足＋ほぼ満足）：不満（少し不満＋不満）

前回から，［問 35］～［問 38］の設問においては，「少し不満がある」および「不満だ」と回答した学生に対し，その理由を回答する自由記入欄を設けた．１年生３名，２年生４名，３年生８名から不満の理由が寄せられた．

その内容は「朝が早い」，「いそがしい」，「学ぶ内容が多すぎて大変」，「学校の授業と平行して実習もしていくべきだと思う」，「臨床で必要な知識が教科書に載っていなかったり、授業を受けていなかったりする」「１人バキュームなども練習したい」というカリキュラムへの不満が最も多く，「テストの結果をもう少しはやく出してほしい」，「連絡が遅い」といったスケジュールに対する不満もみられた．また，開講科目について「体育の授業はあまり必要ない気がする」，「宗教のテスト」への不満が寄せられた．教員の講義・実習に対する不満としては，「時間にルーズ（終了時）」，「授業が分かりにくい先生がいる」，「持ち物覧に書いてあるものを当日持ってきても１回も使われないことが多い」，「実技が上達しない」，「授業をまじめに受けている人が損をしている場面が多い」などの不満が寄せられた．これら理由の他に「学費が高い」という不満があった．

［問 36］講義の内容や方法に全体として満足していますか

１．満足している

２．ほぼ満足している
３．特に不満はない
４．少し不満がある
５．不満だ

問 36 表　全学年の選択肢別割合（%）

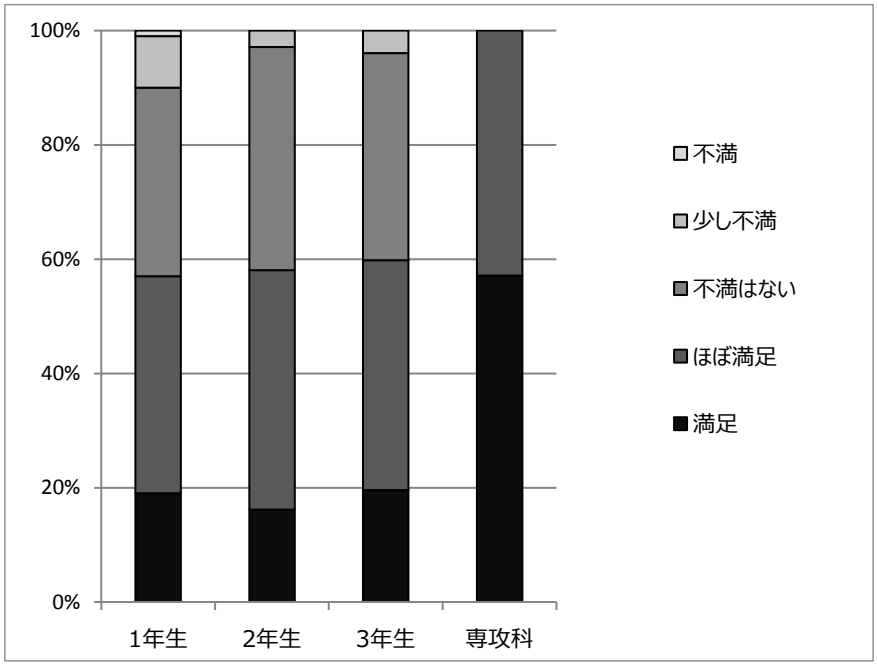
	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	10.29	32.48	41.80	14.15	1.29	100
今 回	19.11	40.13	35.35	5.10	0.32	100

この設問では，教員の講義の内容や方法の満足度について回答を求めた．

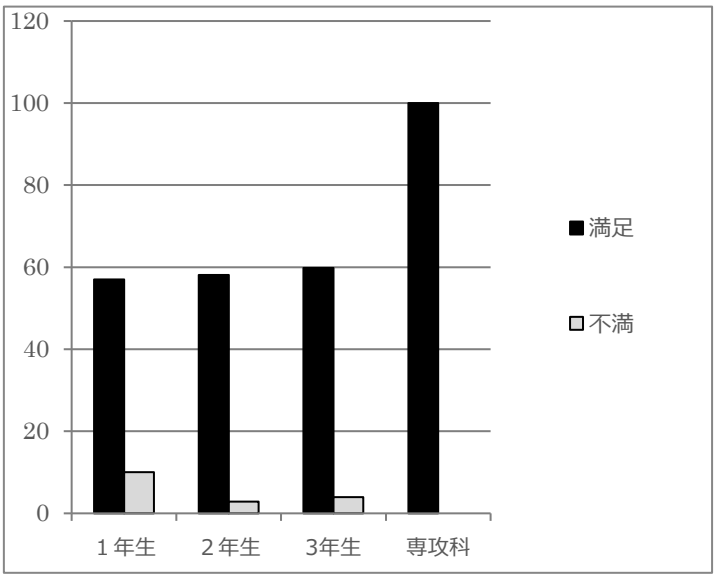
全体としては，「ほぼ満足している」学生が最も多く，次いで「とくに不満はない」，「満足している」，「少し不満がある」の順であり，「不満だ」が最も少ない．肯定的意見である「満足」（「満足している」＋「ほぼ満足している」）と，「不満」（「少し不満がある」＋「不満だ」）の割合をみると，「満足」の割合 59.24%が「不満」の 5.42%の 10 倍近い．

前回と比較すると，［満足」の肯定的意見が増加した．肯定的意見についてみると，「満足」「ほぼ満足」の両者とも増加している．また．「不満」の否定的意見が減少し，「少し不満」．「不満」の両者とも減少しているため，前回よりも満足度が高まっているといえる．

学年別にみると（図 36-a 図），いずれの学年も「ほぼ満足している」学生が最も多いが，その割合は１年生 41.8%，２年生 47.6%，３年生 53.6%，専攻科 42.9%と「満足している」が最も多い専攻科を除き学年が進むにしたがい増加している．肯定的意見の「満足」の割合（図 36-b 図）は１年生 38.8%，２年生 41.5%，３年生 40.2%，専攻科 100.0%と 1 年生がやや低い，一方，「不満」の割合は 1 年生で最も多く 10.0%，次いで３年生 3.9%，２年生 2.8%，専攻科 0.0%である．「満足」と「不満」との差は，１年生 47.0%，２年生 55.24%，３年生 55.9%，専攻科 100.0%と学年があがるにつれてその差が広がっている．



［問 36-a 図］ 講義についての満足度



［問 36-b 図］ 満足度の比較（%）

満足（満足＋ほぼ満足）：不満（少し不満＋不満）

１年生６名，２年生２名，３年生２名から不満の理由が寄せられた．不満は講義の進め方に対するものが多い．すなわち，「たまに難しい言葉をつかって説明されたりすることがあるのでももう少しわかりやすい言葉で説明してほしい」，「なんて言ってるかわからない人が多い。理解させる気を感じない」，「板書が分かりにくかったり、プリントが見にくかったりした授業がある」，「プリントが分かりづらい」などである．授業の進行について教員では気づいていないと思われる事項として，「声が聞こえない時がある」，「モニターでなく、黒板のみ使用の場合、後ろの席だと全くみえないしチョークの色に関しても配慮がないため、赤・青で書かれると読めない」という意見があり，教員による周知も必要である．実習に関しては，「おたがいの口腔内をさわるきかいが少ない。もっと増やしてほしいと思った」など臨床に直結した希望が寄せられた．その他には「眠い」の理由があった．

［問 37］開講されている科目の種類や内容について満足していますか.

１．満足している
２．ほぼ満足している
３．特に不満はない
４．少し不満がある
５．不満だ

問 37 表　全学年の選択肢別割合（%）

	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	14.15	29.26	47.59	8.04	0.96	100
今 回	25.40	34.60	36.83	2.86	0.32	100

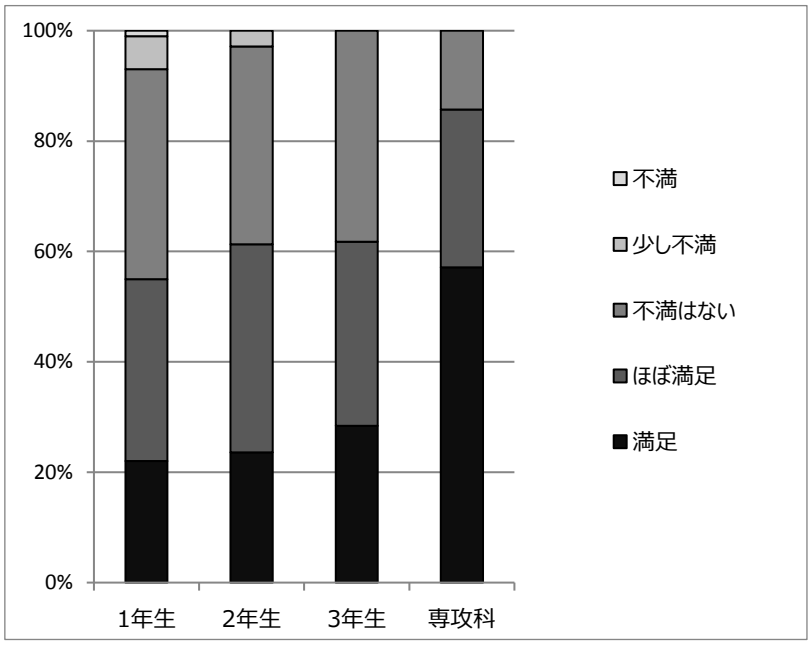
この設問では，開講されている科目の種類や内容の満足度について回答を求めた．

全体としては，「とくに不満はない」学生が最も多く，次いで，「ほぼ満足している」，「満足している」，「少し不満がある」の順であり，「不満だ」が最も少ない．肯定的意見についてみると，「満足」している学生の割合が 60.0 %と半数以上であり，「不満」の割合 2.98%より明らかに多い．

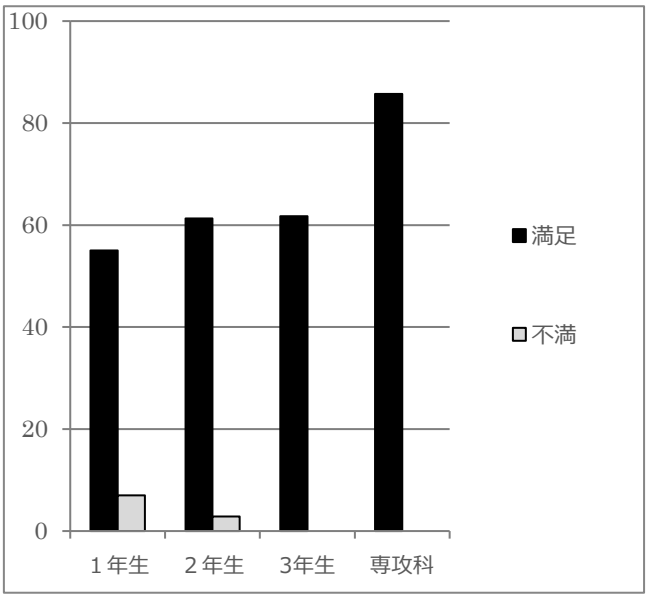
前回と比較すると，「特に不満はない」学生が最も多い点は同一であるが，「満足している」，「ほぼ満足している」が増加し，肯定的意見が増加した．肯定的意見についてみると，前回，「満足」の割合 43.4%が「不満」の 9.0%であったが，今回，「満足」は増加し，「不満」ともにが減少しており，その差は前回の 33.4%から 57.0%と大きく増加した．

学年別にみると（図 37-a 図），いずれの学年も「特に不満はない」学生が最も多いが，その割合は１年生 38.0%，２年生 37.8%，３年生 33.3%，専攻科 14.3%と１年生の割合が最も高かった．肯定的意見の「満足」の割合（図 37-b 図）は１年生 55.0%，２年生 61.3%，３年生 61.8%，専攻科 85.7%と学年があがるにつれて増加した，一方，「不満」の割合は１年生 7.0%で最も多く，２年生 2.8%，次いで，３年生では 0.0%，専攻科 0.0%と学年が進むにしたがい少なくな

る.「満足」と「不満」との差は，１年生 48.0%，２年生 58.5%，３年生 61.76%，専攻科 85.7%と，学年があがるにつれてその差は大きくなり，満足度は増す.



［問 37-a 図］ 科目の種類・内容についての満足度



［問 37-b 図］ 満足度の比較（%）

満足（満足＋ほぼ満足）：不満（少し不満＋不満）

１年生３名，２年生２名から不満の理由が寄せられたが，「全て本当に必要なのか？疑ってしまう。大変」という履修科目が多いことへの不満や，「英語をやる意味とは？」「英語力が落ちた」，「宗教のテストの必要性。難易度についても、テストほどの授業はしていないと感じる」といった専門分野でない科目の意義に対する意見があった．その他は「眠い」との理由であった.

［問 38］時間割編成について満足していますか.

１．満足している
２．ほぼ満足している
３．特に不満はない
４．少し不満がある

５．不満だ

問 38 表　全学年の選択肢別割合（%）

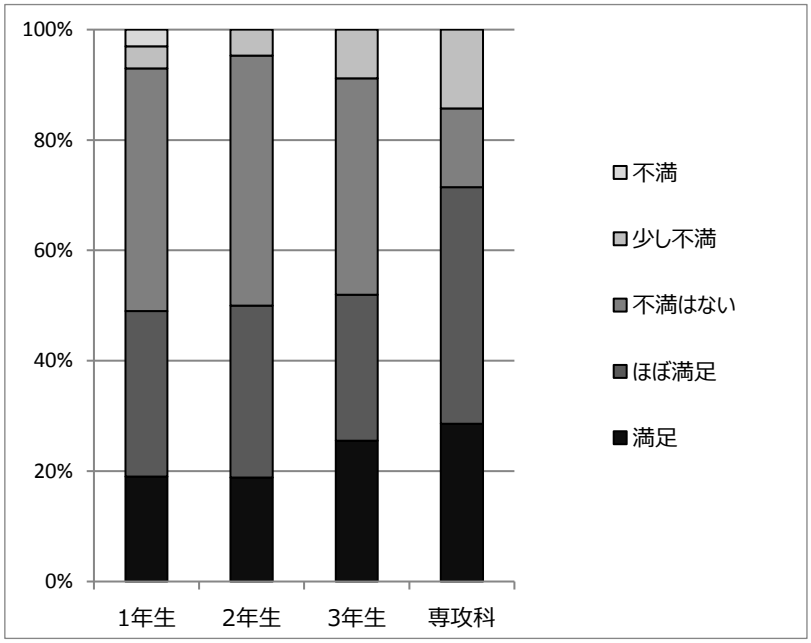
	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	10.61	24.44	47.91	12.86	4.18	100
今 回	21.27	29.52	42.22	6.03	0.95	100

この設問では，時間割編成の満足度について回答を求めた．

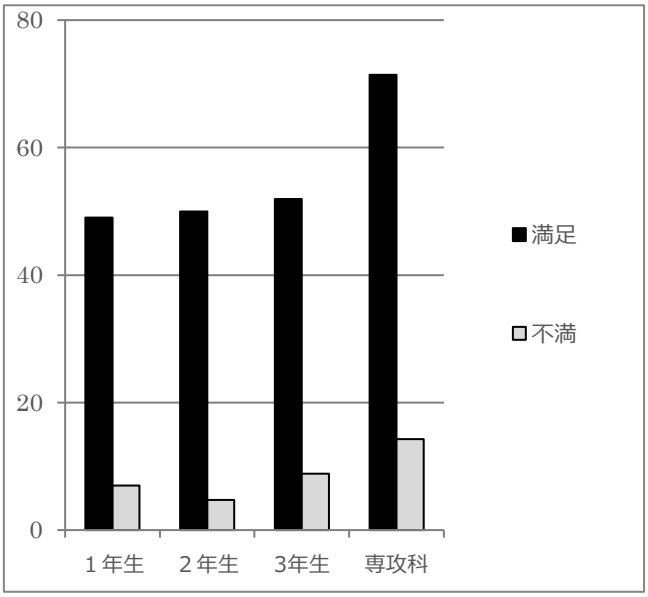
全体としては，「とくに不満はない」学生が最も多く，次いで，「ほぼ満足している」，「満足している」，「少し不満がある」の順であり，「不満だ」が最も少ない．肯定的意見についてみると，「満足」の割合 50.8%が，「不満」の 7.0%より明らかに多い．

前回と比較すると，「特に不満はない」学生が最も多い点は同一である．肯定的意見についてみると，前回，「満足」の 35.1%が，「不満」の割合 17.0%を２倍程度上回っていたが，今回はさらに，「満足」の割合が「不満」の 7 倍程度上回り，満足度は増加している．

学年別にみると（図 38-a 図），いずれの学年も「特に不満はない」学生が最も多いが，その割合は２年生 45.3%で最も多く，次いで１年生 44.0%，３年生 39.2%，専攻科 14.3%となった．肯定的意見である「満足」の割合（図 38-b 図）は１年生 49.0%，２年生 50.0%，３年生 52.0%，専攻科 71.4%と学年が上がるにつれて増加する．一方，「不満」の割合は専攻科で最も多く 14.3%，次いで３年生 8.8%であり，１年生 7.0%，２年生 4.7%であり２年生が最も少ない．「満足」と「不満」との差は，１年生 42.0%，２年生 45.3%，３年生 43.1%，専攻科 57.1%であり，専攻科を除く学年間に満足度に大きな違いはない．



[問 38-a 図]時間割編成についての満足度



［問 38-b 図］ 満足度の比較（%）

満足（満足＋ほぼ満足）：不満（少し不満＋不満）

［問 35］から［問 38］の授業展開についての設問のうち，「不満」の割合が最も多い設問は時間割編成についてであった．１年生４名，２年生３名，３年生８名，専攻科１名からその理由が寄せられた．そのほとんどは，「第１限の開始時刻が早い」ことに対する不満である．始業時刻については，兼任教員が在籍する歯学科のカリキュラムとも関連しており変更する予定はないため，今後も学生の不満は続くと思われる．ただし，第１限の開始時刻が週日８時 40 分であることは，オープンキャンパス，入学試験の際の面接，入学時のオリエンテーションなど機会あるごとに周知しているはずである．

その他の理由としては，８時 40 分から 16 時 10 分まで授業があり，「90 分は長すぎる」，「授業がぎっしり入りすぎている」，「昼食後に講義ばかりは辛い」，「空コマが少ない」，「ツメツメすぎる時がある。(移動時間含む)」，「休み時間が少なすぎ」との理由がある一方で，「休憩時間５分でもよいので、一限の開始時間を遅くして欲しい」との要望もあった．また１学年を A・B の２班に分けて授業を行うことについて，「A・B にわけてほしくない」，「A・B 班の時間割が少し不平等だと思う」と言った不満があった．

授業展開に対する満足度は，歯科衛生学科の内容全体，講義の内容や方法，開講されている科目の種類や内容および時間割編成のいずれにおいても，「満足」している学生が「不満」な学生より多かった．

［問 39］本学の教育で特に要望したいことは何ですか．（３つまで選択可）

１．専門教育を充実してほしい
２．教養教育を充実してほしい
３．宗教教育を充実してほしい
４．就職のための教育を充実してほしい
５．資格取得のための教育を充実してほしい
６．わかりやすいカリキュラムにしてほしい
７．科目選択の幅を増やしてほしい
８．少人数のクラスを増やしてほしい
９．コンピューター教育を充実してほしい
10．LL を使った語学教育を充実してほしい．
11．視聴覚機材を使った教育を充実してほしい
12．その他
13．特に要望はない

問 39 表　全学年の選択肢別割合（%）

	専門教育の充実	教養教育の充実	宗教教育の充実	就職のための教育	資格取得のための教育	わかりやすいカリキュラム	科目選択の幅
前 回	33.12	3.86	1.29	25.4	27.33	20.58	12.22
今 回	31.95	6.71	0.32	24.28	16.61	13.74	3.83

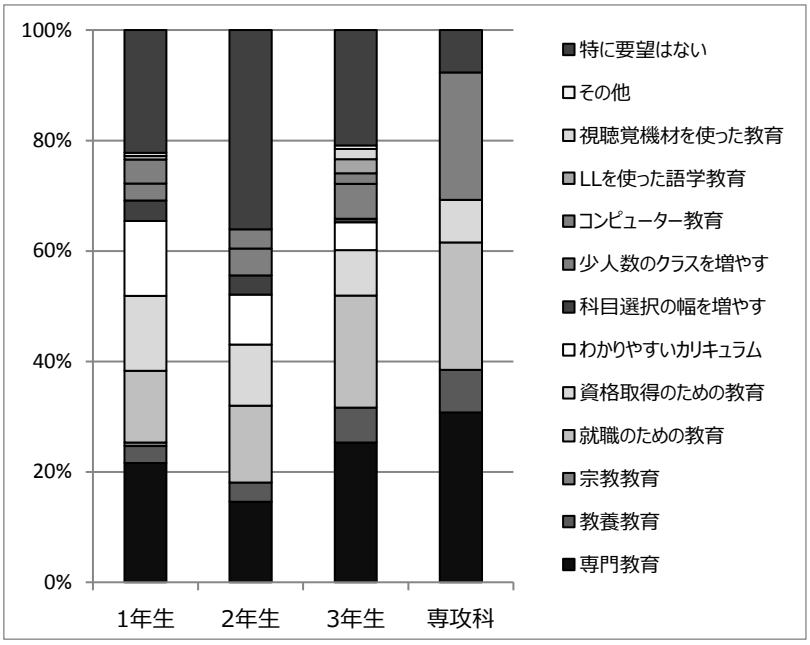
	少人数クラス	コンピューター教育	LL を使った語学教育	視聴覚機材をつかった教育	その他	特に要望はない
前 回	18.33	4.82	1.29	2.25	0.96	24.12
今 回	7.03	5.75	1.60	1.28	0.32	38.98

この設問は，本学科の教育で特に要望したいことは何かについて回答を求めた．複数回答が可能であり，のべ回答者数は１年生 162，２年生 145，３年生 159，専攻科 13，合計 479 である．図は各学年における総回答者数に対する割合を示す．

全体としてみると，「特に要望はない」学生が４割近くいる．要望としては「専門教育を充実してほしい」が最も多く，３割以上を占めている．次いで「就職のための教育を充実してほしい」，「資格取得のための教育を充実してほしい」，「わかりやすいカリキュラムにしてほしい」が 10%台以上，「少人数のクラスを増やしてほしい」および「教養教育を充実してほしい」が５%台以上と続き，他の要望は５%未満である．

前回と比較すると，割合とその順位に若干変動があるものの，同様な傾向がみられた．

学年別に比較すると，「特に要望はない」学生は，１年生（36.0%），２年生（49.1%），（32.4%），専攻科（14.3%）で２年生が最も多い．30%を超える要望があった項目は，「専門教育を充実してほしい」が１年生(35.0%)，３年生(39.2%)，専攻科（57.1%），「就職のための教育を充実してほしい」が３年生（31.4%），専攻科（42.9%），「コンピューター教育を充実してほしい」が専攻科（42.9%）であった。「資格取得のための教育を充実してほしい」についてはすべての学年で要望があり，１年生（22.0%），２年生（15.1%），３年生（12.7%），専攻科（42.9%）であり，専攻科を除き学年が上がるにつれて減少している．また，「わかりやすいカリキュラムにしてほしい」についても１年生（22.0%），２年生（12.3%），３年生（7.8%），専攻科（0.0%）と学年が上がるにつれて減少している．これらは，学年が上がるにつれて専門教育が充実してくるため国家試験に対する専門教育への要望は満たされ，さらに２年生の秋以降は臨床実習が始まり１年次よりもカリキュラムは単純化しているためであると考えられる．しかし，「専門教育を充実してほしい」の要望は３年生，専攻科で高まることから，国家試験よりも高度な専門教育を望んでいる可能性がある．



［問 39 図］ 教育についての要望（総回答者数に対する割合）

11. 授業や学習について

［問 40］から［問 46］は授業や学習についての設問である．

［問 40］あなたの授業平均出席状況についてお答えください．

1．50%未満
2．50%～70%
3．70%～90%
4．90%～100%

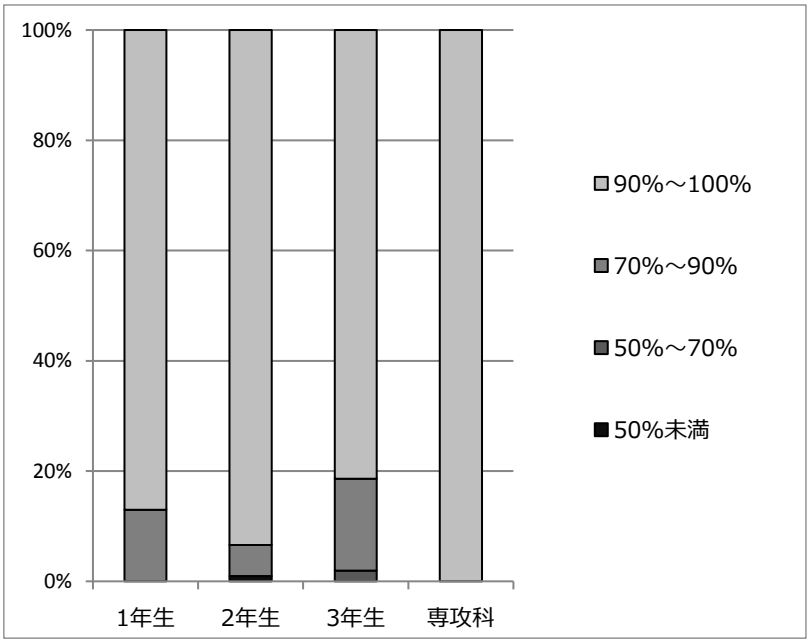
問 40 表　全学年の選択肢別割合（%）

	50%未満	50%～70%	70%～90%	90%～100%	合計
前 回	0.00	0.32	9.32	90.35	100
今 回	0.32	0.63	11.43	87.62	100

この設問は，前回新たに設けた設問であり，授業の平均出席率について回答を求めた．

全体としてみると，「90%～100%」出席する学生が８割以上を占め，「70%未満」しか出席しない学生は１%未満である．

学年別に比較すると，「90%～100%」出席する学生は，１年生（87.0%），２年生（93.4%），３年生（81.4%），専攻科（100.0%）であり，８割以上であるが，３年生が最も少ない．また，出席率「50%未満」のものは２年生１名である．さらに出席率が「50%～70%」のものは３年生に２名で．「70%～90%」の学生の割合は１年生では 13.0%，２年生では 5.7%であるのに対し，３年生では 16.7%と１，２年生に比べ多い．学年が進むにしたがい，とくに３年生の出席率は低下するといえる．３年生は主に臨床実習を行い，４分の３以上の出席が要求されるにもかかわらず，最も出席率が悪い．



［問 40 図］ 授業平均出席率

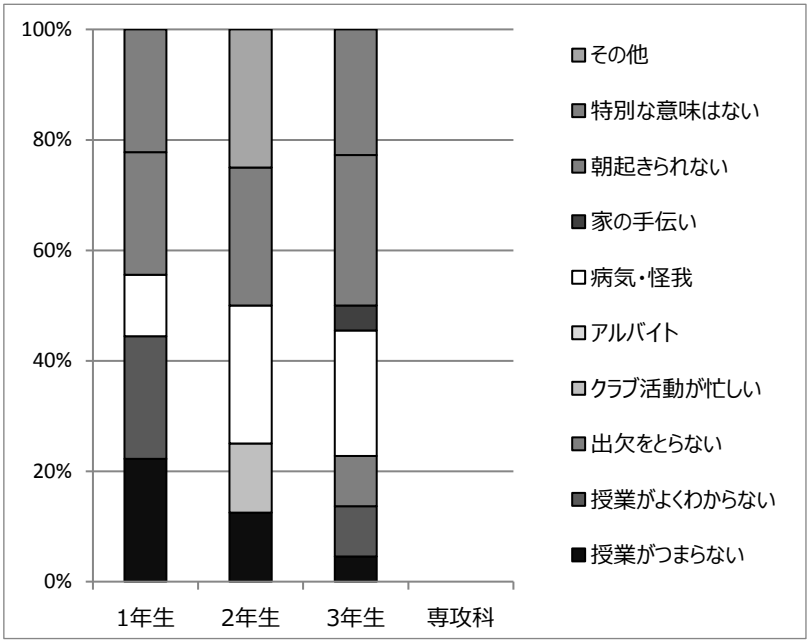
［問 41］出席しない場合の主な理由はなんですか（２つまで選択可）

1．授業がつまらない
2．授業がよくわからない
3．出欠をとらない
4．クラブ・サークル活動が忙しい
5．アルバイト
6．病気・怪我
7．家の手伝い
8．朝起きられない
9．特別な意味はないが出席したくなかった
10．その他

問 41 表　全学年の選択肢別割合（%）

	授業がつまらない	授業がよくわからない	出欠をとらない	クラブ・サークル活動が忙しい	アルバイト
前 回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
今 回	13.33	13.33	6.67	3.33	0.00
	病気・怪我	家の手伝い	朝起きられない	特別な意味はない	その他
前 回	0.00	0.00	0.00	0.00	100
今 回	26.67	3.33	33.33	23.33	6.67

この設問は，出席しない理由について回答を求めた．対象は［問 40］で出席率 70%未満（「50%未満」＋「50%～70%」）の者となっているが実際に回答した者は１年生６名，２年生８名，３年生 16 名，専攻科０名，合計 30 名である．複数回答が可能であり，のべ回答者数は１年生 103，２年生 106，３年生 108，専攻科７，合計 324 である．「朝起きられない」が最も多く，「病気・怪我」，「特別な意味はない」が続いていた．全体としてみると，ほぼ無回答であった．



［問 41 図］ 出席しない理由（総回答者数に対する割合）

［問 42］ １時限目の授業の出席状況についてお聞きします．

１．定刻（８時 40 分）に間に合う
２．定刻から 20 分（９時）までの遅刻が多い
３．定刻から 20 分（９時）以上の遅刻が多い
４．あまり出席しない

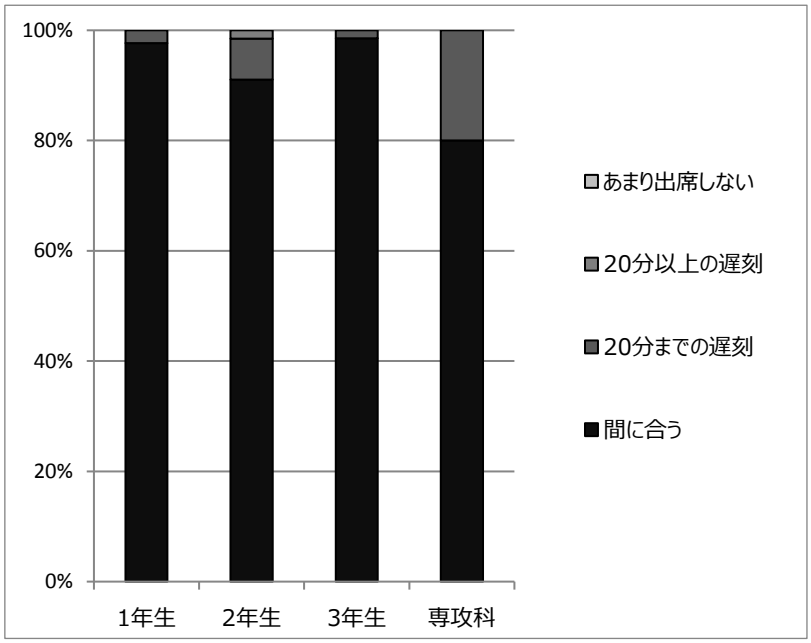
問 42 表　全学年の選択肢別割合（%）

	定刻に間に合う	20 分までの遅刻	20 分以上の遅刻	あまり出席しない	合計
前 回	95.96	3.31	0.74	0.00	100
今 回	95.14	4.32	0.54	0.00	100

この設問では１時限目の授業の出席状況について回答を求めた．

全体としてみると，「定刻（８時 40 分）に間に合う」学生がほとんどすべてで，「定刻から 20 分（９時）までの遅刻が多い」学生が８名，「定刻から 20 分（９時）以上の遅刻が多い」学生が１名，「あまり出席しない」学生はいない．しかし，無回答の学生が１年生で 57 名，２年生で 39 名，３年生では 32 名，専攻科では２名存在し，その理由は不明である．前回と比較すると「定刻（８時 40 分）に間に合う」学生がやや減少し，「定刻から 20 分（９時）までの遅刻が多い」学生が増加している．

学年別に比較すると，いずれの学年も，ほとんどの学生が「定刻（８時 40 分）に間に合う」．「定刻から 20 分（９時）までの遅刻が多い」学生が１年生に１名，２年生に５名，３年生は１名，専攻科１名である．また，「定刻から 20 分（９時）以上の遅刻が多い」学生は２年生に１名である．



［問 42 図］ 1 時限目の授業の出席状況

［問 43］遅刻で一番多い理由は何ですか.

1．朝起きられない
2．通学に時間がかかる
3．バス・電車・地下鉄などの混雑
4．アルバイト・家庭の都合
5．その他

問 43 表　全学年の選択肢別割合（%）

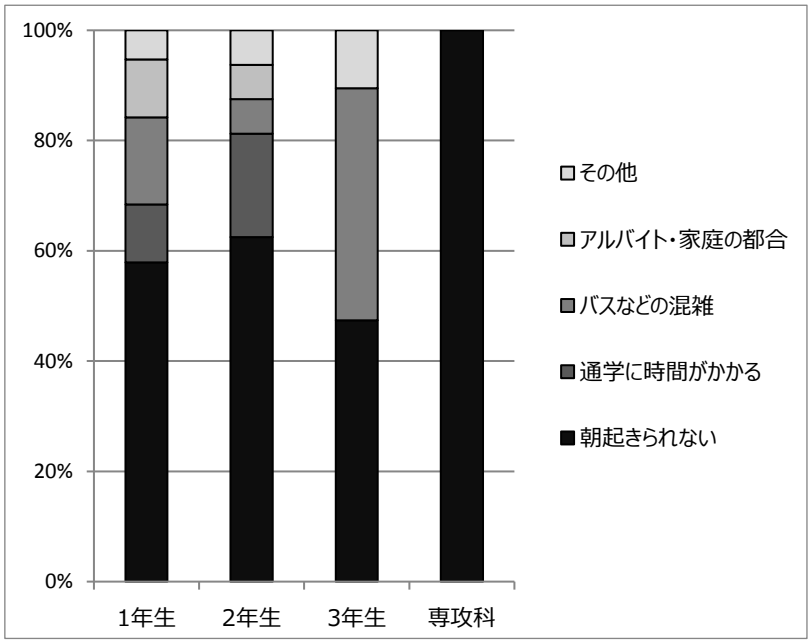
	朝起きられない	通学に時間がかかる	バス・電車・地下鉄などの混雑	アルバイト・家庭の都合	その他	合計
前 回	54.55	18.18	9.09	0.00	18.18	100
今 回	56.36	9.09	21.82	5.45	7.27	100

この設問では 1 限目の遅刻で一番多い理由について回答を求めた.［問 42］で 1 時限目の定刻に間に合わないことが多いと回答した者が対象であるが，1 年生 11 名，2 年生 16 名，3 年生 19 名，専攻科 1 名が回答しており，合計 47 名のデータとなっている.

全体としてみると，遅刻理由が「朝起きられない」学生が最も多く，次いで「バス・電車・地下鉄などの混雑」,「通学に時間がかかる」,「その他」,「アルバイト・家庭の都合」の順である.

前回と比較すると,「バス・電車・地下鉄などの混雑」の割合が増加し,「通学に時間がかかる」を理由とする学生は 2 分の 1 に減少した.

学年別にみると，すべての学年で「朝起きられない」と回答した者が最も多く，1，2 年生は次いで「通学に時間がかかる」者の割合が多いものの，3 年生は「バス・電車・地下鉄などの混雑」が多かった.



［問 43 図］　1 時限目遅刻の理由

［問 44］あなたは授業以外で教員と話しをすることがありますか.

1．よくある
2．ときどきある
3．ほとんどない
4．全くない

問 44 表　全学年の選択肢別割合（%）

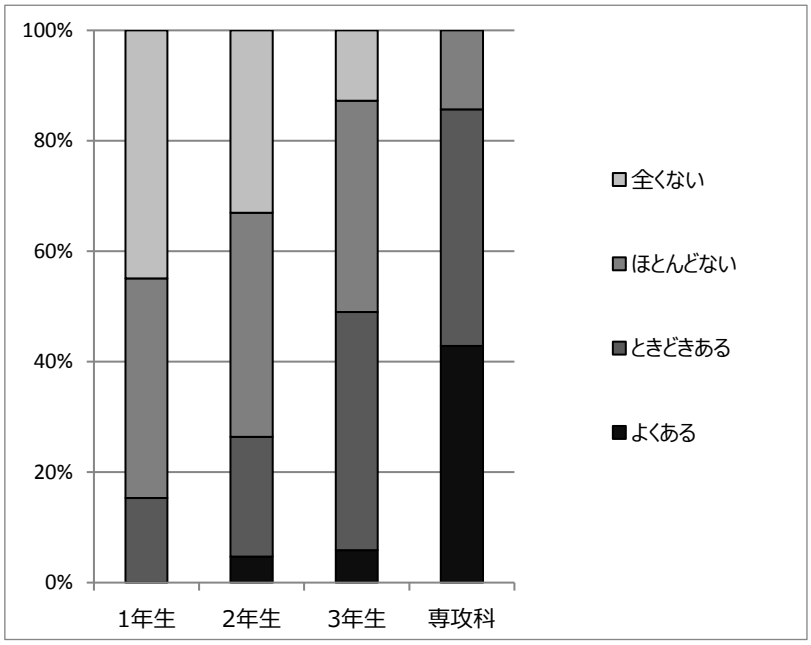
	よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない	合計
前 回	4.82	32.48	41.48	21.22	100
今 回	4.47	27.16	38.98	29.39	100

この設問では，授業以外でどのくらいの頻度で教員と会話をするかについて回答を求めた.

全体としてみると，教員との「会話がある」(「よくある」＋「ときどきある」) 学生の割合 31.6%は「会話がない」(「ほとんどない」＋「全くない」) 学生の 68.4%より少ない.

前回と比較すると，「よくある」，「ときどきある」学生が減少し，「ほとんどない」，「全くない」学生が増加した.

学年別にみると，「会話がある」学生の割合は 1 年生では 15.0%であるが，2 年生で 26.4%と増加し，さらに 3 年生では 49.0%と半数近く，専攻科は 85.7%とほぼすべての学生が授業以外で教員と会話している．学年が上がるにつれて教員とよく話す傾向である．学年が進むと，カリキュラムの中で実習の占める割合が増えるにしたがい，教員と身近に接する機会が多くなり，授業以外でも教員との会話が増えるのだろう.



[問 44 図]教員との会話の頻度

[問 45] 教員と話しをしない主な理由は何ですか.（２つまで選択可）

１．話す機会がない
２．話す話題がない
３．話しかけづらい
４．教員が忙しそうである
５．アルバイトや次の授業で時間がない
６．教員がすぐに退室する
７．興味なし

問 45 表　全学年の選択肢別割合（%）

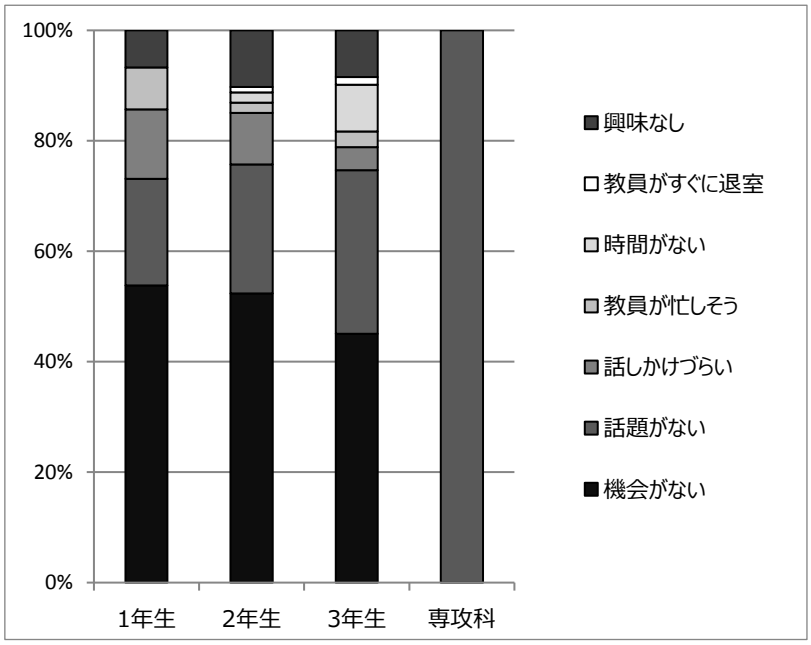
	機会がない	話題がない	話しかけづらい	教員が忙しそう	時間がない	教員がすぐ退室	興味なし
前 回	65.26	38.42	12.11	2.63	9.47	1.05	19.47
今 回	71.70	33.02	13.21	6.13	3.77	0.94	11.79

この設問では，教員と話しをしない理由について回答を求めた.［問 44］で教員との会話が「ほとんどない」または「全くない」を選択した者が対象であるが，実際は１年生 80 名，２年生 80 名，３年生 51 名，専攻科１名，合計 212 名が回答した．この設問は２つまで選択が可能であり，選択肢数は１年生 119，２年生 107，３年生 71，専攻科１，全学年 298 である．図は各学年における総回答者数に対する割合を示す.

全体としては，教員と「話す機会がない」を理由にあげた学生が７割以上であり，次いで「話す話題がない」,「話しかけづらい」,「興味なし」の順で，他の選択肢は 10%以下である.

前回と比較すると，「話す機会がない」,「話しかけづらい」,「教員が忙しそうである」,「アルバイトや次の授業で時間がない」,「興味なし」の理由が増加した.

学年別に比較すると，専攻科を除きいずれの学年も「話す機会がない」を理由にあげた学生が最も多いが，その割合は１年生 80.0%，２年生 70.0%，３年生 62.7%と１年生が最も多い.「話す話題がない」は１年生 28.8%，２年生 31.3%，３年生 41.2%，専攻科 100.0%である. また,「話しかけづらい」の割合は，１年生 18.8%，２年生 12.5%，３年生 12.7%，専攻科 0.0%であった.



［問 45 図］ 教員と話をしない理由（総回答者数に対する割合）

［問 46］あなたの１日の平均勉強時間（授業に出席している時間を除く）はどのくらいですか.

１．ほとんどしない
２．約１時間
３．約２時間
４．約３時間
５．約４時間
６．約５時間以上
７．特に決まっていない

問 46 表　全学年の選択肢別割合（%）

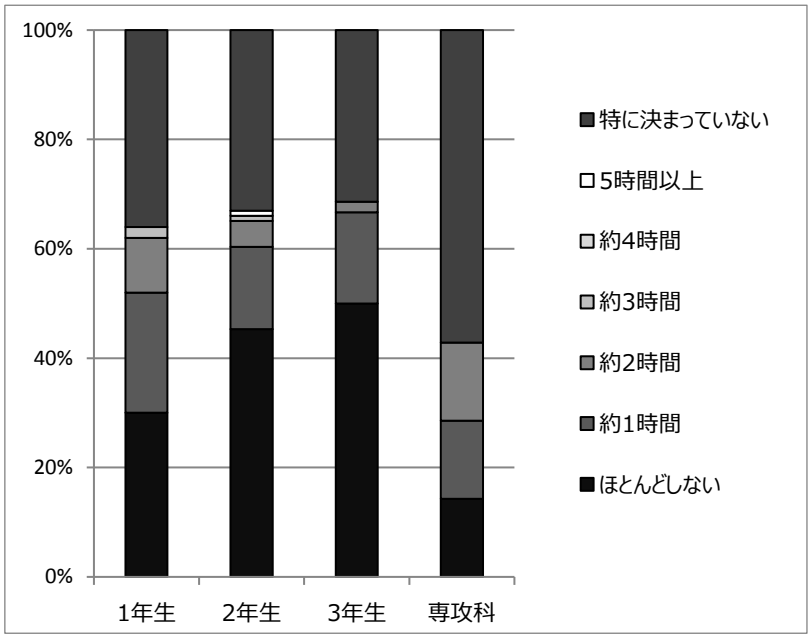
	ほとんどしない	約１時間	約２時間	約３時間	約４時間	５時間以上	決まっていない	合計
前 回	46.45	21.61	3.87	0.97	0.32	0.32	26.45	100
今 回	41.27	17.78	5.71	0.95	0.00	0.32	33.97	100

この設問では，１日の平均勉強時間はどれくらいかについて回答を求めた.

全体としてみると，勉強を「ほとんどしない」学生が半数弱を占め，最も多い．次いで「特に決まっていない」,「約１時間」の順であり，２時間以上勉強する学生は少ない.「特に決まっていない」学生は試験前，レポート提出時などに勉強時間が増すということだろう.

前回と比較すると，傾向は変わっていないが,「ほとんどしない」学生がやや減少し,「決まっていない」,「２時間以上勉強する」学生が増加しており，若干勉強している学生が増加していると考えられる.

学年別にみると, いずれの学年も「ほとんどしない」学生が最も多いが, その割合は専攻科を除き学年とともに増加し，１年生で 30.0%，２年生で 45.3%，３年生 50.0%，専攻科 14.3%となっている.



［問 46 図］ 1 日の平均勉強時間

［問 47］授業終了後はどうしていますか

1．まっすぐ家に帰る
2．友人と遊んだり，ぶらぶらする
3．図書室などで勉強する
4．クラブ・サークル活動をする
5．スポーツセンターで体を動かす
6．アルバイトに行く
7．学外の各種学校などに行く
8．その他

問 47 表　全学年の選択肢別割合（%）

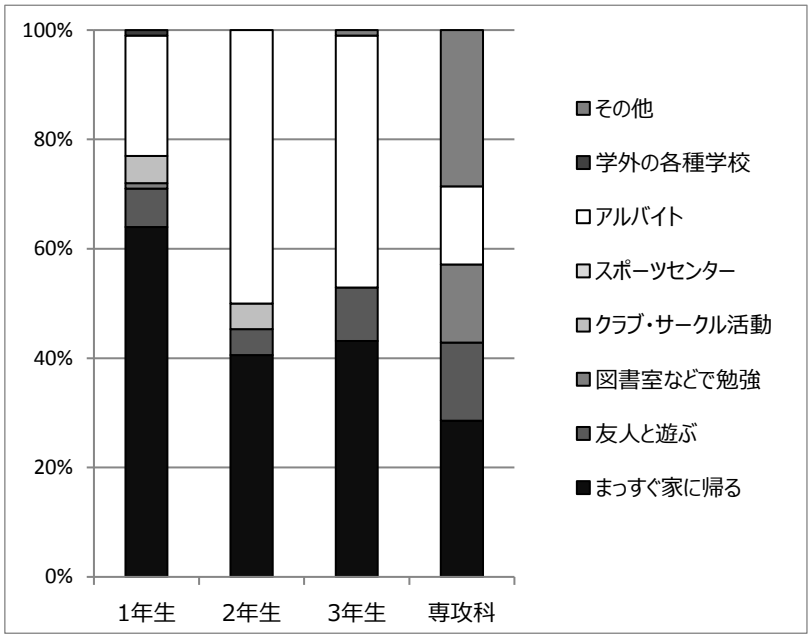
	まっすぐ家に帰る	友人と遊ぶ	図書室で勉強	クラブ・サークル	スポーツセンター	アルバイト	学外の各種学校	その他	合計
前 回	49.20	9.32	0.00	4.82	0.00	36.33	0.00	0.32	100
今 回	48.57	7.30	0.63	3.17	0.00	39.05	0.32	0.95	100

この設問では，授業終了後はどのように過ごしているかについて回答を求めた．

全体としてみると，「スポーツセンターで体を動かす」学生はいない．「まっすぐ家に帰る」学生が最も多く半数を占め，次いで「アルバイトに行く」，「友人と遊ぶ」順であり，他の項目を選択した学生は少ない．

前回と比較すると，大きな変化は認められない．

学年別にみると，「まっすぐ家に帰る」学生は１年生（64.0%）では６割以上を占めるのに対し，２年生（40.6%）と３年生（43.1%），では４割程度で専攻科（28.6%）はさらに減少している．それに対して，「アルバイトに行く」学生は１年生（22.0%），２年生（50.0%），３年生（46.1%），専攻科（28.6%）と１年生と専攻科が少なく２年生が最も多い．「クラブ・サークル活動をする」は１・２年生ともに５名が参加している．



［問 47 図］ 授業終了後の過ごし方

［問 48］あなたは，どの程度図書館を利用していますか.

１．ほぼ毎日利用している
２．週に２～３日利用する
３．１ヶ月に数日利用する
４．テスト前やレポート提出のときだけ利用している
５．ほとんど利用しない

問 48 表　全学年の選択肢別割合（%）

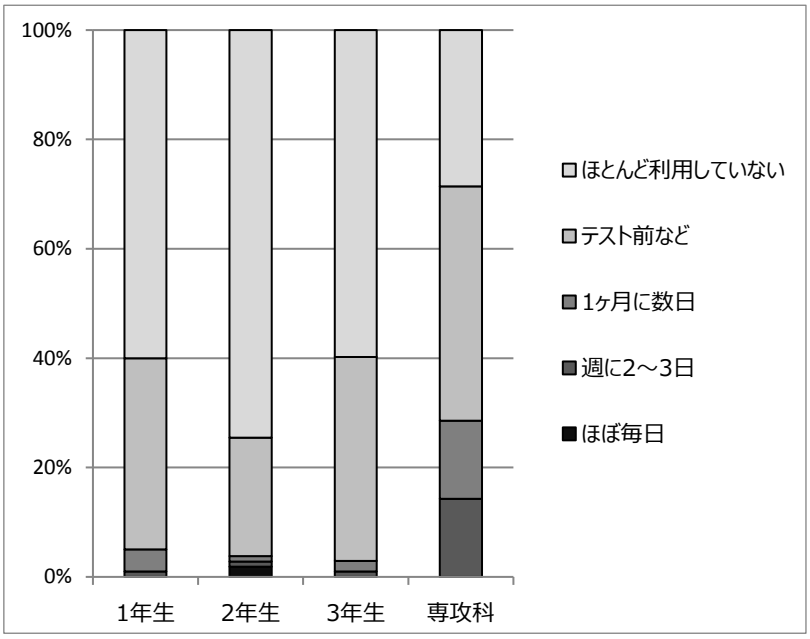
	ほぼ毎日利用	週に２・３日利用	一ヶ月に数日利用	テスト前やレポート提出時	ほとんど利用しない	合計
前 回	0.32	0.65	2.90	29.35	66.77	100
今 回	0.63	1.27	2.54	31.43	64.13	100

この設問では，図書館（歯学・薬学図書館情報センター）の利用頻度について回答を求めた.

全体としては，「ほとんど利用しない」学生が６割以上を占める．利用する学生は「テスト前やレポート提出のときだけ利用している」学生が多く，定期的に図書館を利用している学生は少数である.

前回と比較すると，ほぼ同じ傾向を示している.

学年別にみると，「ほとんど利用しない」学生は１年生 60.0%，２年生 74.5%，３年生 59.8%，専攻科 28.6%と２年生が最も図書館を利用していない．利用する学生ではいずれの学年も，「テスト前やレポート提出時」だけ利用している学生が多く，その割合も１年生 35.0%，２年生 21.7%，３年生 37.3%，専攻科 42.9%であり３年生・専攻科がやや高い，３年生・専攻科に定期試験はないが，臨床実習の予習・復習として，また，課せられるレポート作成，さらに卒業研究および専攻研究のため，図書館所蔵の専門書を参照する必要があると思われる.



［問 48 図］ 図書館の利用頻度

12. 学生相談室と学生の悩みについて

［問 49］から［問 54］は学生相談室の利用と学生の悩みについての設問である.

学生相談室は楠元キャンパスの歯学部基礎教育研究棟１階の保健室に開設されており，隔週火曜日（16：00～18：00）に臨床心理士が相談に応じている.

［問 49］あなたは学生相談室が開設されていること知っていましたか.

１．開設場所，開室曜日，時間等の大体のことは知っている
２．開設されていることは知っていたが，詳しくは知らない
３．知らない

問 49 表　全学年の選択肢別割合（%）

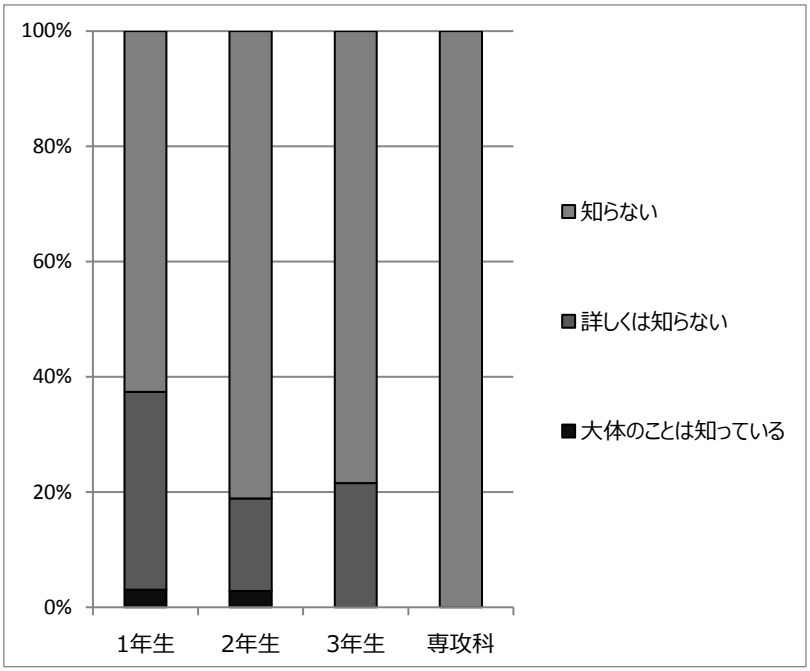
	大体のことは知っている	詳しくは知らない	知らない	合計
前 回	1.29	15.16	83.55	100
今 回	1.91	23.25	74.84	100
愛知学院大学	63.91		35.90	99.8

この設問では，学生相談室が開設されていることを知っているかについて回答を求めた.

学生相談室の開設場所，開室曜日および時間の案内は，学生掲示板に掲示され，また，「学生生活ガイド，履修要項」にも掲載され，入学時のオリエンテーションでも知らされているにもかかわらず，「開設場所，開室曜日，時間等の大体のことは知っている」学生は６名（1.91%）のみで，開設されていることを「知らない」学生が７割以上．また，知っている学生も「詳しくは知らない」学生がほとんどである．学生相談室についての周知方法を検討する必要がある.

前回と比較すると，「知らない」学生が減少し，「開設場所，開室曜日，時間等の大体のことは知っている」および「開設されていることは知っていたが，詳しくは知らない」学生が増加し，学生相談室の周知度はやや向上した.

学年別にみると，いずれの学年も「知らない」学生が圧倒的に多く，その割合に学年間の差はみられない．愛知学院大学にも学生相談センター・相談室が設置されており，その結果と比較すると短期大学部の学生は「知らない」と回答している者が多い.



［問 49 図］ 学生相談室の認知度

［問 50］学生相談室の利用についてお聞きします.

1．利用したことがあり，これからも機会があれば利用したい
2．利用したことがあるが，これからは利用したくない
3．利用したいが，行きにくい
4．利用したことはないが，必要があれば利用したい
5．利用したことがなく，今後も利用しないと思う

問 50 表　全学年の選択肢別割合（%）

	利用したことがあり，これからも利用したい	利用したことがあるが，これからは利用したくない	利用したいが，行きにくい	利用したことはないが，必要があれば利用したい	利用したことがなく，今後も利用しないと思う	合計
前 回	1.30	0.00	1.62	33.12	63.96	100
今 回	1.91	0.00	2.55	35.67	59.87	100
愛知学院大学	3.34	0.99	4.21	36.92	54.44（「知らない」を含む）	98.9

この設問では，学生相談室の利用状況について回答を求めた.

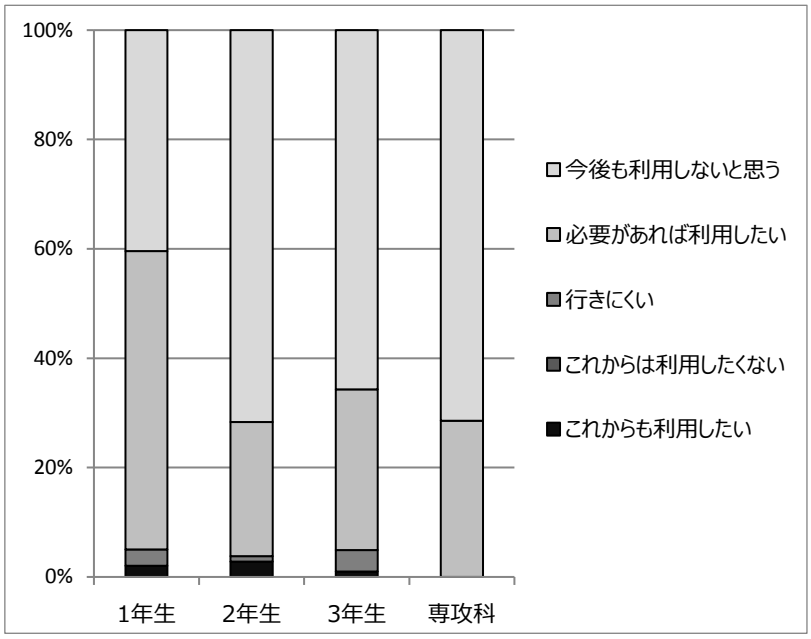
全体としてみると，［問 49］で「開設場所，開室曜日，時間等の大体のことは知っていた」と回答した６名の学生は，ほぼ学生相談室を利用したと思われる．６名が「これからも利用したい」と回答しているが［問 49］で「開設場所，開室曜日，時間等の大体のことは知っていた」と回答した学生とは１名学年が異なるため同じ学生が回答していない．また，「利用したいが，行きにくい」学生はわずかである．「利用したことがない」（「利用したことはないが，必要があれば利用したい」＋「利用したことがなく，今後も利用しないと思う」）学生のうちでは，「今後も利用しないと思う」学生が１年生を除き半数以上であり，「必要があれば利用したい」学生を上回る.

前回と比較すると，前回は４名いた「利用したことがある」（「利用したことがあり，これからも機会があれば利用したい」＋「利用したことがあるが，これからは利用したくない」）学生が今回６名いた．また，「利用したことがなく，今後も利用しないと思う」学生が減少し，その分「利用したい」（「利用したいが，行きにくい」＋「利用したことはないが，必要があれば利用したい」）学生が増加した．愛知学院大学の学生相談センター・相談室の利用状況結果は短期大学部とほぼ同じ傾向を示している.

このように，学生相談室は「利用したことがなく，今後も利用しないと思う」学生が多く，その傾向は本学科で顕著である．学生相談室に学生がどのようなイメージをもっているかは不明であるが，大学の学生相談室は気軽に行けるとこ

ろ，個人のプライバシーが確実に守られるところ，様々な種類の相談が出来るところであることなど，相談室の実態について学生に周知させる必要があるだろう．

学年別にみると，いずれの学年も全体としてみた結果と同一であり一定の傾向は認められない．



［問 50 図］ 学生相談室の利用状況

［問 51］現在主に悩んでいることはどんなことですか．（３つまで選択可）

１．勉学の問題
２．就職等将来の進路の問題
３．対人・異性関係の問題
４．家庭内の人間関係の問題
５．性格・能力の問題
６．経済上の問題
７．思想・生き方の問題
８．健康の問題
９．その他
10．特にない

問 51 表　全学年の選択肢別割合（%）

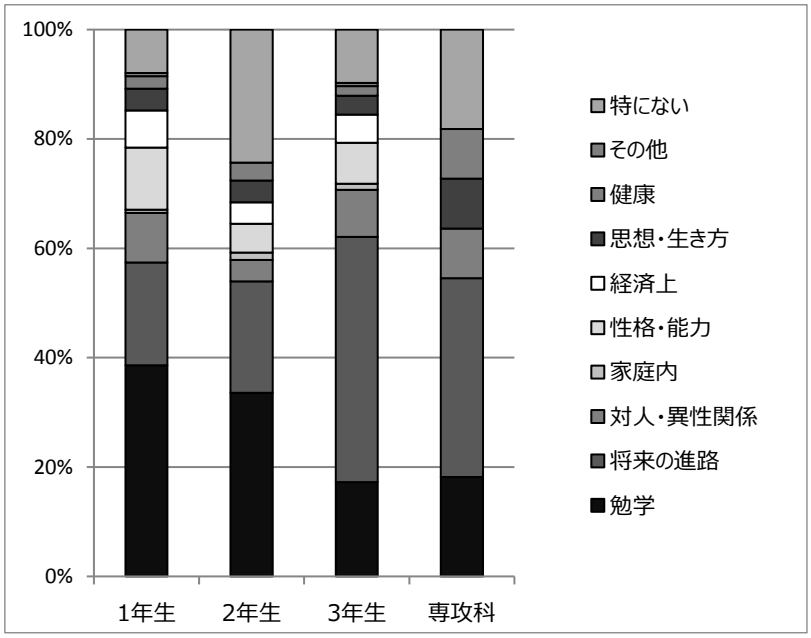
	勉学の問題	就職等将来の進路の問題	対人・異性関係の問題	家庭内の問題	性格・能力の問題
前 回	51.61	48.39	22.58	6.45	22.26
今 回	48.55	46.95	12.22	1.61	13.18
愛知学院大学	52.08	51.71	21.34	3.41	16.91
	経済上の問題	思想・生き方の問題	健康の問題	その他	特にない
前 回	10.00	9.68	4.84	1.61	13.55
今 回	8.68	6.43	4.18	0.64	22.51
愛知学院大学	13.08	7.35	7.09	3.41	16.45

この設問では，現在どのようなことを悩んでいるかについて回答を求めた．３つまで選択が可能であり，選択肢数は１年生 179，２年生 153，３年生 174，専攻科 11，合計 517 である．図は各学年における総回答者数に対する割合を示す．

全体としては，悩んでいることが「特にない」学生が 22.51%いる．悩み事で多いのは「勉学の問題」および「就職等将来の進路の問題」である．次いで「性格・能力の問題」，「対人・異性関係の問題」が続き，他の項目は 10%以下である．前回と比較すると，「特にない」学生の割合が増加している．悩み事の順位は，前回とほぼ同一であり，すべての項目で悩んでいる学生が減少した．

学年別にみると，悩み事が「特にない」学生は１年生 14.0%，２年生 34.9%，３年生 16.7%，専攻科 28.6%であり，

２年生は学生生活に慣れ悩みが少なくなっている．とくに，「勉学の問題」に悩む学生は，１年生 68.0%，２年生 48.1%，３年生 29.4%，専攻科 28.6%であり学年が上がるにつれて試験科目の減少に加え勉強方法も要領を得て悩む者が減少してくると思われる．とりわけ１年生は入学してから４ヶ月弱で，高校時代の授業科目と専門基礎科目との授業内容・形態の違いに対する戸惑い，あるいは出席日数不足による留年以外なかった高校時代と，本学科の留年制度の違いに不安を抱いているのかもしれない．それに対して，「就職等将来の進路の問題」に悩む学生は，１年生（33.0%），２年生（29.2%），３年生（76.5%），専攻科（57.1%）と学年が進むにしたがい増加し，とくに，３年生の最も多い悩みである．就職等将来の進路は，１，２年生にはまだ差し迫った問題ではないため，気にかかっていても「悩んでいる」ほどではないと思われる．また，「性格・能力の問題」で悩んでいる学生は，１年生（20.0%），２年生（7.5%），３年生（12.7%），専攻科（0.0）と１年生が高い．入学後，歯科衛生士としての性格や能力，新しい友人と歩調を合わせる性格や能力等，多方面での悩みになっていると考えられる．「対人・異性関係の問題」で悩んでいる学生は，１年生（16.0%），２年生（5.7%）で３年生（14.7%），専攻科（14.3%）であり少ない．



［問 51 図］ 現在の悩んでいること（総回答者数に対する割合）

［問 52］悩み事の相談は誰にしますか．（複数回答可）

１．家族（身内）に相談する
２．同じクラブ・サークルの部員に相談する
３．クラブ・サークル以外の友人に相談する
４．教員に相談する
５．職員に相談する
６．学生相談室を訪ねる
７．学外の医師，カウンセラー等に相談する
８．適当な相談相手がいない
９．なりゆきに任せる

問 52 表　全学年の選択肢別割合（%）

	家族	クラブの友人	クラブ以外の友人	教員	職員	学生相談室	医師・カウンセラー	いない	なりゆき
前 回	67.85	17.36	43.41	2.25	0.32	0.00	0.96	5.79	34.73
今 回	64.42	10.90	34.29	1.92	0.96	0.00	0.00	4.49	28.53

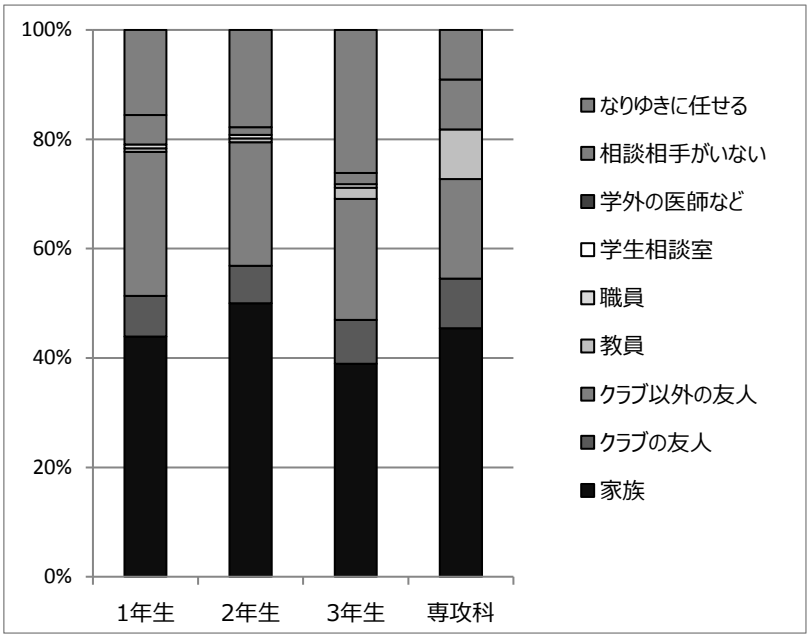
この設問では，悩み事の相談をだれにするかについて回答を求めた．複数回答が可能であり，のべ回答者数は１年生 151，２年生 146，３年生 149，専攻科 11，合計 457 である．図は各学年における総選択肢数に対する割合を示す．

全体としては，相談する相手は，「家族（身内）に相談する」学生が最も多く，３分の２を占める．次いで，「クラブ・サークル以外の友人に相談する」である．誰にも相談せずに「なりゆきに任せる」学生がほぼ３分の１，「同じクラブ・

サークルの部員に相談する」学生が２割弱，「適当な相談相手がいない」，「教員に相談する」，「学外の医師，カウンセラー等に相談する」，「職員に相談する」学生が少数いる．しかし，悩み事を「学生相談室を訪ねる」学生はいなかった．

前回と比較すると，ほぼ同様な結果であったが，「適当な相談相手がいない」，「なりゆきに任せる」のように相談しない学生が増加している．

学年別にみると，相談しない学生のうち，「なりゆきに任せる」学生は，１年生（23.0%），２年生（24.5%），３年生（38.2%），専攻科（14.3%）と３年生が多い．また，少数ではあるが「適当な相談相手がいない」学生は，１年生（8.0%），２年生（1.9%），３年生（2.9%），専攻科（14.3%）と１年生が多い．一方，相談する学生の相手についてみると，「家族（身内）に相談する」学年は１年生（65.0%），２年生（68.9%），３年生（56.9%），専攻科（71.4%）と６割以上の学生が家族と相談している．「クラブ・サークルの友人に相談する」，「クラブ・サークル以外の友人に相談する」学生は学生は，学年間にほぼ差はみられない．なお，「教員に相談する」，「職員に相談する」学生は極めて少ない．



［問 52 図］ 悩み事の相談相手（総回答者数に対する割合）

［問 53］大学や学習に関する疑問，不満，要望をどこ（誰）に相談しますか．（複数回答可）

１．短期大学部事務室
２．学生相談
３．教員
４．友人
５．家族など
６．その他
７．どこ（誰）にも話さない
８．疑問，不満，要望などはない

問 53 表　全学年の選択肢別割合（%）

	事務室	学生相談室	教員	友人	家族など	その他	どこにも話さない	疑問などはない
前 回	7.72	0.00	16.08	66.88	45.98	1.29	12.22	9.65
今 回	9.65	0.64	16.08	58.20	41.16	0.32	8.36	18.97
愛知学院大学	12.77*	1.33	12.55	58.79	30.59	2.96	13.15	13.46

*：学生課・教務課等の事務窓口（所属学部事務室もしくは教養部事務室を除く）

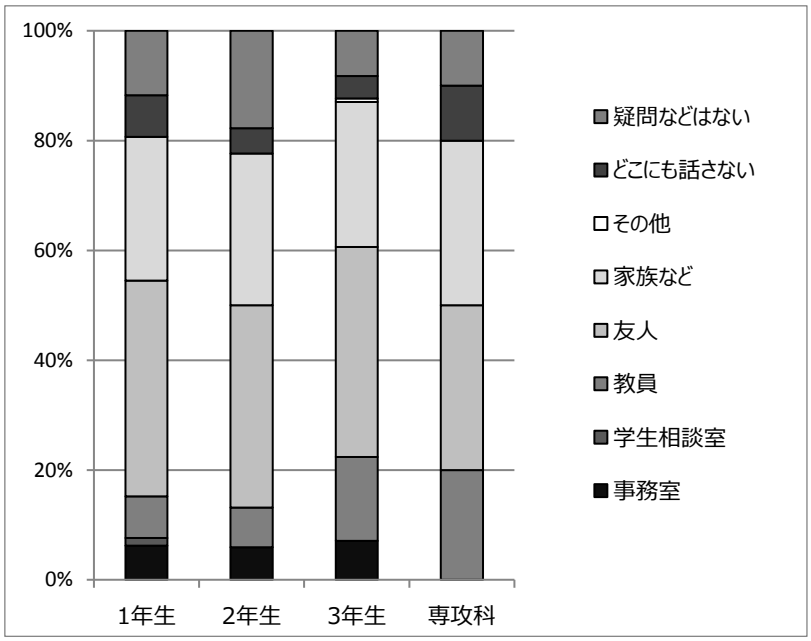
この設問では，大学や学習に関する疑問，不満，要望などをどこ（誰）に相談するかについて回答を求めた．複数回答が可能であり，選択肢数は１年生 148，２年生 153，３年生 170，専攻科 10，合計 481 である．図は各学年における総選択肢数に対する割合を示す．

全体としては，「疑問，不満，要望などはない」学生は 13.5%であり，ほとんどの学生が大学や学習に対して疑問，不

満，要望をもっている．また，疑問，不満，要望をもっていても「どこ（誰）にも話さない」学生が 13.2%いる．相談する相手で最も多いのは「友人」であり 50%を超える．次いで「家族など」,「教員」,「短期大学部事務室」の順である．また，悩み事の相談相手に「教員」を選択した学生は 12.6%と少ない．

前回と比較すると，相談相手では,「友人」,「家族など」がやや減少し「事務室」がやや増加している．一方,「どこ（誰）にも話さない」学生が減少し，「疑問，不満，要望などはない」学生の割合は増加している．愛知学院大学と比較すると「疑問などはない」学生がやや多く，相談相手としては「家族など」がやや多く「事務室」がやや少ない．

学年別にみると,「疑問，不満，要望などはない」学生は１年生 17.0%，２年生 25.5%，３年生 13.7%，専攻科 14.3%であり，ほとんどの学生が大学や学習に対して疑問，不満，要望をもっている．疑問，不満，要望があっても「どこ（誰）にも話さない」学生は，１年生（11.0%），２年生（6.6%），３年生（6.9%），専攻科（14.3%）と新入生のいる学年がやや多い．また,「短期大学部事務室」に相談する１年生（9.0%），２年生（8.5%）は，３年生（11.8%），専攻科（0.0%）と３年生がやや多い．大学や学習に関する疑問などの相談相手に教員を選択した学生の割合は，１年生（11.0%），２年生（10.4%），３年生（25.5%），専攻科（28.6%）と３年生および専攻科に多い．とくに学習に対する疑問，不満，要望などを相談する相手として，教員をより多くの１，２年生に利用してほしい．また,「家族など」に相談する学生は，１年生（38.0%），２年生（39.6%），３年生（44.1%），専攻科（42.9%）と学年間にあまり差はない．



［問 53 図］ 大学・学習に対する疑問などの相談相手（総回答者数に対する割合）

［問 54］その結果，納得できる説明，回答などはありましたか.

１．納得できる説明，回答などがあり，不満も解消した
２．納得できる説明，回答などがあったが，不満は残った
３．納得できる説明，回答などはなく，不満が残っている
４．納得できる説明，回答などはなく，あきらめた

問 54 表　全学年の選択肢別割合（%）

	納得できる説明・回答などがあり，不満も解消した	納得できる説明・回答などがあったが，不満は残った	納得できる説明・回答などはなく，不満が残っている	納得できる説明・回答などはなく，あきらめた	合計
前 回	36.44	39.11	10.67	13.78	100
今 回	59.20	21.89	7.46	11.44	100

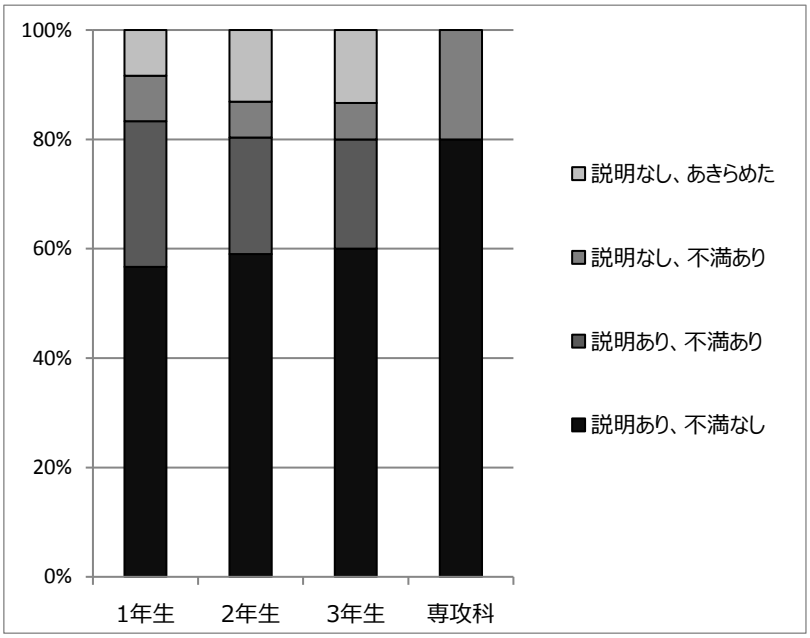
この設問では，［問 53］で相談した結果，納得できる説明，回答などがあったかどうかについて回答を求めた．対象は［問 53］で「どこ（誰）にも話さない」および「疑問，不満，要望などはない」を選択した学生を除く，１年生 60 名，２年生 61 名，３年生 75 名，専攻科５名，合計 201 名である．

全体としては，８割（81.1%）の学生は，納得できる説明，回答（「納得できる説明，回答などがあり，不満も解消し

た」＋「納得できる説明，回答，反応などがあったが，不満は残った」）を相談相手から得ている．その結果，「不満が解消した」学生が「不満が残った」（「納得できる説明，回答，反応などがあったが，不満は残った」＋「納得できる説明，回答などはなく，不満が残っている学生」）29.4%より多い．納得できる説明，回答などが得られなかった（「納得できる説明，回答などはなく，不満が残っている」＋「納得できる説明，回答などはなく，あきらめた」）学生（18.9%）では，「あきらめた」学生が「不満が残っている」学生より多い．

前回と比較すると，納得できる説明，回答を相談相手から得た学生の割合が増加し，納得できる説明，回答があった学生では，「不満が残った」学生が減少し，「不満が解消した」学生が減少した．

学年別にみると，納得できる説明，回答を得た学生は，１年生（83.3%）で２年生（80.3%）あるいは３年生（80.0%），専攻科（80.0%）と約８割の学生が納得できる回答を得おり学年間に差はない．その結果，「不満が解消」した学生は，１年生（56.7%），２年生（59.0%），３年生（60.0%），専攻科（80.0%）となり学年が上がると増加する．納得できる説明，回答がなかった学生では，「不満が残った」学生は，１年生 8.3%，２年生 6.6%，３年生 6.6%，専攻科 14.3%で専攻科はその割合は高いものの１名であったことから学年間で差はないといえる．納得できる説明，回答の有無にかかわらず，不満が残った学生は１年生（35.0%），２年生（27.9%），３年生（26.5%）であり，ほぼ４分の１に不満が残っている．大学や学習に対して疑問，不満，要望を相談する適当な相手は，「教員」あるいは「事務室」である．学生が気軽に「教員」あるいは「事務室窓口」に声をかけられる体制を作ることが「不満が残る」，「あきらめた」学生を減少させ，「不満が解消した」学生を増加させることにつながると思う．



［問 54 図］相談した結果

13. ハラスメントについて

［問 55］から［問 58］はハラスメントついての設問である．あらかじめ，ハラスメントついて「ハラスメントとはいろいろな場面での「いやがらせ，いじめ」をいい，次のようなものがあります．・セクシュアル・ハラスメント：性的ないやがらせ，いじめ．・アカデミック・ハラスメント：教員による学生へのいやがらせ，いじめ．・パワー・ハラスメント：職務権限を利用したいやがらせ，いじめ．・アルコール・ハラスメント：飲酒の強要など」との説明を記した上で尋ねた．

［問 55］いろいろな「ハラスメント」がありますが，あなたはこれらの事を知っていますか．

１．知っている
２．知らない
３．知っているものもあるし，知らないものもある

問 55 表　全学年の選択肢別割合（%）

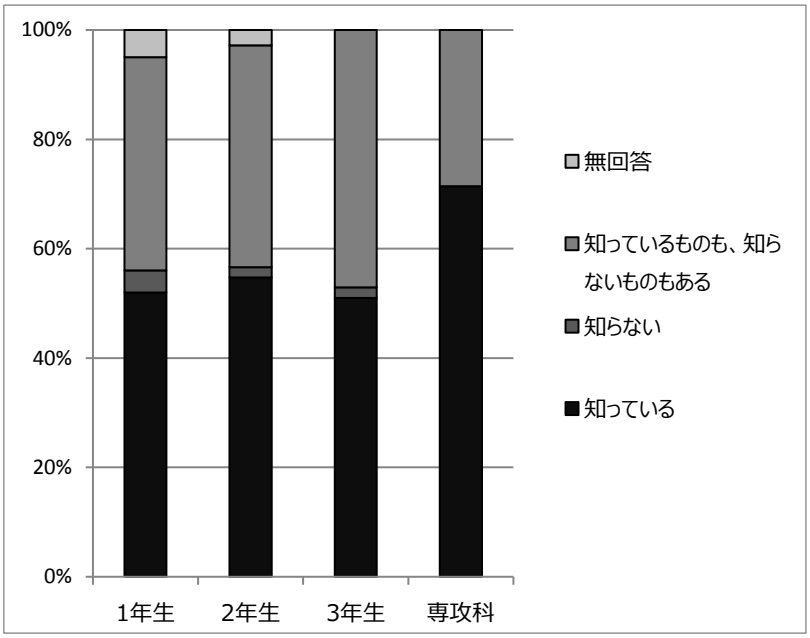
	知っている	知らない	知っているものもあるし，知らないものもある	合計
前 回	43.87	1.61	54.52	100
今 回	54.40	2.61	43.00	100

この設問では，各種ハラスメントの認知度について回答を求めた．

全体としては，「知らない」学生はわずかであり，大部分の学生は，ハラスメントについての知識がある．ただし，約４割の学生はすべてのハラスメントについて「知っている」のではなく，「知っているものもあるし，知らないものもある」と回答している．

前回と比較すると「知っている」学生が増加している．

学年別に比較すると，「知っている」学生は１年生（52.0%），２年生（54.7%），３年生（51.0%），専攻科（71.4%）と専攻科を除き学年間の差はほとんどない．なお，「知らない」学生は１年生４名，２・３年生２名，専攻科０名であった．



［問 55 図］ ハラスメントの認知度

［問 56］過去に（今も）ハラスメントを受けたことがありますか．（複数回答可）

１．学外サークル
２．アルバイト先
３．通学途中
４．学外のその他の場所
５．学内のクラブ・サークル
６．学内の教室
７．学内のその他の場所
８．受けたことがない

問 56 表　全学年の選択肢別割合（%）

	学外サークル	アルバイト先	通学途中	学外のその他	学内のクラブ・サークル	学内の教室	学内のその他	受けたことがない
前 回	0.32	3.88	1.94	0.97	0.97	0.97	0.32	92.23
今 回	0.98	7.84	4.90	0.65	0.00	1.31	1.63	86.60
愛知学院大学		5.53			2.73	2.35	1.14	89.65

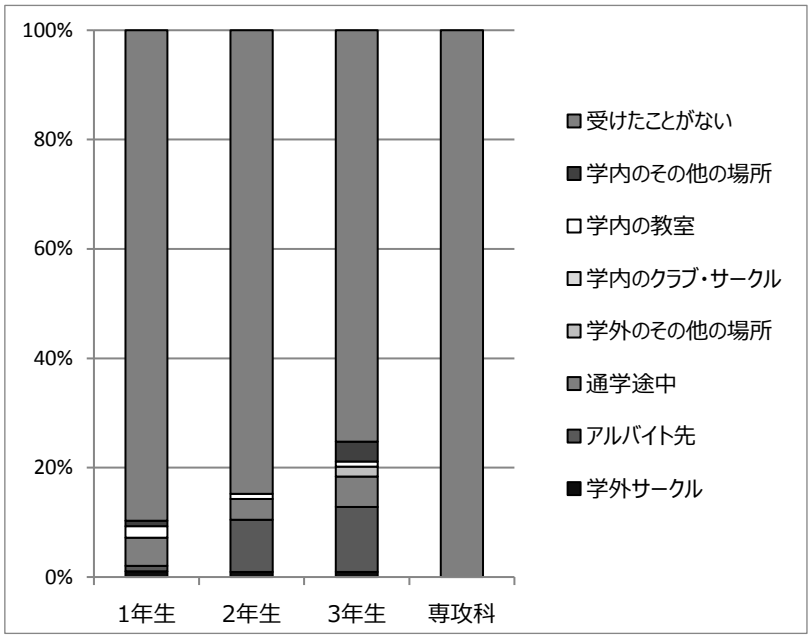
この設問では，過去（今）にハラスメントをどこで受けたかについて回答を求めた．複数回答が可能であり，総回答者数は１年生 103，２年生 108，３年生 109，専攻科７，合計 327 である．図は各学年における総回答者数に対する割合を

示す.

全体としては，ハラスメントを「受けたことがない」学生が８割を超え，経験のある学生は少ない．受けた学生では，学外の「アルバイト先」で受けた学生の割合 7.8%が最も多く，次いで「通学途中」4.9%が多い.

前回と比較すると，「受けたことがない」学生が増加した．また，受けた場所では学内が増加した.

学年別に比較すると，「受けたことがない」学生は１年生（87.0%）で２年生（84.0%）あるいは３年生（80.4%），専攻科（100.0%）と専攻科を除き学年が上がるにつれてやや減少している．受けた場所については「アルバイト先」は１年生 1.0%，２年生 9.4%，３年生 12.7%，専攻科 0.0%と専攻科を除き学年が上がるにつれて増加する．学内では「学内の教室」,「学内のその他の場所」で受けた学生が数名いた.



［問 56 図］ ハラスメントの経験

［問 57］受けたハラスメントは次のどれにあたりますか（複数回答可）

１．セクシュアル・ハラスメント
２．アカデミック・ハラスメント
３．パワー・ハラスメント
４．アルコール・ハラスメント
５．その他

問 57 表　全学年の選択肢別割合（%）

	セクシュアル・ハラスメント	アカデミック・ハラスメント	パワー・ハラスメント	アルコール・ハラスメント	その他
前 回	78.26	4.35	30.43	17.39	13.04
今 回	58.97	12.82	33.33	7.69	7.69

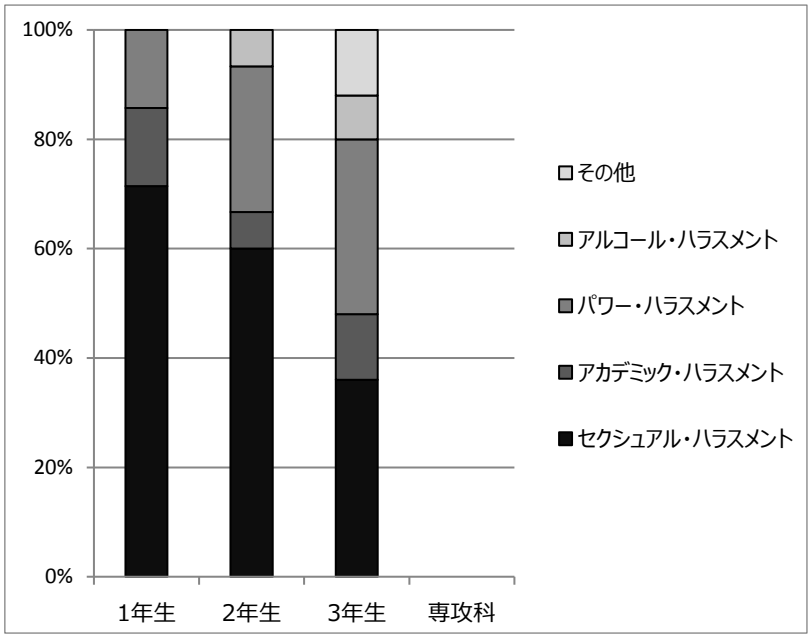
この設問では，どの種類のハラスメントを受けたかについて回答を求めた．対象は［問 56］で各種ハラスメントをうけた経験がある１年生６名，２年生 13 名，３年生 20 名，専攻科０名，合計 39 名である．複数回答が可能であり，総回答者数は１年生７，２年生 15，３年生 25，専攻科０，全学年 47 である.

全体としては，「セクシュアル・ハラスメント」を受けた学生が最も多く，次いで「パワー・ハラスメント」である．この両者に次いで，「アカデミック・ハラスメント」である.

学年別の比較は学年があがるにつれて「セクシャル・ハラスメント」の割合が減少し，多様なハラスメントを受ける機会があることを示している.

受けたハラスメントが２つ以上であった学生は６名であった.

.



［問 57 図］ ハラスメントの種類

［問 58］もしも，ハラスメントを受けた場合，どこ（誰）に相談しますか（複数回答可）

1．短期大学部事務室
2．学生相談室
3．学外公共相談機関
4．教員
5．友人
6．家族
7．その他
8．わからない
9．どこ（誰）にも相談しない

問 58 表　全学年の選択肢別割合（%）

	事務室	学生相談室	学外公共相談機関	教員	友人	家族	その他	わからない	相談しない
前 回	3.63	3.23	2.42	7.66	67.74	64.92	0.40	12.10	3.63
今 回	6.59	5.04	2.71	10.08	57.36	62.02	0.39	14.73	6.20

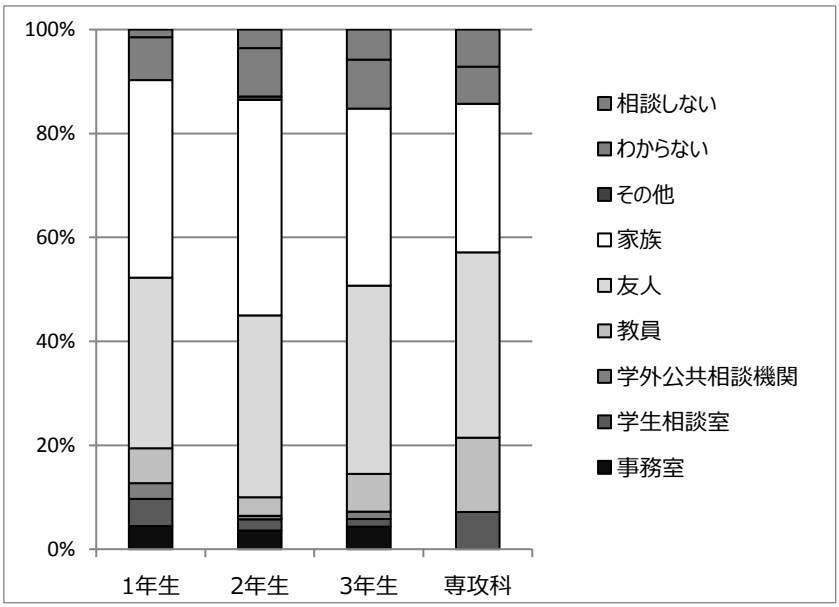
この設問では，もしもハラスメントを受けたらどこ（誰）に相談するかについて回答を求めた．複数回答が可能であり，総回答者数は１年生 160，２年生 159，３年生 150，専攻科 14，合計 483 である．図は各学年における総回答者数に対する割合を示す．

全体としては，相談する相手では，「家族」が最も多く，次いで「友人」であり，いずれも半数を超える．6.2%の学生が自分だけで対処し「どこ（誰）にも相談しない」．14.4%の学生が「わからない」と回答している．また，学内の「短期大学部事務室」，「学生相談室」および「教員」に相談する学生は少ないものの増加している．

前回と比較すると，最も多い相談相手は前回と比較すると「友人」から「家族」になっており，どちらもその割合は減少している．

学年別にみると，相談相手は，いずれの学年も「家族」，「友人」が多く，「家族」への相談者は１年生 51.0%，２年生 54.7%，３年生 46.1%，専攻科 57.1%，「友人」への相談者は１年生 44.0%，２年生 46.2%，３年生 49.0%，専攻科 71.4%であり「友人」への相談者は学年が上がるにつれて増加している．「どこ（誰）にも相談しない」学生は１年生 2.0%，２年生 4.7%，３年生 7.8%，専攻科 14.3%であり学年が上がるにつれて増加している．また，「わからない」学生は１年生 11.0%，２年生 12.3%，３年生 12.7%，専攻科 14.3%であった．「家族」あるいは「友人」にくらべ少数であるが，「教員」に相談する学生はで１年生（9.0%），２年生（4.7%），３年生（9.8%），専攻科（14.3%）であり学年間に差は

みられない.



［問 58 図］ ハラスメントの相談相手（総回答者数に対する割合）

14. 各種勧誘について

［問 59］から［問 61］は各種勧誘についての設問である.

［問 59］社会問題となっている，楽にお金が儲かるような錯覚を与えたり（マルチ商法・ネズミ講など），いらない物を買うようにしむける会員募集や商品購入を行わせる悪徳商法（キャッチ商法・パーティー商法）の勧誘を受けたことがありますか.

1．勧誘を受けてお金を支払い，後悔したことがある
2．勧誘を受けてお金を支払ったが，後悔したことはない
3．勧誘は受けたが，お金を支払ったことはない
4．勧誘を受けたことはない

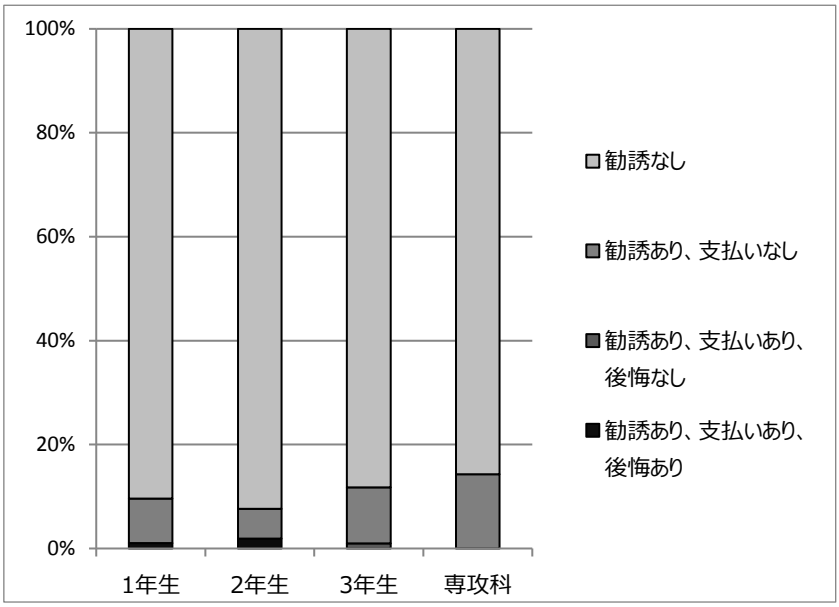
問 59 表　全学年の選択肢別割合（%）

	勧誘を受けてお金を払い，後悔したことがある	勧誘を受けてお金を支払ったが，後悔したことはない	勧誘は受けたが，お金を支払ったことはない	勧誘を受けたことはない	合計
前 回	0.98	0.00	8.79	90.23	100
今 回	0.97	0.32	8.44	90.26	100

この設問では，悪徳商法の勧誘を受けたことがあるかどうかについて回答を求めた.

全体としては,「勧誘を受けたことはない」学生がほとんどで９割を超える，勧誘を受けた学生では,「勧誘を受けてお金を支払い，後悔したことがある」学生が３名,「勧誘を受けてお金を支払ったが，後悔したことはない」学生は１名，26 名の学生は「勧誘は受けたが，お金を支払ったことはない」と回答しており，前回とほぼ同様の傾向を示している.

学年別にみると,「勧誘を受けたことはない」学生は１年生 85.0%, ２年生 91.5%, は３年生 88.2%，専攻科 85.7%であり学年間に大きな差はない.「勧誘を受けてお金を払い，後悔したことがあり」は１年生１名，２年生２名である.



［問 59 図］ 悪徳商法　勧誘の経験

［問 60］本学が実施する行事は除き，何らかの宗教団体からの勧誘を受けたことがありますか．（複数回答可）

１．学内で声をかけられた
２．下宿・アパートに訪ねてきた
３．下宿・アパートに電話がかかってきた
４．自宅に訪ねてきた
５．自宅に電話がかかってきた
６．勧誘を受けたことがない

問 60 表　全学年の選択肢別割合（%）

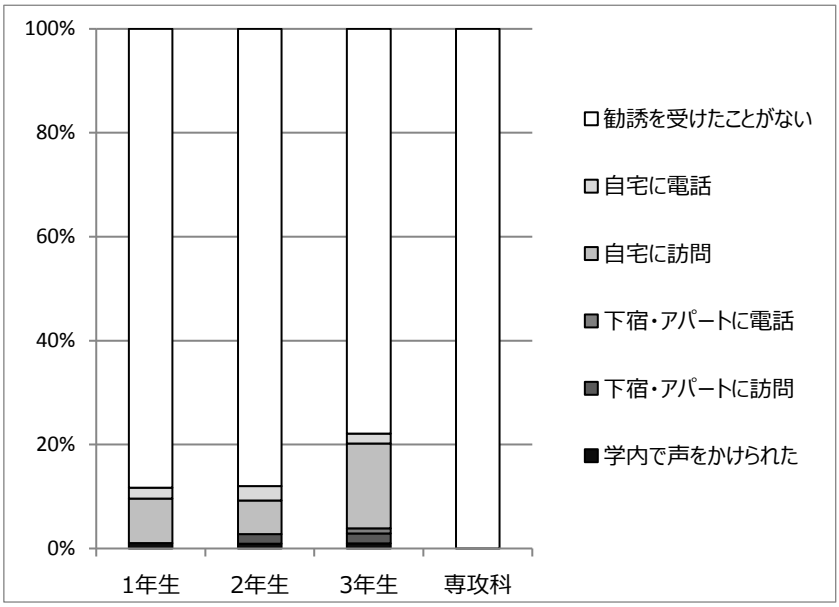
	学内で声をかけられた	下宿・アパートに訪れてきた	下宿・アパートに電話がかかってきた	自宅を訪ねてきた	自宅に電話がかかってきた	勧誘を受けたことはない
前 回	0.65	2.61	0.65	15.64	4.23	80.46
今 回	0.98	1.30	0.33	10.42	2.28	86.64

この設問では，本学実施行事を除き，宗教団体から勧誘を受けたことがあるかどうかについて回答を求めた．複数回答が可能であり，回答者数は１年生 101，２年生 109，３年生 104，専攻科７，合計 321 である．図は各学年における総回答者数に対する割合を示す．

全体としては，宗教団体から「勧誘を受けたことがない」学生が圧倒的に多い．勧誘は「自宅に訪ねてきた」が最も多く，次いで「自宅に電話がかかってきた」，「下宿・アパートに訪ねてきた」の順であり，「学内で声をかけられた」学生は３名である．

前回と比較すると，「勧誘を受けたことがない」，「自宅に電話がかかってきた」学生が増加した．

学年別にみると，「勧誘を受けたことがない」学生は，で１年生 83.0%，２年生 89.7%，３年生 79.4%、専攻科（100.0%）であり学年間に大きな差はない．「自宅に訪ねてきた」学生は３年生（16.7%）が１年生（8.0%），２年生（6.6%），専攻科（0.0%）より多い．



［問 60 図］ 宗教団体からの勧誘の経験

［問 61］あなたは，勧誘を受けた団体の行事に参加しましたか.

1．今も参加している
2．参加したことはあるが，今は参加していない
3．参加したことはない
4．勧誘を受けたことがない

問 61 表　全学年の選択肢別割合（%）

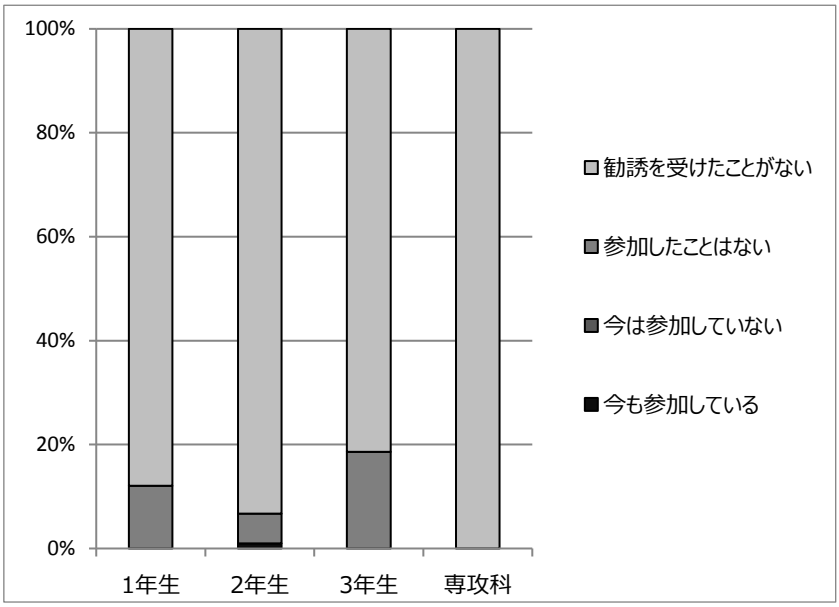
	今も参加している	参加したことはあるが，今は参加していない	参加したことはない	勧誘を受けたことがない	合計
前 回	0.00	0.33	19.74	79.93	100
今 回	0.33	0.00	11.84	87.83	100

この設問では，勧誘を受けた団体の行事に参加したかどうかについて回答を求めた.

全体としては,宗教団体から「勧誘を受けたことがない」学生が約９割を占める．勧誘は受けた学生では，勧誘を受けても「参加したことはない」学生がほとんどすべてで，参加経験がある学生は１名のみである.

学年別にみると,「勧誘を受けたことがない」学生は１年生（80.0%），２年生（91.5%），３年生（81.4%），専攻科（100.0%）である．勧誘を受けたが「参加したことはない」学生は１年生（11.0%），２年生（5.7%），３年生（18.6%），専攻科（0.0%）である.「今も参加している」１名は２年生である.

この設問は宗教団体がどのようなものであるかが不明であるし，たとえ分かったとしても，信教の自由という点から，その宗教団体の行事に参加することの善し悪しを論じることに意味があるのかは疑問である.



［問 61 図］ 宗教団体からの勧誘の経験

15. クラブ活動について

［問 62］から［問 68］はクラブ活動ついての設問である.

［問 62］あなたは，大学生活にクラブ・サークルは必要だと思いますか.

1．絶対必要
2．どちらかというと必要
3．どちらともいえない
4．どちらかというと必要ない
5．絶対必要ない

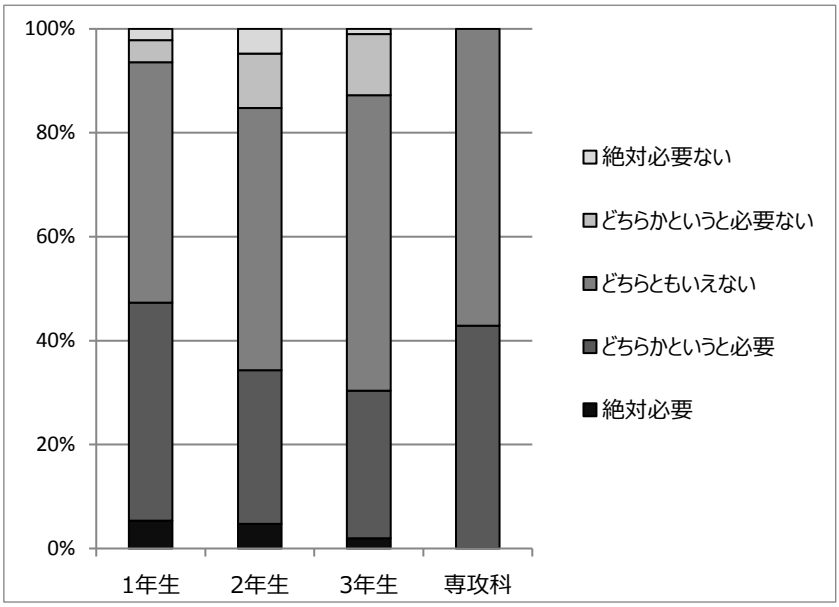
問 62 表　全学年の選択肢別割合（%）

	絶対必要	どちらかというと必要	どちらともいえない	どちらかというと必要ない	絶対必要ない	合計
前 回	8.77	40.26	42.86	6.49	1.62	100
今 回	3.91	33.22	51.47	8.79	2.61	100

この設問では，大学生活にクラブ・サークル活動は必要だと思うかについて回答を求めた.

全体としては,「どちらともいえない」学生が最も多い. 積極的意見である大学生活にクラブ・サークルが「必要である」(「絶対必要」＋「どちらかというと必要」) と思っている学生の割合は 37.1%と，前回の 49.0%から減少している，消極的意見である「必要ない」(「どちらかというと必要ない」＋「絶対必要ない」) と思う学生は 11.4%であり，大学生活にクラブ・サークルは「必要である」と思っている学生が圧倒的に多いものの，前回の 8.1%と比較して増加している.

学年別にみると,「どちらともいえない」学生の割合は３年生では 56.9%であり，専攻科 57.1%を除くと２年生 50.0%や１年生 43.0%より多い，１年生では「どちらかというと必要」と思う学生の割合は 39.0%であり最も多く. それにともない，積極的意見である「必要である」と思う学生は，１年生 44.0%，２年生 22.8%，３年生 30.4%，専攻科 42.9%で１年生が最も多い. しかし, 消極的意見である「必要ない」と思う学生は，１年生 6.0%，２年生 15.1%，３年生 12.7%，専攻科 0.0%であり専攻科を除き１年生が最も低い.



［問 62 図］ クラブ・サークルは必要か

［問 63］あなたは，いずれかのクラブ・サークルに所属していますか．（複数回答可）

1．学内の運動部（準クラブ・同好会を含む）に所属している
2．学内の文化部（準クラブ・同好会を含む）に所属している
3．学内の未公認サークルに所属している
4．学外のサークルに所属している
5．所属していない

問 63 表　全学年の選択肢別割合（%）

	学内運動部	学内文化部	学内未公認サークル	学外サークル	所属していない
前 回	13.68	10.75	2.61	5.21	70.36
今 回	7.82	11.40	0.65	5.86	74.92
愛知学院大学	28.05	18.04	5.08	5.91	46.32

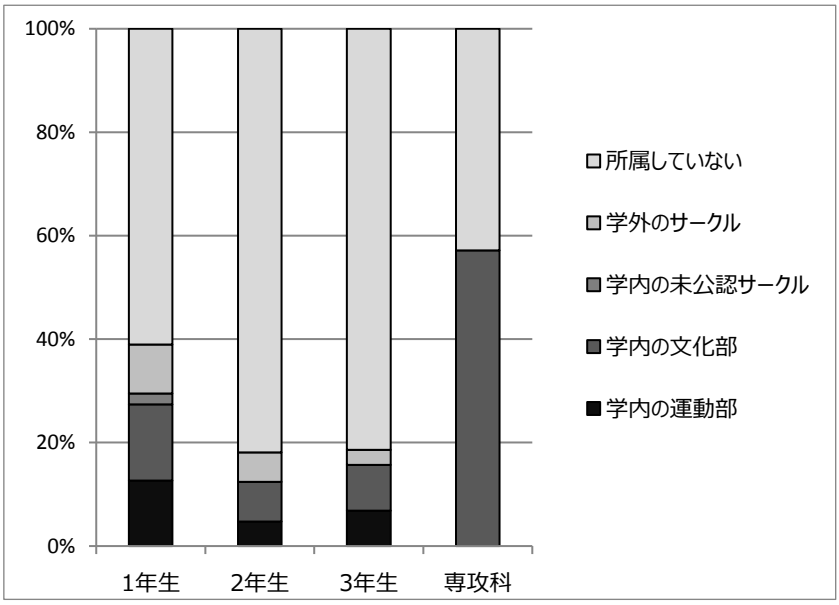
この設問では，いずれかのクラブ・サークルに所属しているかについて回答を求めた．複数回答が可能であり，回答者数は１年生 102，２年生 106，３年生 102，専攻科７，合計 317 である．図は各学年における総回答者数に対する割合を示す．

全体としては，「所属していない」学生が，所属している学生より圧倒的に多く，７割の学生はクラブ・サークルに所属していない．「学内の公認クラブ・サークル所属している」学生は 18.1%であり，運動部と文化部の両者に所属している者は２名である．「学内の未公認サークルに所属している」，「学外のサークルに所属している」学生も少数ではあるがいる．

前回と比較すると，「所属していない」学生が前回より増加した．

愛知学院と比較すると，所属していない学生が多く，とりわけ学内運動部に所属する者が少ない．

学年別にみると，いずれの学年も「所属していない」が圧倒的に多いが，その割合は，２年生（81.1%）および３年生（81.4%）は１年生（58.0%）あるいは専攻科（42.9%）より多い．１年生は「学外のサークルに所属している」学生が 9.0%と多く，「学内の運動部に所属している」学生および「学内の文化部に所属している」学生は，１年生（それぞれ 12.0%，14.0%）は２年生（それぞれ 4.7%，7.5%）あるいは３年生（それぞれ 6.9%，8.8%）の高学年よりやや多く，専攻科（それぞれ 0.0%，42.9%）は文化部のみ所属している．



［問 63 図］ クラブ・サークルの所属状況

［問 64］あなたがクラブ・サークルに参加した動機はなんですか.（３つまで選択可）

１．友人を得るため
２．知識・教養・技能を身につけるため
３．スポーツ技術の向上，競技に参加するため
４．自己の人間形成のため
５．趣味・興味と一致したため
６．将来の進路に有利と考えて
７．健康増進のため
８．他人にすすめられて
９．その他

問 64 表　全学年の選択肢別割合（%）

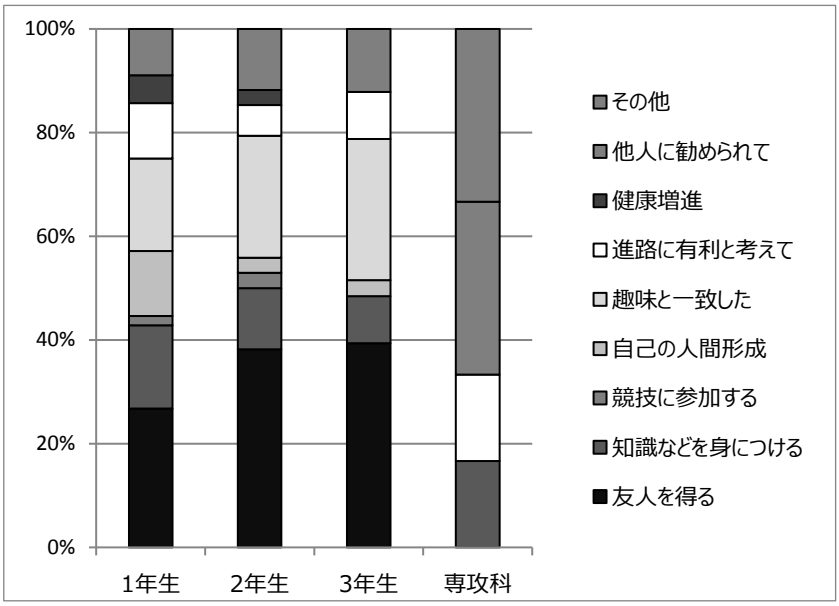
	友人を得る	知識・教養・技能を身につける	スポーツ技術の向上，競技に参加	自己の人間形成	趣味・興味と一致	将来の進路に有利	健康増進	他人にすすめられて	その他
前 回	51.65	20.88	16.48	13.19	40.66	12.09	10.99	10.99	5.49
今 回	51.90	21.52	2.53	11.39	34.18	15.19	5.06	18.99	2.53
愛知学院大学	41.94	26.90	32.69	—	46.14	—	—	12.32	12.05

この設問では，クラブ・サークルに参加した動機について回答を求めた.［問 64］から［問６７］の設問の対象は，クラブ・サークルに所属している１年生 42 名，２年生 20 名，３年生 19 名，専攻科４名，全学年 85 名である．３つまで選択が可能であり，選択肢数は１年生 56，２年生 34，３年生 33，専攻科６，全学年 129 である.

全体としては,「友人を得るため」が動機の学生が５割を占め最も多く，次いで「趣味・興味と一致したため」,「知識・教養・技能を身につけるため」,「他人にすすめられて」,「将来の進路に有利と考えて」,「自己の人間形成のため」,「健康増進のため」,「スポーツ技術の向上，競技に参加するため」の順である．愛知学院大学は選択肢がやや異なるものの，短期大学部と比較すると「スポーツ技術の向上，競技に参加するため」の学生は短期大学部では少ない.

前回と比較すると，ほぼ同様の傾向を示したが「スポーツ技術の向上，競技に参加するため」,「健康増進のため」を参加動機にあげた学生が減少した． 一方,「他人にすすめられて」とする学生は増加した.

学年別の比較は,「友人を得るため」が参加動機の学生は１年生 35.7%，２年生 65.0%，３年生 68.4%，専攻科 100.0%であり学年が上がるにつれて増加した.「趣味・興味と一致したため」が参加動機の学生も同様に． １年生 23.8%，２年生 40.0%，３年生 47.3%，専攻科 25.0%であり専攻科を除き学年が上がるにつれて増加した.



［問 64 図］ クラブ・サークル参加の動機

［問 65］あなたのクラブ活動日数は週何日ですか（夏休み等を除く，通常の授業が行われている週）

1．1日
2．2日
3．3日
4．4日
5．5日
6．6日
7．7日
8．特に決まっていない

問 65 表　全学年の選択肢別割合（%）

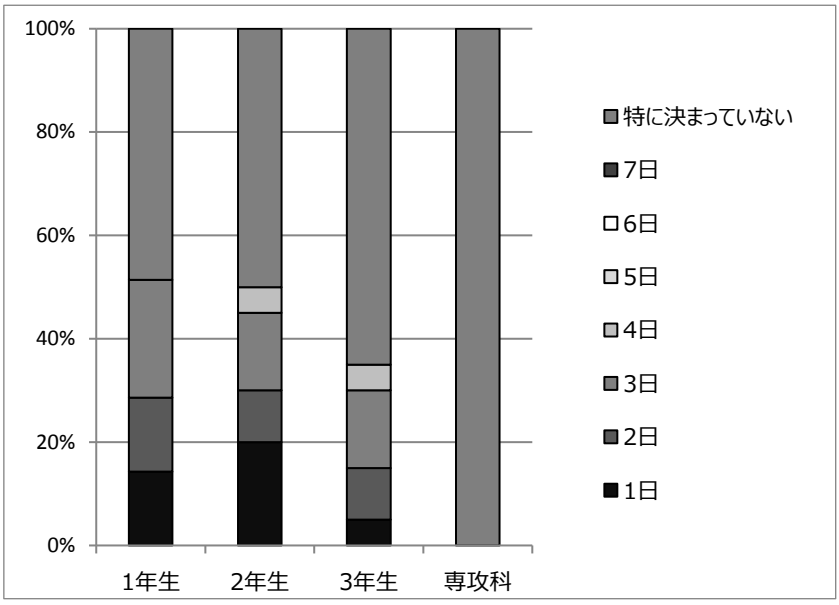
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	特に決まっていない	合計
前 回	13.33	11.11	15.56	1.11	0.00	0.00	0.00	58.89	100
今 回	12.66	11.39	17.72	2.53	0.00	0.00	0.00	55.70	100
愛知学院大学	32.05	23.46	20.50	7.03	6.51	7.92	2.22	—	99.69

この設問では，クラブ・サークルに週何日活動しているかについて回答を求めた．

全体としては，「特に決まっていない」学生が半数以上で最も多い．週「5日」以上行っている学生はいない．定期的に活動しているものでは週「1日」が多く，次いで「2日」，「3日」の順であり，「4日」はきわめて少ない．したがって，クラブ・サークルの活動日数はおおむね3日以内である．愛知学院大学の調査では「特に決まっていない」の選択肢がないためその割合は異なるもののほぼ週「1日」から「3日」の者が多く，短期大学部も同様の傾向を示している．

前回と比較すると，週「3日」，「4日」の学生が増加し，「特に決まっていない」学生が減少した．

学年別にみると「特に決まっていない」学生は，1年生 40.5%，2年生 50.0%，3年生 68.4%，専攻科 100.0%であり学年が上がるにつれて増加している．



［問６５図］ クラブ活動日数

［問 66］そのクラブ活動は１回あたり平均何時間ですか.

１．１時間未満
２．１時間～２時間未満
３．２時間～３時間未満
４．３時間～４時間未満
５．４時間以上
６．特に決まっていない

問 66 表　全学年の選択肢別割合（%）

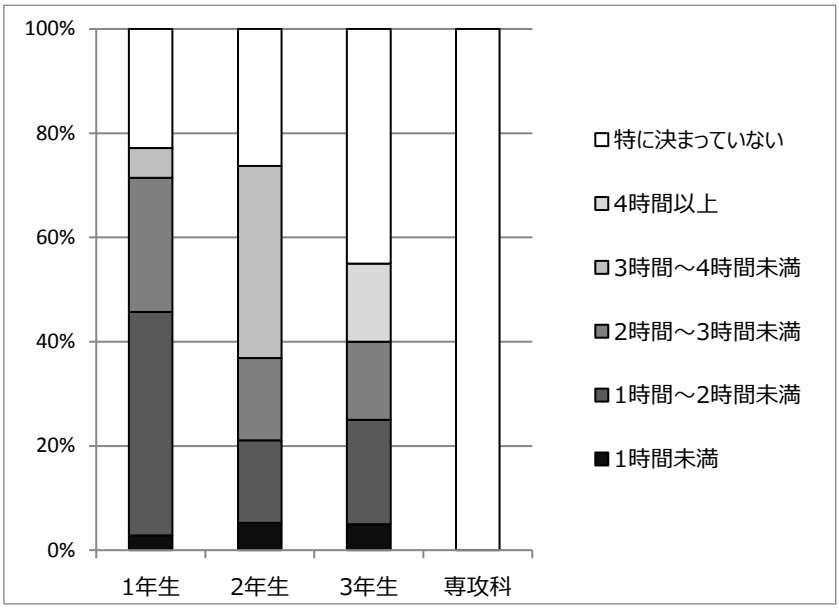
	１時間未満	１～２時間未満	２～３時間未満	３～４時間未満	４時間以上	特に決まっていない	合計
前 回	0.00	12.22	30.00	18.89	5.56	33.33	100
今 回	3.85	28.21	19.23	11.54	3.85	33.33	100
愛知学院大学	24.08		66.93		8.71	—	99.72

この設問では，クラブ・サークルの１回あたりの平均活動時間について回答を求めた.

全体としては，活動時間が「特に決まっていない」学生が最も多い．ある程度決まっている学生では，「１時間～２時間未満」が最も多く，「２時間～３時間未満」，「３時間～４時間未満」がそれに次ぐ．短期大学部は，週日午後４時 10 分まで授業・実習があるためか，「４時間以上」活動する学生は３年生に３名いるのみである.

前回と比較すると，活動時間が「２時間～３時間未満」，「３時間～４時間未満」学生が減少し，「１時間未満」，「１時間～２時間未満」の学生が増加しており，学生の活動時間が減少していると思われる．また，愛知学院大学と比較しても活動時間が少ない傾向がある.

学年別にみると，「特に決まっていない」学生は１年生 19.0%，２年生 25.0%，３年生 47.4%，専攻科 100.0%であり学年が上がるにつれて増加している．一方，決まった時間で活動している学生は学年とともに減少している.



［問 66 図］ クラブ活動１回あたりの平均時間

［問 67］クラブ活動と勉強は両立できていますか.

１．容易に両立できている
２．両立はそれほど困難ではない
３．両立はかなり困難である
４．全く両立できていない

問 67 表　全学年の選択肢別割合（%）

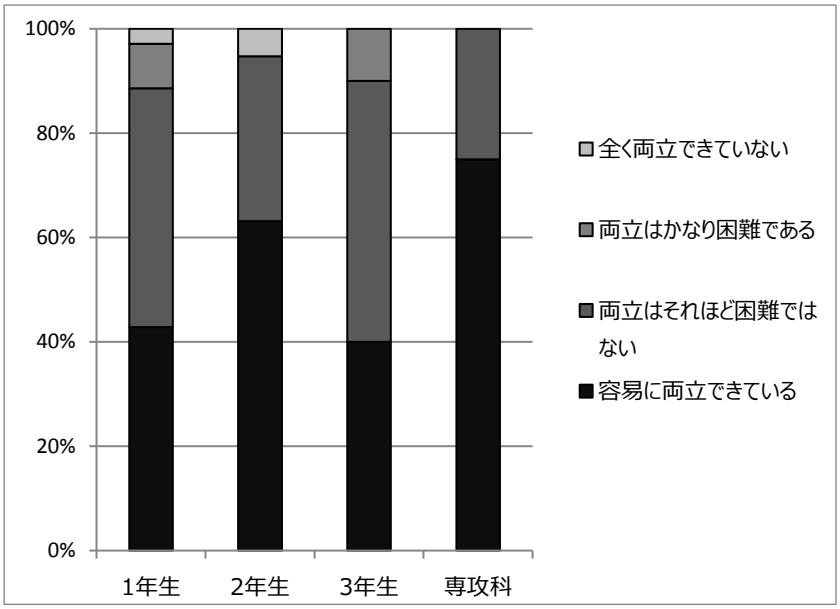
	容易に両立できている	両立はそれほど困難ではない	両立はかなり困難である	全く両立できていない	合計
前 回	37.36	52.75	8.79	1.10	100
今 回	48.72	42.31	6.41	2.56	100

この設問では，クラブ活動と勉強が両立できているかについて回答を求めた.

全体としては,「容易に両立できている」と「両立はそれほど困難ではない」の両者を合わせると９割以上の学生がクラブ活動と勉強の両立が出来ている.「両立はかなり困難である」および「全く両立できていない」学生は，全学年で７名いるのみである.

前回と比較すると,「両立できている」(「両立はそれほど困難ではない」＋「容易に両立できている」) 学生が 91.0%で，前回（90.1%）とほぼ同じであった.また,「両立できている」学生のうちでは,「容易に両立できている」学生が増加した.前回に比べ，クラブ活動日数［問 65］および平均活動時間［問 66］が減少していることから，クラブ活動に束縛されず勉強することができる環境であり，クラブ活動が勉強の妨げになっていないといえる.

学年別にみると，ほぼすべての学生が「両立できている」が１年生の 9.5%（４名），３年生の 10.5%（２名）は「両立はかなり困難である」もしくは「全く両立できていない」と回答しており，他の学年と比較するとやや多い.



［問 67 図］ クラブ活動と勉強の両立

［問 68］クラブ活動に参加しない理由は何ですか．（複数回答可）

1．勉学に打ち込むため
2．通学に時間を取られるため
3．アルバイトに時間を取られるため
4．人間関係がわずらわしいため
5．自分の興味と合うクラブがないため
6．健康上の理由で参加できない
7．経済的な理由で参加できない
8．その他

問 68 表　全学年の選択肢別割合（%）

	勉学に打ち込む	通学に時間を取られる	アルバイトに時間を取られる	人間関係がわずらわしい	自分の趣味と合うクラブがない	健康上の理由	経済的な理由	その他
前 回	25.23	26.64	50.00	10.75	42.06	1.87	6.54	12.62
今 回	20.78	28.14	56.71	8.23	36.36	0.00	2.60	5.19
愛知学院大学	23.66	29.69	32.24	—	32.24	—	—	24.26

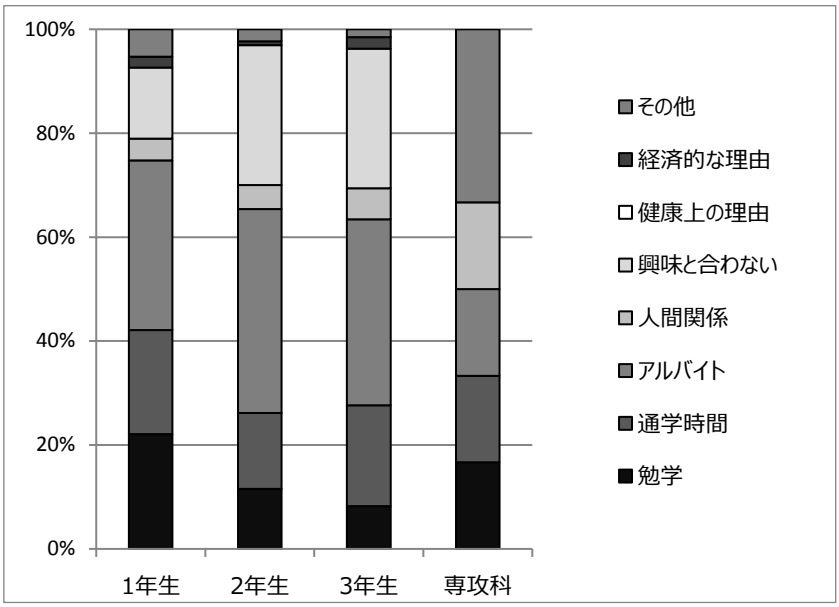
この設問では，クラブ・サークルに参加していない理由について回答を求めた．対象は［問 63］でクラブ・サークルに「所属していない」と回答した１年生 58 名，２年生 86 名，３年生 83 名，専攻科３名，全学年 230 名である．複数回答が可能であり，総回答者数は１年生 134，２年生 151，３年生 155，専攻科９，合計 449 である．図は各学年における総回答者数に対する割合を示す．

全体としては，「アルバイトに時間を取られるため」を理由にあげた学生が 50%を超えて最も多く，「自分の興味と合うクラブがないため」，「通学に時間を取られるため」、「勉学に打ち込むため」の順になった．他の選択肢は 10%以下である．「その他」の理由としては，楠元キャンパスのクラブに「魅力あるクラブ・サークルがない」，「活動がない」，「人数制限がある」など短期大学部もしくは楠元キャンパスの受け皿の問題点が挙げられた．また「参加する時間がない」といったカリキュラムとの関連も考えられた．その他「めんどうくさい」「興味がない」などの消極的な理由もあった．

前回と比較すると，「アルバイトに時間を取られるため」，が増加し，「勉学に打ち込むため」の理由が減少した．愛知学院大学比較すると「アルバイトに時間を取られるため」が多くなっている．

学年別にみると，いくつかの選択肢で学年差がみられる．「勉学に打ち込むため」が理由の学生は１年生（36.2%）で２年生（17.4%）あるいは３年生（13.3%），専攻科（14.3%）より多い．１年生の１日の平均勉強時間が２，３年生より多い［問 46］こと，現在の悩み事が「勉学の問題」である学生が，１年生で２，３年生より多い［問 51］こととも関

係している．また，「アルバイトに時間を取られるため」を選択した学生は，１年生（53.4%），２年生（59.3%），３年生（57.8%），専攻科（33.3%）で２年生の割合が多い．これは２年生のアルバイト日数［問 17］が１，３年生より多い傾向があることから裏付けられる．「自分の興味と合うクラブがないため」を理由にあげた学生は１年生 22.4%，２年生 40.7%，３年生 43.4%，専攻科 0.0%であり専攻科を除き学年が上がるにつれて増加している．「人間関係がわずらわしいため」では，１年生 6.9%，２年生 7.0%，３年生 9.6%，専攻科 0.0%と学年による差はみられない．



［問 68 図］ クラブに参加しない理由

16. ボランティア活動について

［問 69］，［問 70］はボランティア活動ついての設問である．

［問 69］ボランティア活動に参加したことがありますか．

１．ある
２．ない

問 69 表　全学年の選択肢別割合（%）

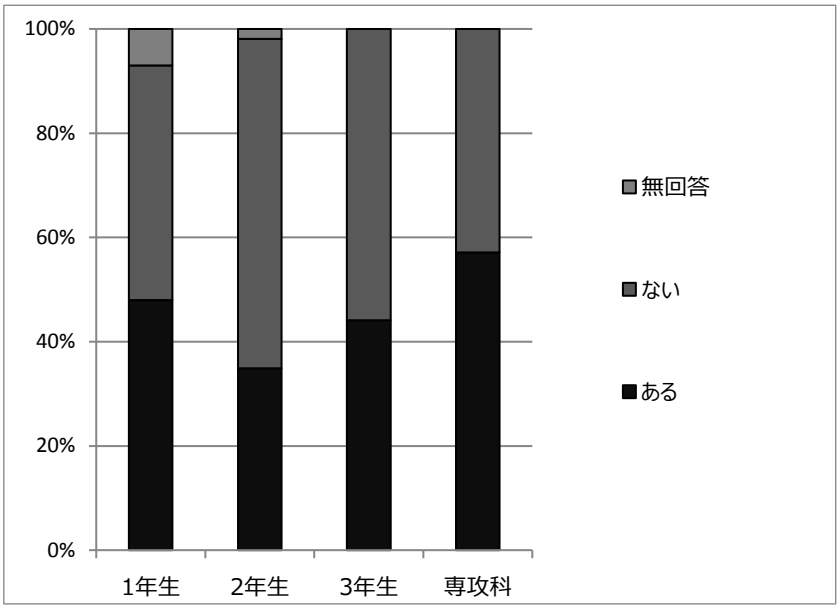
	ある	ない	合計
前 回	49.35	50.65	100
今 回	43.79	56.21	100
愛知学院大学	29.68	70.20	99.89

この設問では，ボランティア経験の有無について回答を求めた．

全体としては，ボランティア活動に参加した経験の「ある」学生と比較すると「ない」学生がやや多い．

前回と比較すると，ボランティア活動経験の「ある」学生が減少しているが，愛知学院大学と比較すると多い．

学年別にみると，ボランティア活動経験者は２年生（34.9%）が１年生（48.0%）あるいは３年生（44.1%），専攻科（57.1%）より少ない．



［問 69 図］ ボランティア経験の有無

［問 70］ボランティア活動へ参加したいと思いますか.

1．積極的に参加したい
2．どちらかというと参加したい
3．どちらともいえない
4．どちらかというと参加したくない
5．絶対参加したくない

問 70 表　全学年の選択肢別割合（%）

	積極的に参加したい	どちらかというと参加したい	どちらともいえない	どちらかというと参加したくない	絶対参加したくない	合計
前 回	4.55	32.14	39.61	21.43	2.27	100
今 回	4.92	24.26	40.66	27.87	2.30	100

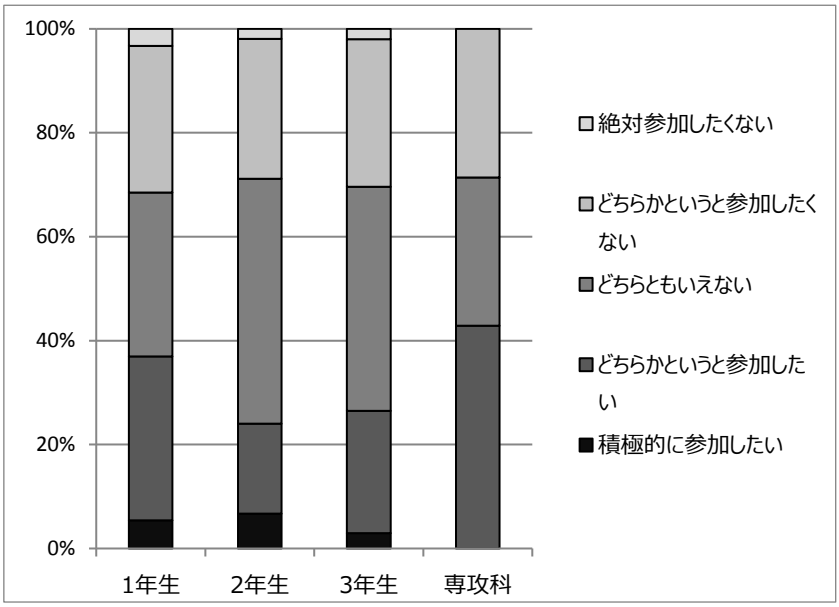
この設問では，今後ボランティア活動に参加したいかについて回答を求めた.

全体としては，「どちらともいえない」学生が最も多く，約 4 割を占める.「参加意思のある」（「積極的に参加したい」＋「どちらかというと参加したい」）学生の割合 29.2%は，「参加意思のない」（「どちらかというと参加したくない」＋「絶対参加したくない」）学生の 30.2%より少なく前回の 36.7%より減少している.

具体的にどの分野のボランティアに参加したいかを尋ねたところ，医科，歯科などの医療と関連するボランティア，海外ボランティア，震災ボランティア，清掃活動を含めた環境活動，保育，介護を含めた福祉，募金活動などであった.

前回と比較すると，「どちらともいえない」，「どちらかというと参加したくない」学生が増加した.

学年別にみると，いずれの学年も「どちらともいえない」学生が最も多いが，その割合は２年生の 46.2%あるいは３年生の 43.16%が１年生の 29.0%あるいは専攻科の 28.6%より多い．ボランティア活動への参加経験者は１年生が最も多く［問 69］,「参加意思のある」学生でも１年生（34.0%），２年生（23.6%），３年生（26.5%），専攻科（42.9%）と専攻科を除き１年生が多かった．ボランティア活動への参加経験が，その後の参加意思を促すと思われる.



［問 70 図］ ボランティアへの参加意思

17. 卒業後の進路について

［問 71］，［問 72］は卒業後についての設問である．

［問 71］卒業後の進路についてお答えください．

1．就職する（定職）
2．専攻科に進学する
3．海外に留学する
4．各種学校などに行く
5．定職につかない（フリーターを含む）
6．まだわからない
7．その他

問 71 表　全学年の選択肢別割合（%）

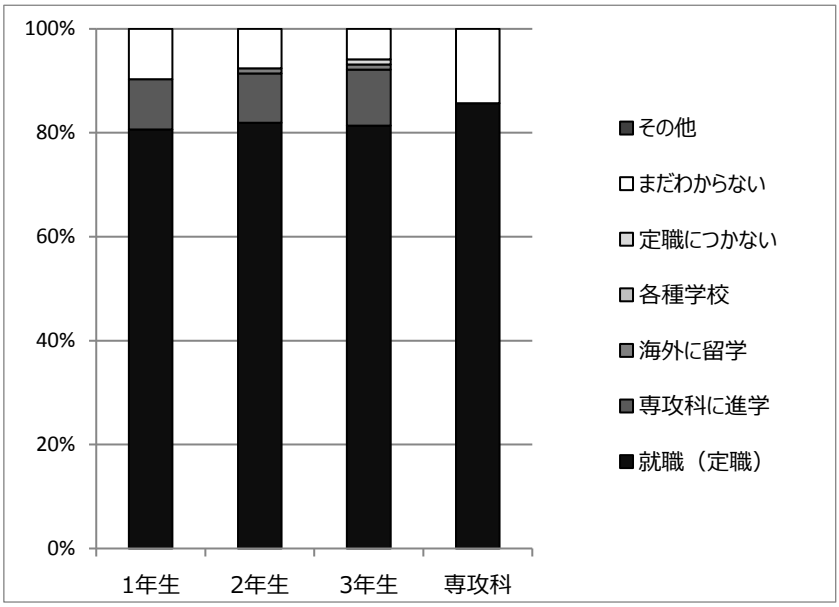
	就職する	専攻科に進学する	海外に留学する	各種学校などに行く	定職につかない	まだわからない	その他	合計
前 回	76.77	10.32	0.32	0.00	0.00	11.94	0.65	100
今 回	81.43	9.77	0.65	0.00	0.33	7.82	0.00	100

この設問では，卒業後の進路予定について回答を求めた．

全体としては，ほとんどの学生が卒業後「就職する（定職）」予定である．「就職する（定職）」学生にくらべきわめて少数であるが，「専攻科に進学する」および「まだわからない」学生がほぼ同じ割合でいる．他の選択肢は「両立定職につかない（フリーターを含む）」，「海外に留学する」にそれぞれ１名および２名いる．

前回と比較すると，「専攻科に進学する」と「まだわからない」学生の割合がやや減少している．

学年別に比較すると，いずれの学年も「就職する（定職）」学生が圧倒的に多いが，その割合は１年生（75.0%），２年生（81.1%），３年生（81.4%），専攻科（85.7%）で学年があがるにつれてやや増加した．「専攻科に進学する」学生は１年生 9.0%，２年生 9.4%，３年生 10.8%であり，学年間に差がなく，入学時より進学の意思を持っている可能性がある．「まだわからない」学生が１年生 9.0%，２年生 7.5%，３年生 5.9%，専攻科 14.3%であり専攻科を除き学年が上がるにつれて徐々に減少する．



［問 71 図］ 卒業後の進路

［問 72］あなたはどのようなタイプの社会人になりたいと思いますか．（３つまで選択可）

１．全力で仕事をし，地位を目指すタイプ
２．社会貢献を目指すタイプ
３．仕事に生き甲斐を見つけるタイプ
４．仲間の皆に親しまれるタイプ
５．私生活を楽しむタイプ
６．わからない

問 72 表　全学年の選択肢別割合（%）前回は 3 つまで選択可，今回は 1 つのみ選択

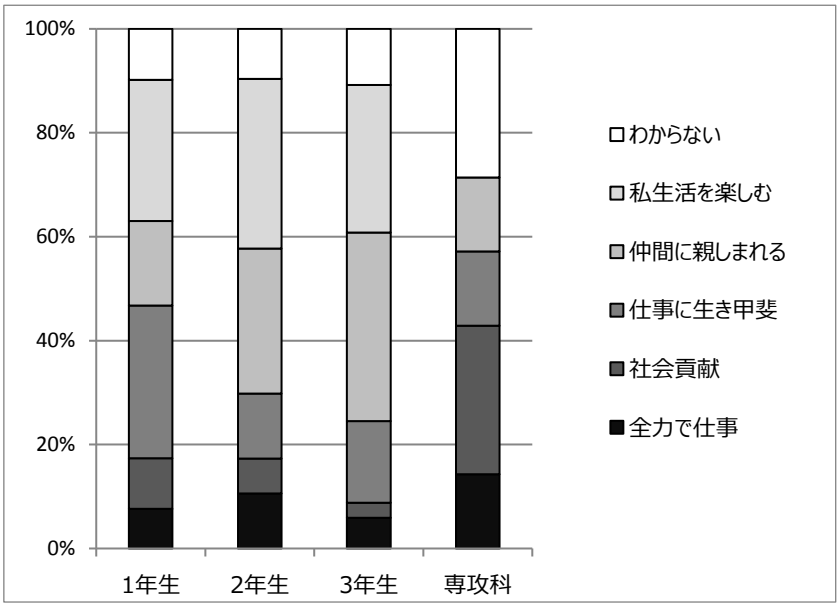
	全力で仕事をし，地位を目指す	社会貢献を目指す	仕事に生き甲斐を見つける	仲間の皆に親しまれる	私生活を楽しむ	わからない	合計
前 回	4.53	8.09	24.27	33.33	24.60	5.18	100
今 回	8.20	6.89	18.69	26.89	28.85	10.49	100

この設問では，将来どのようなタイプの社会人になりたいかについて回答を求めた．

全体としては，「私生活を楽しむタイプ」，次いで「仲間の皆に親しまれるタイプ」が多く５割以上を占めた．続いて「仕事に生き甲斐を見つけるタイプ」が約２割，「全力で仕事をし，地位を目指すタイプ」，「社会貢献を目指すタイプ」を目指す学生は少なかった．

前回と比較すると，なりたい社会人のタイプの傾向は同じであるが「私生活を楽しむタイプ」がやや増加し「仲間の皆に親しまれるタイプ」がやや減少した．

学年別にみると，「仲間の皆に親しまれるタイプ」になりたい学生は，１年生(15.0%)，２年生(27.4%)，３年生(36.3%)，専攻科（14.3%）で専攻科を除き学年が上がるにつれて増加した．一方，「仕事に生き甲斐を見つけるタイプ」は１年生（27.0%），２年生（12.3%），３年生（15.1%），専攻科（14.3%）で１年生が多くなっている．



［問 72 図］ なりたい社会人のタイプ

18. 大学施設・各種サービスなどに対する満足度

［問 73］～［問 83］は，今回新たに設けた設問であり，大学における施設や設備・福利厚生・各種活動やサービスの満足度についての設問である．

［問 73］教育施設・設備（教室・実習室・図書館・情報機器）

1．十分満足
2．やや満足
3．ふつう
4．やや不満
5．全く不満

問 73 表　全学年の選択肢別割合（%）

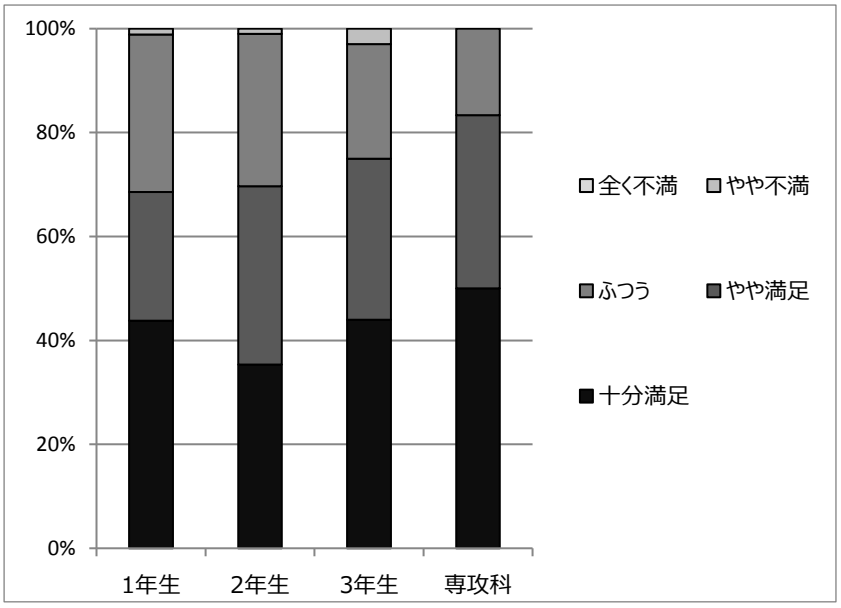
	十分満足	やや満足	ふつう	やや不満	全く不満	合計
前 回	36.81	29.64	29.97	3.26	0.33	100
今 回	41.16	30.27	26.87	1.70	0.00	100

この設問では，教育施設・設備（教室・実習室・図書館・情報機器）の満足度について回答を求めた．

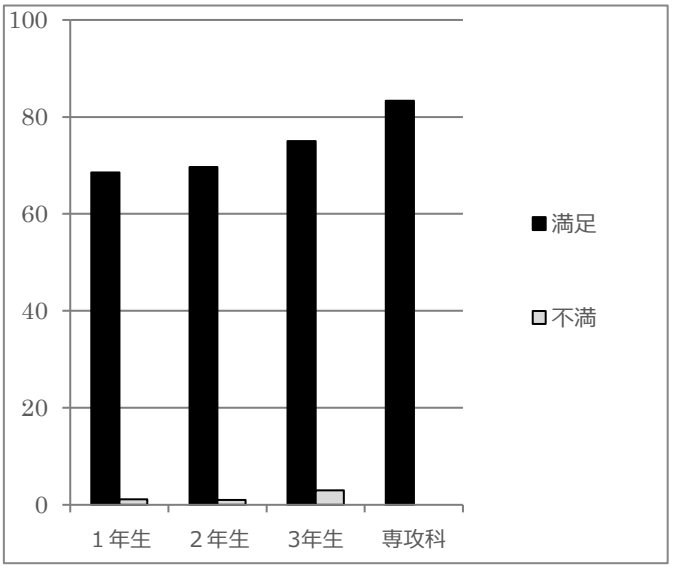
全体としては，「十分満足」と回答した学生が最も多く，次いで「やや満足」，「ふつう」の順であった．肯定的意見の「満足」（「十分満足」＋「やや満足」）（以下［問 83］まで同様）している学生の割合 71.4%は，「不満」（「やや不満」＋「全く不満」）（以下［問 83］まで同様）の 1.7%より圧倒的に多い． 2014 年に短大棟が完成し教育施設が一新されてから大幅に満足が増加しているが，さらに今回その差が拡大したのは，さらに短期大学部の施設・設備の運用によるものと思われる

学年別にみると（図 73-a,b），「満足」している学生は１年生 68.5%，２年生 69.7%，３年生 75.0%，専攻科 83.3%であり，学年があがるにつれて増加した．「やや不満」な学生では１年生１名，２年生１名，３年生３名，専攻科０名で「全く不満」と答えた学生はいなかった．

［問 73］から［問 83］においては，関連する内容で，日頃感じていることや要望，その理由を回答する自由記入欄を設けた．施設は不明であるが「開館時間が短い。利用したい時にあいていない」という意見があった。また，歯学部附属病院に関する内容として「病院内が暑い。」，「大学病院の更衣室があつすぎて、気分が悪くなりそう（特に昼休み時）」など，特に学生ロッカールームに関する意見が多かった．また，新校舎への不満（「エレベーターがほしい。使いたい」，「空調がつかないことが不満。休日も自由につけれるようにしてほしい。」など）や，「体育館が暑い。」との意見もあった．



［問 73－a 図］ 教育施設・設備に対する満足度



［問 73－b 図］ 満足度の比較（%）

［問 74］課外活動施設（グラウンド・体育館等）

1．十分満足
2．やや満足
3．ふつう
4．やや不満
5．全く不満

問 74 表　全学年の選択肢別割合（%）

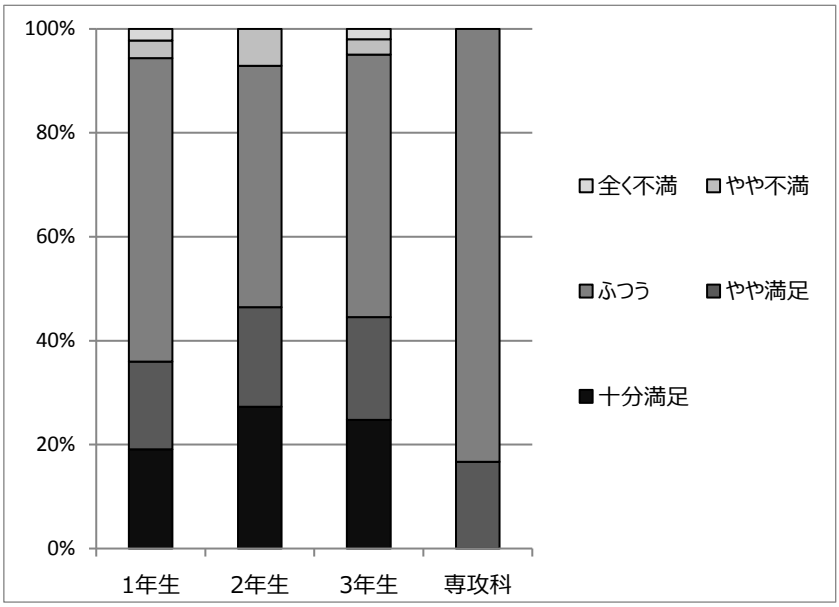
	十分満足	やや満足	ふつう	やや不満	全く不満	合計
前 回	16.99	12.42	57.84	9.15	3.59	100
今 回	23.39	18.64	52.20	4.41	1.36	100

この設問では，課外活動施設（グラウンド・体育館等）の満足度について回答を求めた．

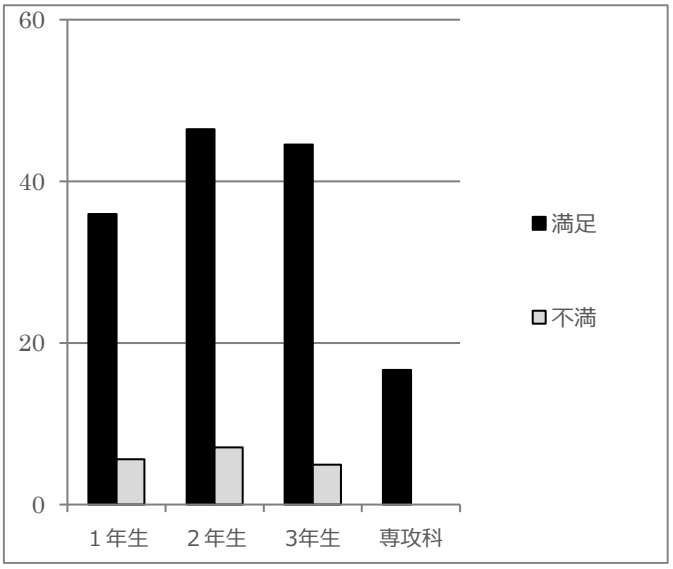
全体としては，学内の運動部に所属している学生の割合が 7.8%と少ない［問 63］ためか，「ふつう」と回答した学生が半数以上を占め，積極的意見は少ない．積極的意見では，「満足」（「十分満足」＋「やや満足」）な学生 42.0%が「不満」（「やや不満」＋「全く不満」）5.8%より多い．

前回と比較すると，「満足」の学生が増加し，「ふつう」と「不満」が減少していた．

学年別に比較すると，「学内の運動部に所属している」学生は１年生（12.0%），２年生（4.7%），３年生（6.9%），専攻科（0.0%）［問 63］と比較すると少なく，実際にはほとんど使用していない学生が多い２年生で満足度がやや高いが、満足度の学年間の違いは専攻科を除き，大きな違いはみられない．



［問 74－a 図］ 課外活動施設に対する満足度



［問 74－b 図］ 満足度の比較（%）

［問 75］学内福利厚生施設（食堂・学生ホール・保健室）

１．十分満足
２．やや満足
３．ふつう
４．やや不満
５．全く不満

問 75 表　全学年の選択肢別割合（%）

	十分満足	やや満足	ふつう	やや不満	全く不満	合計
前 回	14.66	24.43	40.72	17.92	2.28	100
今 回	24.15	26.53	42.18	6.46	0.68	100

この設問では，学内福利厚生施設（食堂・学生ホール・保健室）の満足度について回答を求めた．

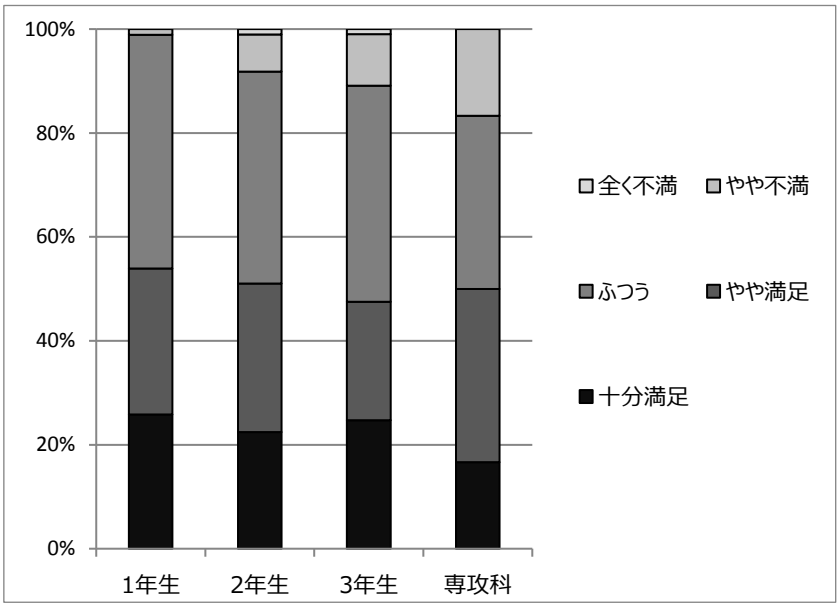
１，２年生が通学する楠元キャンパスには，短大棟にマグネットラウンジ，４号館食堂，薬学部１階学生ホールとコンビニ，歯学部基礎教育研究棟に保健室があり，いずれも楠元キャンパス共有施設である．また，３年生が主に通学する歯学部附属病院には食堂がある．

全体としては，約４割の学生が「ふつう」と回答した．肯定的意見では，「満足」している学生の割合 50.7%が「不満」の 7.1%より多い．

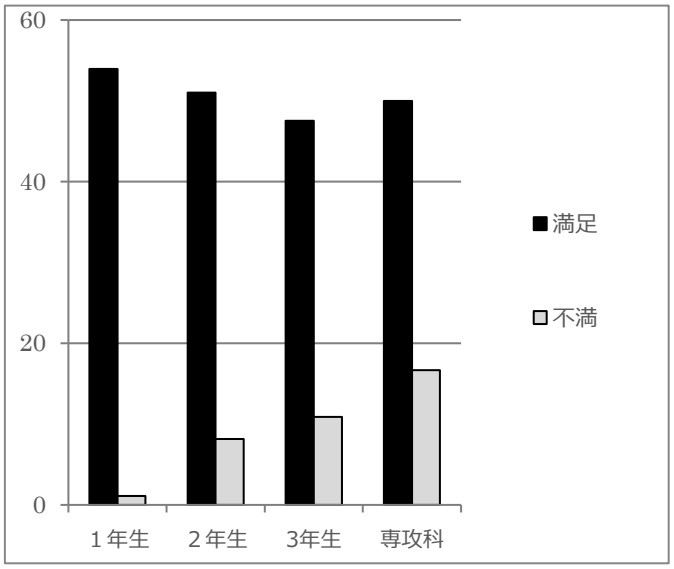
前回と比較すると，「満足」が増加し，不満」が減少している．

学年別に比較すると，１年生では，「満足」している学生の割合 53.9%が「不満」な 1.1%を大きく上回る．高校よりは食堂・学生ホールが充実していると思っているのかもしれない．２年生では，「満足」51.0%，「不満」8.2%であり．主に附属病院へ通う３年生では「満足」47.5%，「不満」10.9%，専攻科は「満足」50.0%，「不満」16.7%となり，学年が上がるにつれて満足度が低下している．

具体的な意見としては，「「附属病院の食堂メニューが少ないのと味」，「食堂のイスを増やしてほしい。」，「食堂は料金は高いが量は少ない。売店の商品がもう少し充実しても良いと思う。」などの意見が寄せられた．



［問 75－a 図］ 学内福利施設に対する満足度



［問 75－b 図］ 満足度の比較（%）

［問 76］学外福利厚生施設（セミナーハウス・附属病院等）

1．十分満足
2．やや満足
3．ふつう
4．やや不満
5．全く不満

問 76 表　全学年の選択肢別割合（%）

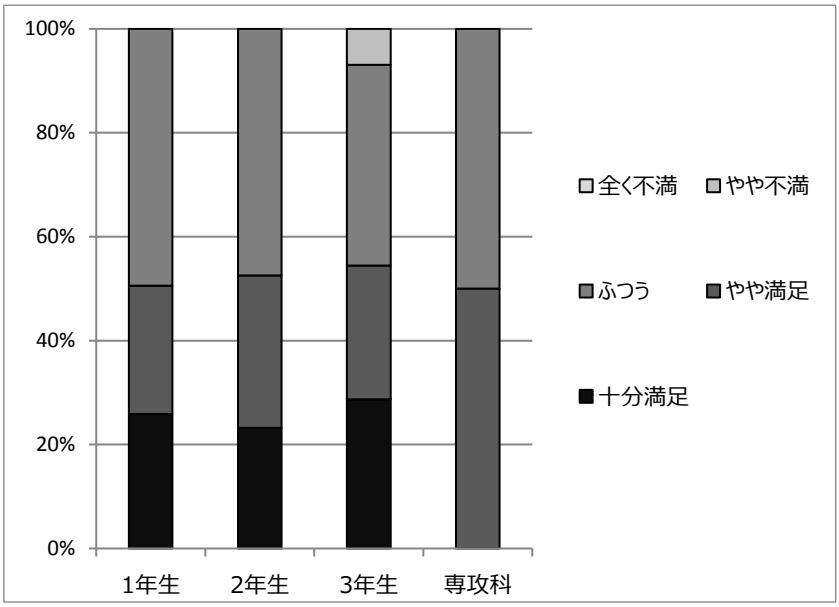
	十分満足	やや満足	ふつう	やや不満	全く不満	合計
前 回	17.70	18.36	57.70	4.92	1.31	100
今 回	25.42	27.12	45.08	2.37	0.00	100

この設問では，学外福利厚生施設（セミナーハウス・附属病院等）の満足度について回答を求めた．

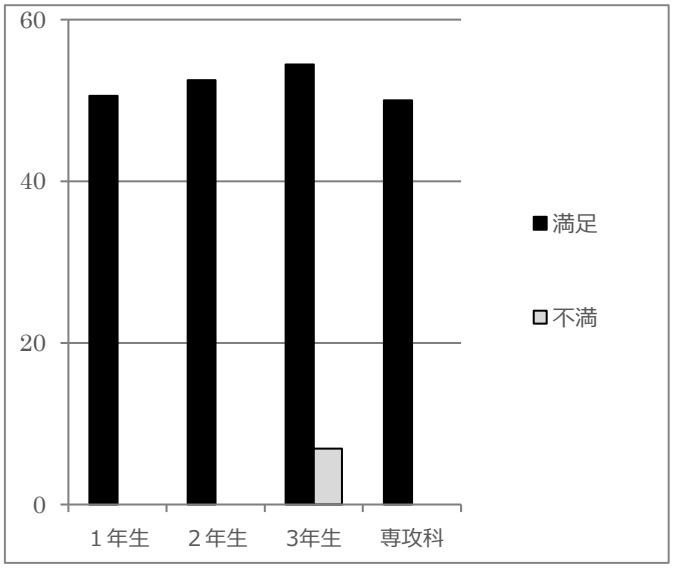
全体としては，本学科の学生がセミナーハウスを利用しているとは思われないためか，「ふつう」と回答した学生が６割弱を占めている．肯定的意見では，「満足」している学生の割合 52.5%が「不満」の 2.4%より多い．

前回と比較すると，肯定的な意見が増加した．また，「全く不満」はいなかった．

学年別に比較すると，いずれの学年も「満足」している学生が多く，とくに「不満」な学生は３年生にのみ 6.9%（７名）いる．歯学部附属病院へ実習先として通う３年生や専攻科は，附属病院を福利厚生施設としてではなく，教育施設として捉え，それに対する満足度を回答した可能性がある．



［問 76－a 図］ 学外福利施設に対する満足度



［問 76－b 図］ 満足度の比較（%）

［問 77］スポーツ活動（クラブ関係含む）

１．十分満足
２．やや満足
３．ふつう
４．やや不満
５．全く不満

問 77 表　全学年の選択肢別割合（%）

	十分満足	やや満足	ふつう	やや不満	全く不満	合計
前 回	12.87	8.25	66.67	8.91	3.30	100
今 回	19.11	15.70	60.41	4.44	0.34	100

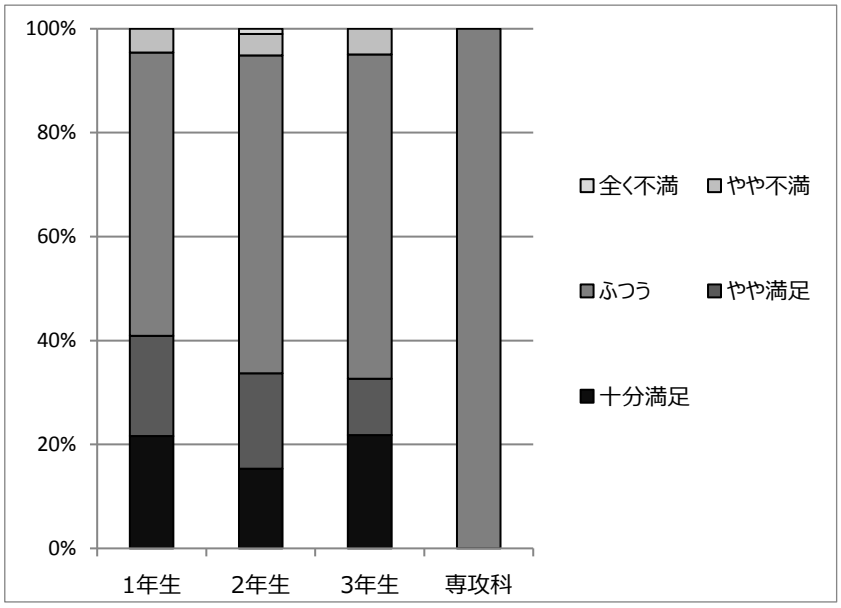
この設問では，スポーツ活動（クラブ関係含む）の満足度について回答を求めた．

全体としては，学内の運動部に所属している学生は１割に満たず［問 63］，しかも，短期大学部ではスポーツ活動を積極的に行っていないためか，「ふつう」と回答した学生が６割以上を占め，積極的意見は少ない．積極的意見では，「満足」している学生の割合 34.8%は「不満」な学生の 4.8%より多い．「満足」と回答した学生のなかには，カリキュラムが過

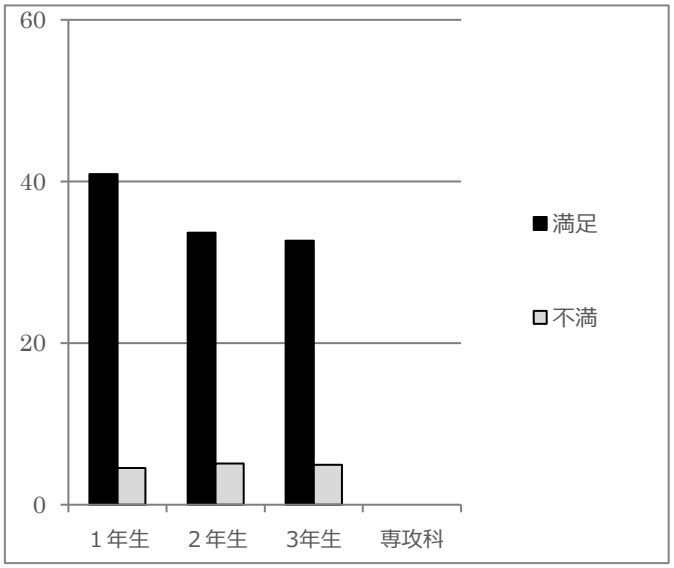
密であり，資格取得を目指した学科であるため，スポーツ活動に関心を持っている学生が少ないと思われる．

前回と比較すると，「ふつう」と回答した学生が減少し，より積極的意見が増加した．とくに「満足」している学生が増加した．

学年別に比較すると，１年生「満足」(40.9%)，「不満」(4.6%)，２年生「満足」(33.7%)，「不満」(5.1%)，３年生「満足」(32.7%) が「不満」(5.0%)，専攻科「満足」(0.0%)，「不満」(0.0%) と専攻科を除くいずれの学年においても「満足」が「不満」を上回っていたが，満足度は学年が進むに従い減少していた．



［問 77－a 図］ スポーツ活動に対する満足度



［問 77－b 図］ 満足度の比較（%）

［問 78］文化活動（楠元祭関係含む）

１．十分満足
２．やや満足
３．ふつう
４．やや不満
５．全く不満

問 78 表　全学年の選択肢別割合（%）

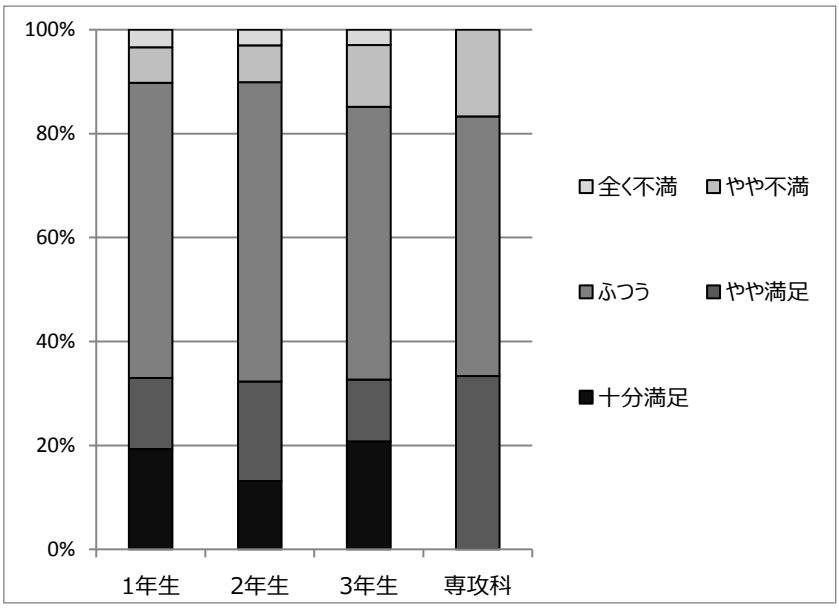
	十分満足	やや満足	ふつう	やや不満	全く不満	合計
前 回	8.52	6.56	58.69	17.38	8.85	100
今 回	17.35	15.31	55.44	8.84	3.06	100

この設問では，文化活動（楠元祭関係含む）の満足度について回答を求めた．

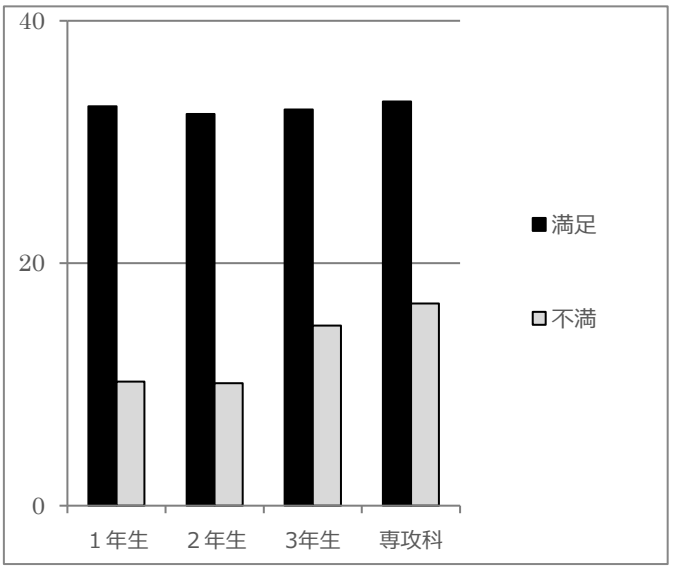
全体としては，学内の文化部に所属している学生は１割程度［問 63］で，しかも，本学科では，文化活動は楠元祭以外とくに行っておらず文化活動を体験する機会が少ない．そのため「ふつう」と回答した学生が半数以上を占め，積極的意見は少ない．しかし積極的意見では，「満足」の 32.7%は「不満」な学生の割合 11.9%より多く満足度は高いといえる．

前回と比較すると，「満足」と回答した学生が増加し，「不満」な学生の割合が減少した．これらの積極的意見は，主に楠元祭に対するものと思われるが，楠元祭は歯学部，薬学部と共催で行われ，本学科からの企画，模擬店はわずかで，参加する学生も決して多くはないが，2018 年度は短期大学部が主管として関わったことが満足度を高めた可能性がある．

学年別に比較すると，「満足」している学生（１年生 33.0%，２年生 32.3%，３年生 32.7%，専攻科 33.3%）に学年間の違いは認められず，「不満」な学生（１年生 10.2%，２年生 10.1%，３年生 14.9%，専攻科 16.7%）は学年とともにやや増加している．



［問 78－a 図］ 文化活動に対する満足度



［問 78－b 図］ 満足度の比較（%）

［問 79］就職対策

１．十分満足
２．やや満足
３．ふつう

４．やや不満
５．全く不満

問 79 表　全学年の選択肢別割合（%）

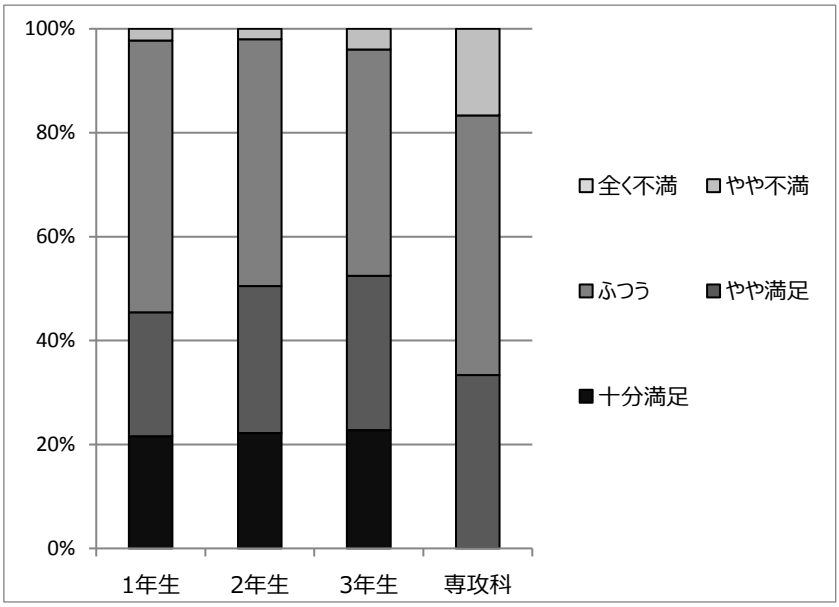
	十分満足	やや満足	ふつう	やや不満	全く不満	合計
前 回	16.12	13.82	63.49	5.92	0.66	100
今 回	21.77	27.55	47.62	3.06	0.00	100

この設問では，就職対策の満足度について回答を求めた．

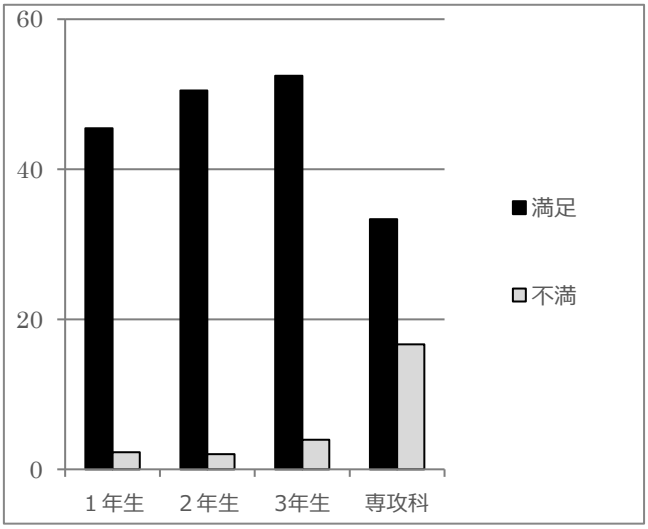
全体としては，就職は１，２年生にとって差し迫った問題でなく，また，ほとんどの３年生も具体的な就職活動を行う時期ではないためか，「ふつう」と回答した学生が約５割を占め，積極的な意見は少ない．積極的意見では，「満足」している学生の割合 49.3%が「不満」の 3.2%より圧倒的に多い．

前回と比較すると，「ふつう」と回答した学生が減少し，より積極的意見とくに「満足」な学生の割合が増加した．

学年別に比較すると，「満足」している学生の割合は１年生 45.5%，２年生 50.5%，３年生 52.5%，専攻科 33.3%と専攻科を除き学年が上がるにつれて微増する，「不満」な学生は１年生 2.3%，２年生 2.0%，３年生 4.0%，専攻科 16.7%と学年が進むにしたがいやや増加する．３年生の多くは，調査時には積極的な就職活動をまだ行っていない者が多いと思われるが，就職活動に向けた不安がある可能性がある．また，専攻科への就職対策は積極的に行う必要がある．



［問 79－a 図］ 就職対策に対する満足度



［問 79－b 図］ 満足度の比較（%）

［問 80］分煙・禁煙の徹底

１．十分満足
２．やや満足
３．ふつう
４．やや不満
５．全く不満

問 80 表　全学年の選択肢別割合（%）

	十分満足	やや満足	ふつう	やや不満	全く不満	合計
前 回	13.40	12.42	45.10	16.67	12.42	100
今 回	17.01	16.67	47.28	13.95	5.10	100

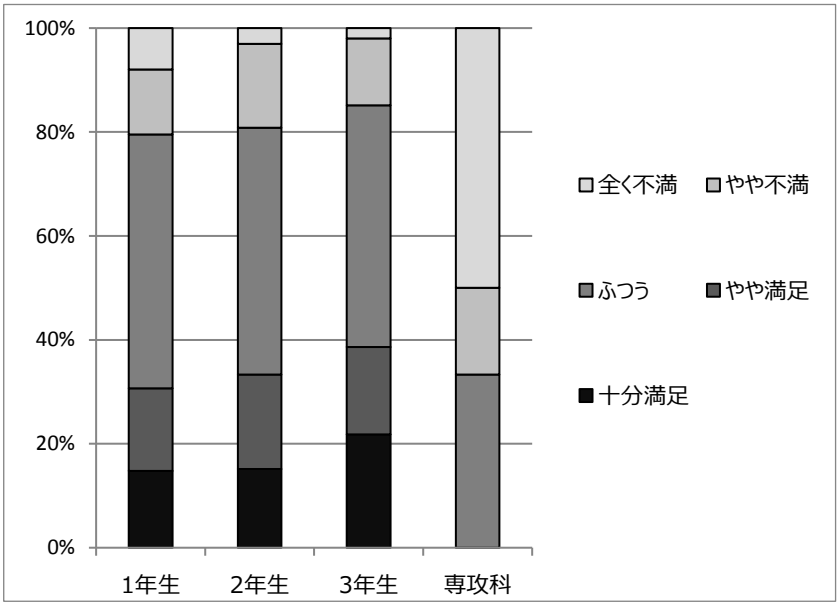
この設問では，分煙・禁煙の徹底に対する満足度について回答を求めた．

全体としては，約半数の学生が積極的意見を回答し，「満足」している学生 33.7%が「不満」な学生 19.1%がより多い．ほとんどの学生は喫煙していない［問 33］ため，分煙対策に関心のない者が多いが，不満を持っている学生が２割近くいる．健康増進法による敷地内全面禁煙に向けた国の施策により本学もその対策後には不満は解消されると思われる．

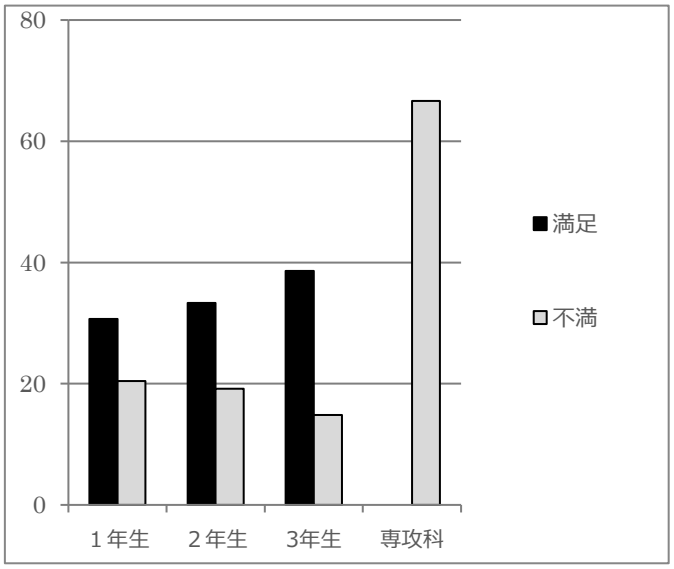
前回と比較すると，「ふつう」と回答した学生がやや増加し，より積極的意見とくに「満足」な学生の割合が増加した．

学年別に比較すると，「ふつう」と回答した学生は，附属病院に通学する３年生は 46.1%で楠元キャンパスに通学する１，２年生（それぞれ 43.0%，44.3%）および専攻科（28.6%）よりもやや多い．積極的意見は，いずれの学年も「満足」している学生が「不満」な学生より多く，また，「満足」，「不満」とも，１年生（それぞれ 30.7%，20.5%），２年生（それぞれ 33.3%，19.2%），３年生（それぞれ 38.6%，14.9%），専攻科（それぞれ 0.0%，66.7%）と専攻科を除き学年による違いはみられない．

分煙・禁煙の徹底については，大学施設・各種サービスに対する満足度を尋ねた［問 73］から［問 83］の設問のうちで，多くの意見が寄せられた設問である．具体的には，楠元キャンパスの薬学部・短期大学部通用門の脇に喫煙所が設けられていることに対しての不満（４件）であり，門の横に設置された喫煙所に関する内容で「喫煙する人のけむりがくさい。他の所に喫煙所を作ってほしい。」，「学生の喫煙が目立ち、不快だ。」，「門の近くに喫煙スペースがあり毎日通るのでけむたい。」などの意見が最も多かった．



［問 80－a 図］ 分煙・禁煙の徹底に対する満足度



［問 80－b 図］ 満足度の比較（%）

［問 81］奨学金制度

1．十分満足
2．やや満足
3．ふつう
4．やや不満
5．全く不満

問 81 表　全学年の選択肢別割合（%）

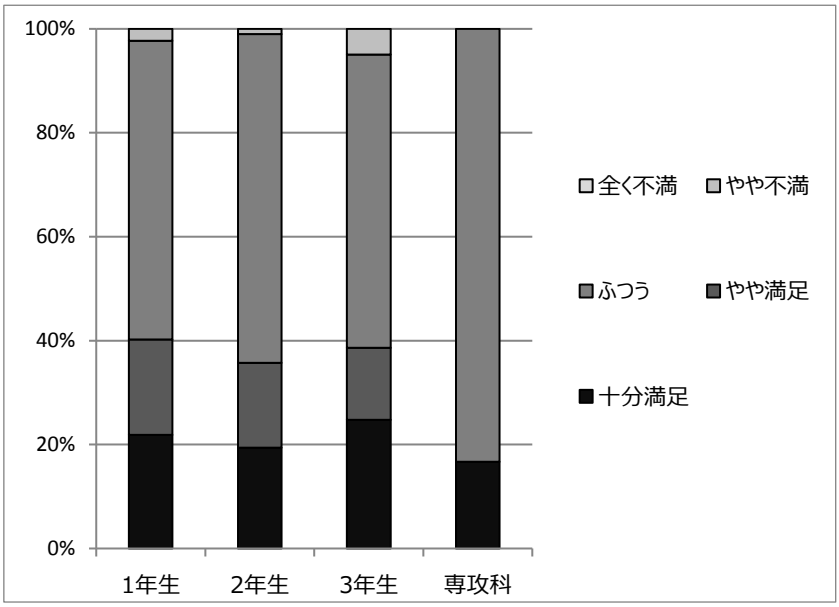
	十分満足	やや満足	ふつう	やや不満	全く不満	合計
前 回	14.85	16.17	64.03	4.62	0.33	100
今 回	21.92	15.75	59.59	2.74	0.00	100

この設問では，奨学金制度の満足度について回答を求めた．

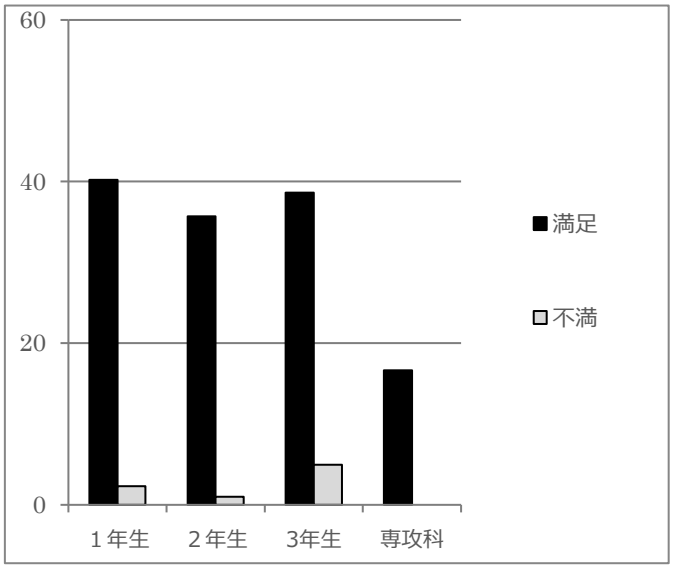
全体としては,，授業料などの学費を奨学金で払っている（「全額奨学金で払っている」＋「全額ではないが，半分以上奨学金で払っている」）学生の割合は 15.0%［問 14］で，他の学生は奨学金を受けていないためか「ふつう」と回答した学生が約６割を占め，積極的意見は少ない．積極的意見では，「満足」している学生の割合 37.7%が「不満」の 2.7%よりも圧倒的に多い．日本学生支援機構奨学生制度の他に愛知学院独自の奨学金制度があることが，満足度の高い要因かもしれない．

前回と比較すると，「ふつう」と回答した学生が減少し，より積極的意見とくに「満足」な学生の割合が増加した．

学年別に比較すると，いずれの学年も「満足」している学生が「不満」な学生より多く，また，「満足」している学生は，１年生（40.3%），２年生（35.7%），３年生（38.6%），専攻科（16.7%）と１年生が最も多い．一方「不満」な学生は１年生（2.3%），２年生（1.0%），３年生（5.0%），専攻科（0.0%）と 3 年生に多い．



［問 81－a 図］ 奨学金に対する満足度



［問 81－b 図］ 満足度の比較（%）

［問 82］事務サービス

1．十分満足
2．やや満足
3．ふつう
4．やや不満
5．全く不満

問 82 表　全学年の選択肢別割合（%）

	十分満足	やや満足	ふつう	やや不満	全く不満	合計
前 回	11.48	11.15	56.72	14.43	6.23	100
今 回	24.83	18.37	54.08	2.38	0.34	100
愛知学院大学	16.19		71.87	11.83		99.89

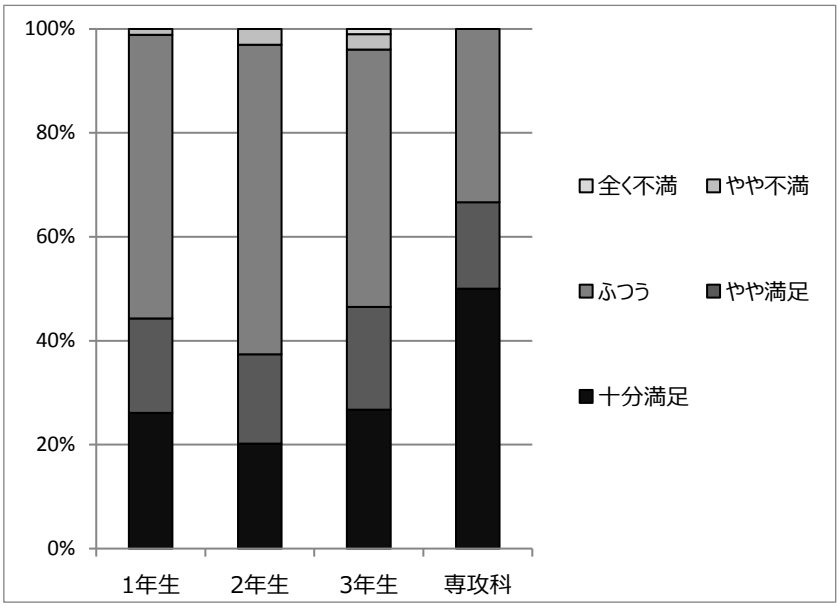
この設問では，事務サービスの満足度について回答を求めた．

全体としては，半数以上の学生が「ふつう」と回答した．積極的な回答では，「満足」の 43.2%が「不満」な学生の割合 2.7%より多く，愛知学院大学と比較して満足度が高い．

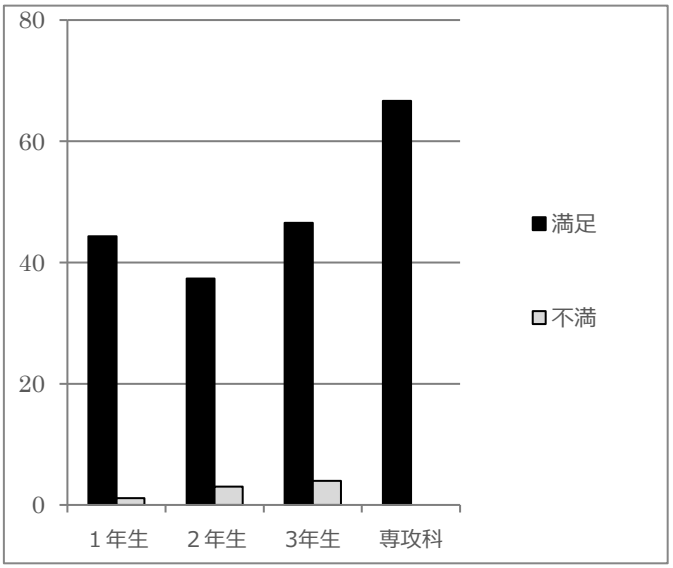
前回と比較すると,「満足」な学生の割合が増加した. 今回,「満足」が 22.6%からに 43.2%に倍増し,「不満」が 20.7%から 2.7%に激減し，事務サービスの満足度が向上した.

学年別に比較すると，１年生は「満足」(44.3%) と「不満」(1.1%)，２年生は「満足」(37.4%) と「不満」(3.0%)，３年生は「満足」(46.5%) と「不満」(4.0%)，専攻科は「満足」(66.7%) と「不満」(0.0%) であり，専攻科を除く学年間の違いはみられない.

事務サービスに対する満足度についての具体的意見では,「事務の態度が悪い。不快」との意見が寄せられた.



［問 82－a 図］ 事務サービスに対する満足度



［問 82－b 図］ 満足度の比較（%）

［問 83］国際交流

１．十分満足
２．やや満足
３．ふつう
４．やや不満
５．全く不満

問 83 表　全学年の選択肢別割合（%）

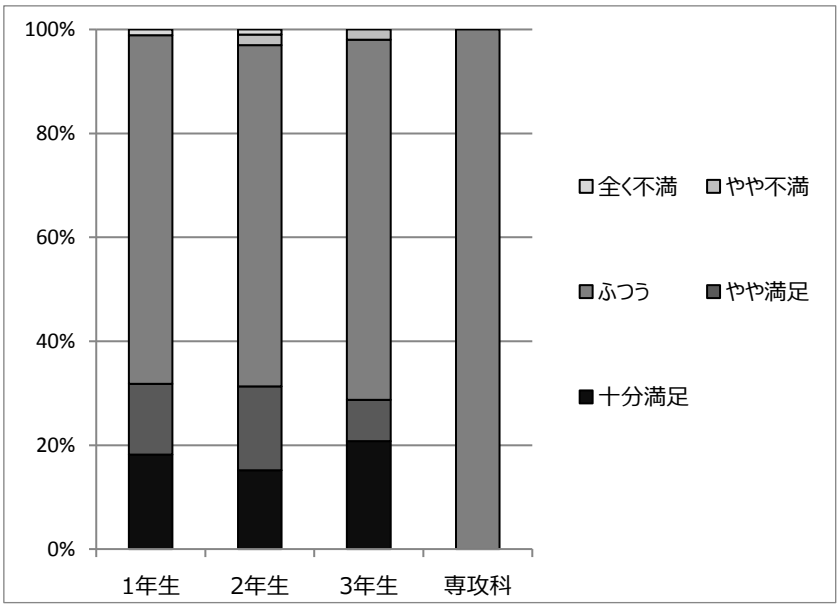
	十分満足	やや満足	ふつう	やや不満	全く不満	合計
前 回	10.86	9.87	71.71	5.92	1.64	100
今 回	17.69	12.24	68.03	1.36	0.68	100

この設問では，国際交流の満足度について回答を求めた．

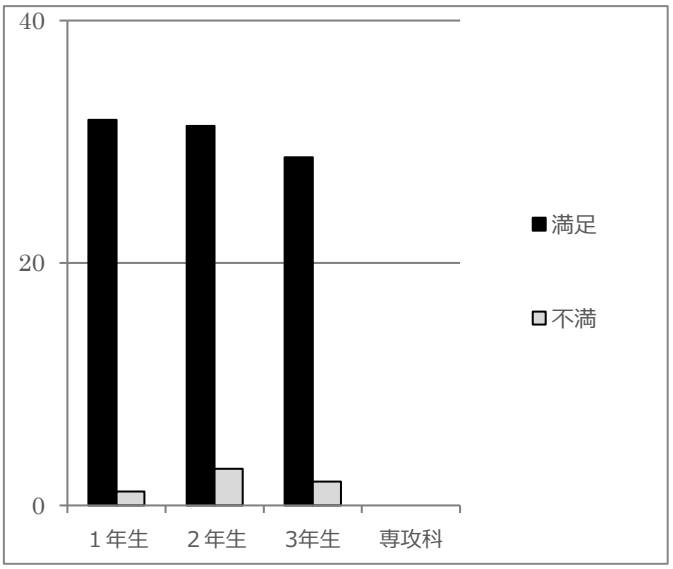
全体としてみると，本学科では，海外語学研修，学内での異文化交流・スキルアップあるいは海外留学制度などの国際交流はほとんど行っていないためか約 7 割の学生が「ふつう」と回答し，［問 73］から［問 83］のうち，最も積極的意見が少ない設問であった．積極的意見では，「満足」している学生の割合 29.9%が「不満」の 2.0%より多い．

前回と比較すると，「ふつう」と回答した学生が減少し，より積極的意見とくに「満足」な学生の割合が増加した．

学年別に比較すると，いずれの学年も「満足」している学生（1 年生 31.8%，2 年生 31.3%，3 年生 28.7%，専攻科 0.0%）が「不満」な学生（順に 1.1%，3.0%，2.0%，0.0%）より多いが，学年が上がるにつれてやや満足度が下がる．



［問 83－a 図］ 国際交流に対する満足度



［問 83－b 図］ 満足度の比較（%）

［問 84］最近の世界同時不況はあなたの学生生活にどのような影響を与えていますか.

1．親の仕送りが減少した
2．アルバイト先の時給が下がった
3．将来に希望が持てなくなった
4．何の影響もない
5．その他

問 84 表　全学年の選択肢別割合（%）

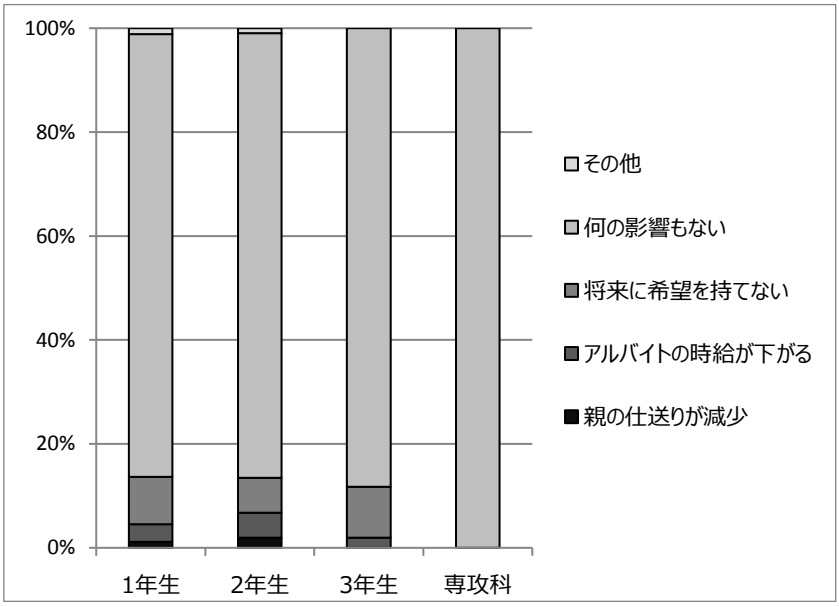
	親の仕送りが減少した	アルバイト先の時給が下がった	将来に希望が持てなくなった	何の影響もない	その他
前 回	0.94	2.51	7.52	85.58	1.57
今 回	1.03	3.42	8.56	89.38	0.68

この設問は，世界同時不況が学生生活にどのような影響を与えているかについて回答を求めた．３つまで選択が可能であり，回答者数は１年生 101，２年生 109，３年生 107，専攻科７，合計 324 である． 図は各学年における総選択肢数に対する割合を示す.

全体としてみると，約９割の学生が「何の影響もない」と回答した．与えている影響では「将来に希望が持てなくなった」学生が最も多く，次いで「アルバイト先の時給が下がった」であり，「親の仕送りが減少した」はわずかである.

前回と比較すると，「何の影響もない」と回答した学生が増加し，「将来に希望が持てなくなった」，「アルバイト先の時給が下がった」などマイナスの影響を感じている学生はやや増加した.

学年別に比較すると，「何の影響もない」学生は，１年生（75.0%），２年生（84.0%），３年生（88.2%），専攻科（100.0%）と学年が上がるにつれてやや増加している.



［問 84 図］世界同時不況の影響

［問 85］その他学生生活全般について意見・要望などがありましたら自由に書いて下さい.

この設問は［教育面］，［設備面］，［生活面］について自由記入で回答を求めた．しかし，記入された意見・要望は，授業や学習についての設問［問 35～39］において「少し不満だ」，「不満だ」と回答した学生に対してその理由を尋ねた自由記入欄および大学施設・各種サービスについての満足度の設問［問 73～83］の自由記入欄に記入された内容とほとんど重複していたため，それ以外の意見・要望を紹介する.

教育面では「自由な時間に就職の相談に乗ってくれる所が欲しい」，「成績発表をネットで行ってほしい。事前にいるお金の金額を知りたい」などがあり，設備面は「保健室が遠い」，「ロッカーが狭い」などの要望があった．また，生活面においては具体的な意見・要望はなかった.

学生生活アンケート 2019

該当する番号を □ に記入してください

問１．あなたの現在の学年をお答えください.

１．１年
２．２年
３．３年

□

問２．あなたの学生生活は充実していると思いますか.

１．とても充実していると思う
２．かなり充実していると思う
３．まあまあといったところだと思う
４．あまり充実していないと思う
５．全く充実していないと思う
６．わからない

□

問３．現在はどこに住んでいますか.

１．名古屋市
２．名古屋市以外の愛知県
３．三重県
４．岐阜県
５．静岡県
６．その他（　　）

□

問４．現在の住居形態をお知らせください.

１．自宅
２．自宅外（下宿等）
３．その他（　　）

□

問５．～７．は，自宅通学者以外の方のみお答えください．自宅通学者は問８へ.

問５．今の下宿・アパート・マンションなどを紹介してくれたのは誰ですか.

１．大学
２．友人・知人
３．家族・親戚
４．不動産業者
５．その他（　　）

□

問６．今住んでいる部屋（バス・トイレを除く）の広さの合計をお答えください.

１．　4.5 畳以下
２．　10 畳以下
３．　10 畳を超える

□

問７．家賃（共益費，水道，光熱費を含み，食費は除く）はおおよそいくらですか.

１．無料
２．40,000 円未満
３．40,000～50,000 円未満
４．50,000～60,000 円未満
５．60,000 円以上

ここからは通学方法について全員にお聞きします.

問８．現在，主として利用している通学方法を次の中から選んでください.

１．地下鉄本山駅から徒歩
２．地下鉄覚王山駅から徒歩
３．自宅（下宿）からバイクで通学
４．自宅（下宿）から自動車で通学
５．自宅（下宿）から自転車で通学
６．自宅（下宿）から徒歩で通学
７．その他（　　）

問９は問８で３．～５．と答えた方にお聞きします．それ以外の方は問 10 へ.

問９．月あたりの通学費用はどれくらいですか.

１．5,000 円未満
２．5,000～10,000 円未満
３．10,000～15,000 円未満
４．15,000～20,000 円未満
５．20,000 円以上

ここからは全員にお聞きします.

問 10．通学所要時間（片道）はどれくらいですか.

１．30 分未満
２．30 分～１時間未満
３．１時間～１時間 30 分未満
４．１時間 30 分～２時間未満
５．２時間～２時間 30 分未満
６．２時間 30 分～３時間未満
７．３時間以上

問 11．通学について不都合を感じることはありますか.

問 12. あなたの普段の就寝時間は，何時頃ですか.

1．午後 10 時より前
2．午後 10 時頃
3．午後 11 時頃
4．午前 0 時頃
5．午前 1 時頃
6．午前 2 時頃
7．午前 3 時頃
8．午前 4 時以降

問 13. あなたの普段の起床時刻は，何時頃ですか.

1．午前5時より前
2．午前5時頃
3．午前6時頃
4．午前7時頃
5．午前8時頃
6．午前8時以降

次にあなたの経済生活についてお聞きします.

問 14. 授業料などの学費は，誰が払っていますか.

1．全額家庭から払っている
2．半分以上は家庭から払っている
3．全額奨学金で払っている
4．半分以上は奨学金で払っている
5．全額自分のアルバイト代で払っている
6．半分以上は自分のアルバイト代で払っている
7．その他（　　）

問 15. あなたが家庭からもらっている小遣いは，月あたりどれくらいですか.

1．もらっていない
2．10,000 円未満
3．10,000～20,000 円未満
4．20,000～30,000 円未満
5．30,000～40,000 円未満
6．40,000～50,000 円未満
7．50,000～60,000 円未満
8．60,000 円以上
9．特に金額は決まっていない

問 16. あなたはアルバイトの経験がありますか.

1．経験がある
2．経験がない

問 16 でアルバイトの経験がある方は問 17～問 21 へ．経験がないと答えた方は問 22 へ．

問 17．そのアルバイトの週あたりの日数はどれくらいですか．

1．１日
2．２日
3．３日
4．４日
5．５日
6．６日
7．７日
8．特に日数は決まっていない

問 18．そのアルバイトの職種はなんです（でした）か．（複数回答可）

1．歯科医院
2．家庭教師・塾の講師
3．事務員
4．軽作業（発送・梱包・検査・整理等）
5．労働（配達・運搬・荷造・引っ越し等）
6．特殊技能（コンピューター関係・翻訳・コピーライター等）
7．新聞配達
8．デパート店員（大規模スーパーを含む）
9．一般商店店員（小規模スーパー・コンビニエンスストアを含む）
10．ガードマン
11．スポーツインストラクター
12．飲食店・喫茶店
13．パブ・スナック等の接客業
14．その他（　　）

問 19．そのアルバイトの主な時間帯はどれです（でした）か．（複数回答可）

1．午前 1 時～4 時
2．午前 4 時～7 時
3．午前 7 時～10 時
4．午前 10 時～午後 1 時
5．午後 1 時～4 時
6．午後 4 時～7 時
7．午後 7 時～10 時
8．午後 10 時～午前 1 時

問 20. そのアルバイト収入は，平均すると月あたりおおよそいくらです（でした）か.

1．20,000 円未満
2．20,000～40,000 円未満
3．40,000～60,000 円未満
4．60,000～80,000 円未満
5．80,000～100,000 円未満
6．100,000～120,000 円未満
7．120,000～140,000 円未満
8．140,000～160,000 円未満
9．160,000 円以上

問 21. そのアルバイトの収入の使途の主なものは何です（でした）か.（３つまで選択可）

1．学費（授業料等）
2．勉学費（教科書・書籍・文具等）
3．通学交通費（定期代）・免許取得費・乗り物購入維持費（自動車・バイク等）
4．クラブ・サークル費
5．生活費（食住費）
6．通信費（携帯電話、スマートフォン等携帯通信機器使用料等）
7．家族の生計費
8．医療費・保険料
9．耐久消費財購入費（電化製品・家具等）
10．趣味・習いごと・芸術鑑賞
11．旅行・レジャー・観光費
12．被服・おしゃれ費
13．娯楽費（社交費・コンパ・パチンコ等）
14．嗜好品（酒・たばこ・コーヒー等
15．貯金
16．その他（　　）

ここからは全員がお答えください．次にあなたの食事についてお聞きします.

問 22. あなたは，朝食を食べますか.

1．かならず食べる
2．ときどき食べないことがある
3．食べないことが多い
4．ほとんど食べない

問 23. あなたは昼食を主にどこで食べますか.

1．自宅（下宿を含む）
2．講義室
3．短大部棟２階マグネットラウンジ
4．薬学部１階学生ホール
5．歯学部基礎教育研究棟食堂
6．４号館食堂
7．歯学部附属病院食堂
8．学外の飲食店で食べる
9．屋外で食べる
10．ほとんど食べない

11．その他（　　）

問 24．学内の食堂・売店をどの程度利用しますか．

1．ほとんど利用しない
2．週１～２回程度利用する
3．週３～４回程度利用する
4．週５回以上利用する

自動車・バイクの免許取得者のみお答えください．それ以外の方は問 27 へ．

問 25．過去１年間について，あなたの運転中における交通違反・事故の経験についてお聞きします．

1．交通違反はしていないし，事故にも関わっていない
2．交通違反はしたが，事故には関わっていない
3．交通違反はしていないが，交通事故に関わった
4．交通違反をし，交通事故に関わった
5．免許はもっているが，運転はしていない

問 25 で３．または４．と答えた方にお聞きします．それ以外の方は問 27 へ．

問 26．その事故の状況についてお聞きします．

1．死亡した人がいた
2．死亡した人はいなかったが，怪我をして入院した人がいた
3．死亡や入院をした人はいなかったが，怪我をして通院した人がいた
4．怪我をした人はいたが，通院するほどではなかった
5．だれも怪我をした人はいなかった

携帯電話・スマートフォン等について全員にお聞きします．

問 27．あなたは，携帯用通信機器をどのような情報末端機器として利用していますか．（複数回答可）

1．SNS（LINE、Facebook、Twitter、Instagram 等）
2．動画共有サイト（Youtube、Tik Tok、ニコニコ動画等）
3．カメラの代用（snow、snap chat 等）
4．メール
5．インターネットへのアクセス
6．時計の代用
7．エンターテーメント（ゲーム・音楽を聴く）
8．勉強（Study Plus 等）
9．画像を取り込んで利用する
10．通話のみ
11．もっていない

問 28. 下記の項目で，マナーとして携帯電話等の電源を切っておく（マナーモード等にもしない）べきだと思うものはどれですか.（複数回答可）

1．授業中の教室
2．試験中の教室
3．図書館・美術館・博物館・劇場・映画館
4．レストラン・食堂
5．自動車等の運転中
6．公共交通機関の中
7．病院
8．電子機器の近く
9．どのような場所や状況であろうと電源を切る必要はないと思う

インターネットの利用についてお聞きします.

問 29. あなたはインターネットを利用して主にどのような情報を得ていますか.

1．勉学に関する情報
2．生活に関する情報
3．就職に関する情報
4．趣味に関する情報
5．その他の情報（　　）
6．利用しない

問 30. あなたがよく読む本（雑誌を除く）はどのようなものですか.（２つまで選択可）

1．教科書など，授業に関係するもの
2．それ以外の専門書
3．小説・エッセイ・ノンフィクションなどの一般的な読み物
4．マンガ・劇画など
5．その他（　　）
6．本はほとんど読まない

問 31. あなたはどんな新聞を読んでいますか.（定期的に読んでいるもの全て）

1．一般紙（中日・毎日・朝日新聞等）
2．経済紙（日本経済・中部経済新聞等）
3．各種スポーツ新聞
4．その他の新聞
5．新聞はほとんど読まない

問 32. あなたはどんな雑誌を読んでいますか.（３つまで選択可）

1．総合・文芸雑誌
2．学術・専門雑誌
3．一般週刊・月刊誌
4．写真週刊・月刊誌
5．マンガ週刊・月刊誌
6．スポーツ・芸能・ファッション・趣味の雑誌

7．その他の雑誌（　　）
8．雑誌はほとんど読まない

問 33. あなたはタバコ（電子タバコ・加熱式タバコを含む）を吸いますか.

1．毎日 20 本（1 箱）以上吸っている
2．毎日 1 から 19 本は吸っている
3．毎日ではないが吸うことがある
4．吸わない

問 34. 大麻・覚醒剤などの薬物についてお答えください（複数回答可）.

1．使用したいと思わない
2．使用してみたいと思ったことがある
3．使用したことがある
4．友人，知人で使用した人を見た（または聞いた）ことがある
5．使用について誘われたことがある

授業や学習について全員にお聞きします.

問 35. 歯科衛生学科の内容全体について満足していますか.

1．満足している
2．ほぼ満足している
3．特に不満はない
4．少し不満がある
5．不満だ

問 35 で４．または５．と答えた方は，その理由についてお聞かせください

問 36. 講義の内容や方法に全体として満足していますか.

1．満足している
2．ほぼ満足している
3．特に不満はない
4．少し不満がある
5．不満だ

問 36 で４．または５．と答えた方は，その理由についてお聞かせください

問 37. 開講されている科目の種類や内容について満足していますか.

1．満足している
2．ほぼ満足している
3．特に不満はない
4．少し不満がある
5．不満だ

問 37 で４．または５．と答えた方は，その理由についてお聞かせください

問 38. 時間割編成について満足していますか.

1．満足している
2．ほぼ満足している
3．特に不満はない
4．少し不満がある
5．不満だ

問 38 で４．または５．と答えた方は，その理由についてお聞かせください

問 39. 本学の教育で特に要望したいことは何ですか.（３つまで選択可）

1．専門教育を充実してほしい
2．教養教育を充実してほしい
3．宗教教育を充実してほしい
4．就職のための教育を充実してほしい
5．資格取得のための教育を充実してほしい
6．わかりやすいカリキュラムにしてほしい
7．科目選択の幅を増やしてほしい
8．少人数のクラスを増やしてほしい
9．コンピューター教育を充実してほしい
10. LL を使った語学教育を充実してほしい
11. 視聴覚機材を使った教育を充実してほしい
12. その他（　　）
13. 特に要望はない

問 40. あなたの授業平均出席率についてお答えください.

1．50%未満
2．50%～70%
3．70%～90%
4．90%～100%

問 40 で１．または２．と答えた方のみお答えください．それ以外の方は問 42 へ．

問 41．出席しない場合の主な理由は何ですか（２つまで選択可）

１．授業がつまらない
２．授業がよくわからない
３．出欠をとらない
４．クラブ・サークル活動が忙しい
５．アルバイト
６．病気・怪我
７．家の手伝い
８．朝起きられない
９．特別な意味はないが出席したくなかった
10．その他（　　）

問 42．１時限目の授業の出席状況についてお聞きします．

１．定刻（８時 40 分）に間に合う
２．定刻から 20 分（９時）までの遅刻が多い
３．定刻から 20 分（９時）以上の遅刻が多い
４．あまり出席しない

問 42 で２．～４．と答えた方のみお答えください．それ以外の方は問 44 へ．

問 43．遅刻で一番多い理由は何ですか．

１．朝起きられない
２．通学に時間がかかる
３．バス．電車・地下鉄などの混雑
４．アルバイト・家庭の都合
５．その他（　　）

ここからは全員がお答えください．

問 44．あなたは授業以外で教員と話しをすることがありますか．

１．よくある
２．ときどきある
３．ほとんどない
４．全くない

問 44 で３．または４．を選ばれた方にお聞きします．それ以外の方は問 46 へ．

問 45．教員と話しをしない主な理由は何ですか．（２つまで選択可）

１．話す機会がない
２．話す話題がない

3．話しかけづらい
4．教員が忙しそうである
5．アルバイトや次の授業で時間がない
6．教員がすぐに退室する
7．興味なし

ここからは全員にお聞きします．

問 46．あなたの１日の平均勉強時間（授業に出席している時間は除く）はどれくらいですか．

1．ほとんどしない
2．約１時間
3．約２時間
4．約３時間
5．約４時間
6．５時間以上
7．特に決まっていない

問 47．授業終了後は主にどうしていますか．（週のうち回数の多いものを１つ選んでください）

1．まっすぐ家に帰る
2．友人と遊んだり，ぶらぶらしたりする
3．図書室などで勉強する
4．クラブ・サークル活動をする
5．スポーツセンターで体を動かす
6．アルバイトに行く
7．学外の各種学校などに行く
8．その他（　　）

問 48．あなたはどの程度，図書室を利用していますか．

1．ほぼ毎日利用している
2．週に２～３日利用する
3．１ヶ月に数日利用している
4．テスト前やレポート提出のときだけ利用している
5．ほとんど利用していない

次に学生相談室についてお聞きします．

問 49．学生相談室は歯学部基礎教育研究棟１階の保健室に開設されており，隔週火曜日（16：00～18：00）に心理カウンセラーが相談に応じています．あなたは「学生相談室」が学内に開設されているのを知っていましたか．

1．開設場所，開室曜日，時間等の大体のことは知っている
2．開設されていることは知っていたが，詳しくは知らない
3．知らない

問 50．学生相談室の利用についてお聞きします．

1．利用したことがあり，これからも機会があれば利用したい
2．利用したことがあるが，これからは利用したくない
3．利用したいが，行きにくい
4．利用したことはないが，必要があれば利用したい
5．利用したことがなく，今後も利用しないと思う

問 50 で２．または３．と答えた方は，その理由を書いてください.

問 51. 現在主に悩んでいることはどんなことですか.（３つまで選択可）

1．勉学の問題
2．就職等将来の進路の問題
3．対人・異性関係の問題
4．家庭内の問題
5．性格・能力の問題
6．経済上の問題
7．思想・生き方の問題
8．健康の問題
9．その他（　　）
10. 特にない

問 52. 悩み事の相談は誰にしますか.（複数回答可）

1．家族（身内）に相談する
2．同じクラブ・サークルの友人に相談する
3．クラブ・サークル以外の友人に相談する
4．教員に相談する
5．職員に相談する
6．学生相談室を利用する
7．学外の医師，カウンセラー等に相談する
8．適当な相談相手がいない
9．なりゆきに任せる

問 53. 大学や学習に関する疑問，不満，要望はどこに（誰）に相談しますか.（複数回答可）

1．短期大学部事務室
2．学生相談室
3．教員
4．友人
5．家族など
6．その他（　　）
7．どこ（誰）にも話さない
8．疑問，不満，要望などはない

問 53 で１．～６．と答えた方にお聞きします．その他の方は問 55 へ.

問 54. その結果，納得できる説明，回答，反応などはありましたか.

1．納得できる説明，回答などがあり，不満も解消した
2．納得できる説明，回答などがあったが，不満は残った

3．納得できる説明，回答などはなく，不満が残っている
4．納得できる説明，回答などはなく，あきらめた

ハラスメントとはいろいろな場面での「いやがらせ，いじめ」を言い，次のようなものがあります．
・ セクシュアル・ハラスメント：性的ないやがらせ，いじめ
・ アカデミック・ハラスメント：教員による学生へのいやがらせ，いじめ
・ パワー・ハラスメント：職務権限を利用したいやがらせ，いじめ
・ アルコール・ハラスメント：飲酒の強要　　など

問 55．いろいろな「ハラスメント」がありますが，あなたはこれらの事を知っていますか．
1．知っている
2．知らない
3．知っているものもあるし，知らないものもある

問 56．過去に（今も）ハラスメントを受けたことがありますか．（複数回答可）
1．学外サークル
2．アルバイト先
3．通学途中
4．学外のその他の場所（　　）
5．学内のクラブ・サークル
6．学内の教室
7．学内のその他の場所（　　）
8．受けたことがない

問 56 で 1．～7．と答えた方にお聞きします．その他の方は問 58 へ．

問 57．受けたハラスメントは次のどれにあたりますか．（複数回答可）
1．セクシュアル・ハラスメント
2．アカデミック・ハラスメント
3．パワー・ハラスメント
4．アルコール・ハラスメント
5．その他（　　）

問 58．もしも，ハラスメントを受けた場合，どこ（誰）に相談しますか．（複数回答可）
1．短期大学部事務室
2．学生相談室
3．学外公共相談機関
4．教員
5．友人
6．家族
7．その他（　　）
8．わからない
9．どこ（誰）にも相談しない

次に各種の勧誘についてお聞きします.

問 59. 社会問題となっている，楽にお金が儲かるような錯覚を与え（マルチ商法・ねずみ講など），いらない物を買うようにしむける方法で会員募集や商品購入を行わせる悪質商法（キャッチ商法・パーティ商法）の勧誘を受けたことがありますか.

1．勧誘を受けてお金を支払い，後悔したことがある
2．勧誘を受けてお金を支払ったが，後悔したことはない
3．勧誘は受けたが，お金を支払ったことはない
4．勧誘を受けたことはない

問 60. 学校が実施する行事は除き，何らかの宗教団体からの勧誘を受けたことはありますか.（複数回答可）

1．学内で声をかけられた
2．下宿・アパートに訪ねてきた
3．下宿・アパートに電話がかかってきた
4．自宅に訪ねてきた
5．自宅に電話がかかってきた
6．勧誘を受けたことがない

問 61. あなたは勧誘を受けた団体の行事に参加しましたか.

1．今も参加している
2．参加したことはあるが，今は参加していない
3．参加したことはない
4．勧誘を受けたことがない

次にクラブ活動についてお聞きします.

問 62. あなたは，大学生活にクラブ・サークルは必要だと思いますか.

1．絶対必要
2．どちらかというと必要
3．どちらともいえない
4．どちらかというと必要ない
5．絶対必要ない

問 63. あなたは，いずれかのクラブ・サークルに所属していますか.（複数回答可）

1．学内の運動部に所属している
2．学内の文化部に所属している
3．学内の未公認サークルに所属している
4．学外のサークルに所属している
5．所属していない

問 63 で１．～４．と答えた方にお聞きします．５．と答えた方は問 68 へ．

問 64．あなたがクラブ・サークルに参加した主な動機は何ですか．（３つまで選択可）．

１．友人を得るため
２．知識・教養・技能を身につけるため
３．スポーツ技術の向上，競技に参加するため
４．自己の人間形成のため
５．趣味・興味と一致したため
６．将来の進路に有利と考えて
７．健康増進のため
８．他人にすすめられて
９．その他（　　）

問 65．あなたのクラブ活動日数は，週何日ですか．（夏休み等を除く，通常の授業が行われている週）

１．１日
２．２日
３．３日
４．４日
５．５日
６．６日
７．７日
８．特に決まっていない

問 66．そのクラブ活動は１回あたり平均何時間ですか．

１．１時間未満
２．１時間～２時間未満
３．２時間～３時間未満
４．３時間～４時間未満
５．４時間以上
６．特に決まっていない

問 67．クラブ活動と勉強は両立できていますか．

１．容易に両立できている
２．両立はそれほど困難ではない
３．両立はかなり困難である
４．全く両立できていない

問 68 はクラブ活動に参加していない方にお聞きします．参加している方は問 69 へ．

問 68. クラブ活動に参加していない理由は何ですか.（３つまで選択可）

1．勉学に打ち込むため
2．通学に時間を取られるため
3．アルバイトに時間を取られるため
4．人間関係がわずらわしいため
5．自分の興味と合うクラブがないため
6．健康上の理由で参加できない
7．経済的な理由で参加できない
8．その他（　　）

ここからは全員にお聞きします．ボランティア活動への参加についておたずねします．

問 69. ボランティア活動に参加したことがありますか.

1．ある
2．ない

問 70. ボランティア活動に参加しようと思いますか.

1．積極的に参加したい
2．どちらかというと参加したい
3．どちらともいえない
4．どちらかというと参加したくない
5．絶対参加したくない

問 70 で１．～３．と答えた方は，どのような分野での活動に興味がありますか.

次にあなたの卒業後の進路についてお聞きします．

問 71. 卒業後の進路についてお答えください.

1．就職する（定職）
2．専攻科に進学する
3．海外に留学する
4．各種学校などに行く
5．定職につかない（フリーターを含む）
6．まだわからない
7．その他（　　）

問 72. あなたはどのようなタイプの社会人になりたいと思いますか.

1．全力で仕事をし，地位を目指すタイプ
2．社会貢献を目指すタイプ
3．仕事に生き甲斐を見つけるタイプ
4．仲間の皆に親しまれるタイプ
5．私生活を楽しむタイプ
6．わからない

次に大学施設・各種サービスなどに対する満足度，その他についてお聞きします．

問 73～83．大学における以下の施設や設備・福利厚生・各種活動やサービスの満足度について該当する番号に○をつけてください．

		十分満足	やや満足	ふつう	やや不満	全く不満
問 73	教育施設・設備（教室・実習室・図書館・情報機器等）	1	2	3	4	5
問 74	課外活動施設（グラウンド．体育館等）	1	2	3	4	5
問 75	学内福利厚生施設（食堂・学生ホール・保健室等）	1	2	3	4	5
問 76	学外福利厚生施設(セミナーハウス・附属病院等）	1	2	3	4	5
問 77	スポーツ活動（クラブ関係含む）	1	2	3	4	5
問 78	文化活動（楠元祭関係含む）	1	2	3	4	5
問 79	就職対策	1	2	3	4	5
問 80	分煙・禁煙の徹底	1	2	3	4	5
問 81	奨学金制度	1	2	3	4	5
問 82	事務サービス	1	2	3	4	5
問 83	国際交流	1	2	3	4	5

問 73～83．に関連する内容で，日頃感じていることや要望があればご記入ください．

問 84．最近の世界同時不況はあなたの学生生活にどのような影響を与えていますか．
（３つまで選択可）

1．親の仕送りが減少した
2．アルバイト先の時給が下がった
3．将来に希望を持てなくなった
4．何の影響もない
5．その他（　　）

問 85．その他学生生活全般について，意見・要望などがありましたら自由に書いてください

【教育面】

【設備面】

【生活面】

ご協力ありがとうございました．